



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

7 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.7.1 発行
第 38 巻第 1 号 通巻 433 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
 国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
 京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会 長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書 記 | 久貝哲也 |
| 書 記 | 為国光俊 |
| 会 計 | 安達雅直 |
| 会 計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Kick-off
EMC-C

聖句 初めに言があった。言は神と共にあった。
ヨハネによる福音書 第1章1節

抱 負

第 38 代会長 田中一馬

「楽しく、正しく、仲良く」

今期のパレスクラブは「楽しく、正しく、仲良く」やっていきたいと考えています。38年目を迎えるパレスクラブは、前年の37期に10名もの新入会員を獲得し、大きな盛り上がりを見せています。その雰囲気を持しつつ更にクラブが飛躍するためには、あるひとつの方向性に着目するよりも、バランスの良い運営を心掛けるべきと考えこの主題を設定しました。例会や役員会はもちろんのこと、さまざまな奉仕活動やワークなどの事業運営、さらにはクラブの人間関係においてもこの3つの指針に基づいて考え、活動していこうと思っております。

「楽しく」…やはりクラブ活動は楽しくなければいけません。楽しいところには人がたくさん集まります。メンバーのモチベーションの維持にも、新人の獲得にも「楽しさ」は不可欠な要素です。「正しく」…何が本当に正しいかということを見出すのは容易ではありませんし、見方によっても正しさは変わります。クラブにとってもメンバーにとってもどうすれば正しい運営になるのかをよく考え行動していきたいと思えます。「仲良く」…他人と仲良くすることにはエネルギーが必要です。意見が少々食い違っても相手の立場で物事を考えることができれば馬の合わない相手でも仲良くできます。そのことはやがてとてつもない人間関係を築くことになり、その結果クラブの発展に大きく寄与します。

そして、これら3つの指針はバランスよく保たれる必要があります。楽しいだけならただの遊びになります。正しいだけなら孤立します。仲良いだけならただの慣れ合いです。すべての指針がバランスよく保たれてこそ適度な緊張感がありながらなぜか居心地のいい空間になります。ベテランも新人も若いも若きもみんなが自由闊達に活動できる場をめざして、また迫りくる40周年にむけてホップの年となるように1年間頑張っていきたいと思えます。みなさんよろしくお願いたします。



| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|------------|
| 在籍クラブ会員数 | 54名 | 6月第1例会出席 | 15名 | 6月第2例会出席 | 62名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 14名 | 内、メンバー | 50名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 1名 | メネット | 12名 |
| 維持会員数 | 2名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 0名 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 0名 |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 50名 | | | | |
| 月間出席率 | 98% | | | | |
| | | | | ニコニコ6月第1例会 | 0円 |
| | | | | ニコニコ6月第2例会 | 0円 |
| | | | | 累計 | 326,515円 |
| | | | | ファンド収益 | 0円 |
| | | | | 累計 | 1,626,497円 |
| | | | | B F 切手 | 0 PT |
| | | | | B F 現金 | 95,000 PT |
| | | | | 累計 | 95,000 PT |

6月第1例会（振替例会第11回西日本区大会）（第889回例会）

日時 2008年6月14日～15日

場所 なら100年会館、奈良日航ホテル 河合信也、安達雅直、川勝政男

河合信也

6月14・15日、「まほら大和」奈良の地で行われた、第11回西日本区大会に参加してきました。

私にとって奈良は子供の時に行って以来で、どうやって行くの？と
思ってたところ、メネットが友人のめいぶる松村メネットの車で行くとい
うので便乗させてもらう事にした。メネットアワーはAM11時からで、
私が参加する開会式PM1時30分まで2時間半もあるではないか。その
間奈良の街中を探索しようと思ったのが失敗だった。無計画の上、土
地勘も皆無、少しだけ歩き回った末、会場付近にある「ホテル日航奈良」
で、私の味覚では到底理解し得ないサンドイッチを頬張って時間を潰す
破目になったのだ。

前置きが長くなりましたが、ここからが本題です。

会場である奈良100年大ホールでは、来賓始め奈良YMCAリーダー・
職員等含め総勢880名を越える参加の下、大阪産業大学吹奏楽部による
オープニングセレモニー、リジョンフラッグ入場、川上会長登場のパナ
ーセレモニーの後、神谷西日本区理事の開会宣言で、大会第1部が華々し
く開催されました。その後挨拶などが延々と続き、日頃睡眠不足の私が、
襲ってくる睡魔に負けてしまいそうと思ったその時です。年次代議員報
告の途中「そんなん認めへんど！」という罵声が会場からあがったので
す。それに対して報告者の書記さんも御丁寧に「何票対何票で可決され
た」なんて言ってます。報告だけすればええのにい～なんて思いながら
も、すっきりと目を覚まさせてもらいました。代議員会議案について
は、西日本区費の増額、横浜国際大会への個人負担金、JWF運用問題等、
パレスでも議論になった問題でもあり、マナー違反は認めつつも、少しは有りかな？って思った次第です。その後、空き
時間を利用して会長達と奈良の大仏見学等をして一応楽しい観光も交えながら、懇親会に参加しましたが、パレスメンバー
の参加が少ないのが残念でした。グローバルクラブでは観光バスをチャーターして38名の参加です。これについては、
交通手段やアピールにおいて無策であった三役としての反省点です。グローバルのバスに乗せてもらって帰り、御馳走に
なったビールを飲みながらの反省でした。この続き2日目の報告は、川勝ワイズです。



安達雅直

入会后2年と少しが経ちましたが、今回初めて西日本区大会に参加してきました。これまで、参加しなかった理由は単純に申し込み方法がわからなかったからで、入会后まもないメンバーは、どのように参加すればよいのかわかってないのでは、と思います。そのためか、パレスクラブの大会登録数は14名、某Gクラブの登録数は36名。「パレスはえらい参加者が少ないな」と会場のどこからか声が聞こえました。

さて、会場はJR奈良駅近くの「なら100年会館」で、懇親会の会場は、隣接する「奈良日航ホテル」です。13時半に開会式が始まり、理事らの挨拶、天理大学の学生による雅楽・舞楽が演じられましたが、つまらないので数人のメンバーとともに途中で抜けて東大寺まで観光に、その後懇親会へと続きました。

そんな大会1日目でも最も印象深かったのは、東大寺付近にいる鹿の糞の強烈な香りです。大会自体は正直退屈でした。パレスの登録数が少なかった理由がわかる気がします。（2日目の報告は、川勝さんにバトンタッチ）

川勝政男

私は仕事の都合により2日目からの出席となりました。当日は会場となっている奈良100年会館へ9時過ぎに着き、少し早めだったので会場となっている奈良100年会館（磯崎新氏の設計）を観て会館内に入りました。そこで少し川上会長たちが来るのを待っていたら川上会長・福井さん・大野さん・西川さんが会場内へ入って来られました。

会長の顔からは私の会長在籍期間ももう少しで、再度力を入れ直すとの意気込みが感じられました。そして会場に入っ

て行けば、予告もなく既に贈呈式が始まっていて、少し面くらったパレスクラブ面々でした。

2日目で感動を私に与えてくれたのは、次期理事で熊本ジェーンの佐藤典子ワイズでした。それは、これから何かを行動するぞと感じられるスピーチそのもので、やはりそれは女性の時代は始まっていて、今期、東日本区では一歩先んじて女性理事が誕生しています。西日本区でも最初の女性理事になります。当クラブでも、優秀な女性ワイズが居られて近い内に女性会長の誕生といきたいものと感じました。

パレスクラブの表彰は下記の通りですが、これは川上会長・大野 EMC 委員長・パレスの全てが10人増強を目指しそれをなし終えたからでしょう。これがこれからのパレス力になっていくことと思ひ、会場を出て家路に着きました。

・EMC (M) 優秀クラブ賞。優秀ワイズメン賞 大野嘉宏君。青年会員獲得賞。出席率 90%以上賞。会員増強賞 第4位

6月第2例会 (引継例会) (第 890 回例会)

日時 2008年6月25日

場所 京都ブライトンホテル 永井 孝

18:00 点鐘の後、大野 EMC 委員長により今期 10 人目の入会式。吉岡君紹介の坂本さんは引継例会の入会となり、これは良い思い出となるでしょう。西日本アワード発表の後は今期委員長三役への感謝楯の贈呈 200%出席者の表彰と続き今期新人の 10 人の皆様には会長より歓迎書が手渡される。EMC 委員長の発案にてファイヤーサイドキャンプを新人の手だけで計画。その勢いでクラブ自体を盛り上げてくれた事は素晴らしい事でした。

優秀ワイズの表彰では小西君が。委員長以外では唯一選ばれ新メンバーに対しての心からの暖かいサポートが認められました。彼が選ばれた事はクラブの潤滑油としての努力、地道な目立たない行為が認められたことであり、このクラブの将来の豊かさを表しているようです。



交流の笹山委員長・新人賞の野口君・優秀ワイズ貢献賞として福井ファンド委員長。最優秀ワイズメンには大野 EMC 委員長。それぞれ今期大変な活躍により妥当な表彰でしたが、大野君の活躍はパレスクラブだけでなく全クラブに注目してもらいたい要素がふんだんにあります。元西日本区理事でもあり、当クラブにおいても重要な位置をしめる人が情熱をふりそそぎクラブを熱く動かしたこと、メンバーはこのことを忘れることはないでしょう。



テーブル中華バイキングを食し、ハッピーバースデー・アニバーサリーを終えショータイムがスタート。私が川上会長をこのクラブに紹介したとのことで、会長と EMC 委員長による 2 曲のプレゼントと花束を頂く。「おじいさんの古時計」には皆様の手拍子が入る盛り上がりでしたが、ただ私は過分なお褒めに、恥じ入るばかりでした。今期の回想はビデオによるものでしたが良く出来た内容でした。特に新年例会での会長御夫妻の漫才が取り上げられ大受けでした。ひで子メネットのミスハワイは誰にもまね出来るものでなく笑いの中にも彼女が彼を慈しみ心より支えているその美しさが光輝いていました。

第 37 代川上会長はクラブの為、又メンバーを楽しませることを最重点に。その為には努力を惜しむことなくひたすら

走り続けた1年でした。誠にパレスの会長として最も素晴らしい会長のお一人でした。このさまさまの盛り上がり第38代田中一馬会長に送り更なる発展のカギとしていただくならメンバー一同これに勝る喜びはありません。



1年を振り返り

第37期会長 川上孝司

1年を振り返り37期会長主題として掲げましたHand in Hand（手を取り合っ）て）に対し、何人かの初めての委員長経験者もいらっしゃる中、各事業委員長様が逸速くご理解いただき実践くださった事、大変感謝いたします。私自身主題を踏まえ、クラブ内、京都部、西日本区そしてIBC、DBCとワイズメンズクラブに対するHand in Hand、そしてYMCAとのHand in Hand、また、対外的な部分でのHand in Handと私たちの周りのいろいろなつながりを考え事業が進められてきました。その中で37期は10名という新しいメンバーを迎えることが出来たことは今後に大きな力となるでしょう。また、メネットとの楽しいHand in Handも忘れてはなりません。大変抽象的な言葉にもかかわらず、一人の言葉が皆の言葉となり、皆の力で一つひとつ物事が、小さいながらも事業としてこなされていくことに触れ、大変感動を覚えました。また、37期会長という大役を終えパレスクラブのすばらしさ、そして新しいメンバーを迎えるうれしさ、メンバーが欠けてゆくときの寂しさなど会長役でしか、分からないいろいろな体験をさせて頂いた事に大変感謝いたします。この経験を生かし今後自らの会社においても、いちクラブメンバーとしても私自身にとっての大きな力にしていきたいと思っています。本当に楽しく、また有意義な1年ありがとうございました。



引継例会各賞受賞者の声

大野嘉宏

奈良の西日本区大会で京都パレスクラブのEMC事業に対し、下記を受賞を致しました。

- ・EMC（M）優秀クラブ賞
- ・青年会員獲得賞
- ・出席率90%以上賞
- ・会員増強賞

そして、3人以上新入会員を入れた会員に贈られる「ブースター賞」を私が頂きました。

これ等はパレスクラブにとって名誉なことであり、会員皆様方のご協力の賜物と感謝いたします。

そして、そしてなんと！ 会長引継ぎ例会に於いて私が「パレス最優秀ワイズメンズ賞」を頂いたのであります！

何とも面映い事ですが大変うれしく思います。と同時にこの1年間協力してくれた委員諸君に厚く御礼申し上げます。

（37期生）という新しい言葉を作って、結束してEMCファイアーサイドミーティングを企画・実行してくれた新入会員のみなさん、本当にありがとうございました。

（38期生）への御指導をよろしくお願い致します。



野口大輔

新人賞を頂いて

この度、新人賞を賜り本当に嬉しかったです。全く予想すらしていないだけにビックリでした。賞を頂いたのは何時以来…？ 自分が思い出す限り、小学2年生以来…。いかに賞に縁遠い人物なのかお分かり頂けましたでしょうか。しかもこの伝統あるパレスクラブでの受賞は、大いなる自信を与えて頂きました。私は単純な人間構造で形成されています。はい。38期も何らかの形で受賞できるように頑張ります。

最後になりますが、37期の川上会長はじめ役員、委員長、またそれを支えるメンバー各位に感謝申し上げます。



小西孝典

ナイスサポート賞頂きました（♪）

先日の引継ぎ例会で、川上会長より、優秀ワイズメンズ・ナイスサポート賞を頂きました！ 私が新入会員のサポートを良くしたと言う事で頂けたとの事ですが…。私としましては、当たり前的事をただけなので、頂いた瞬間は戸惑いと何だか申し訳ないような気持ちが半分半分でしたが、壇上でメンバーやメネットの皆さんから祝福の拍手を頂いているうちにだんだん、だんだん嬉しくなってきました、本当にありがとう御座います！



38期新三役・新役員抱負

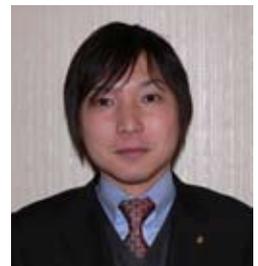
副会長 隠塚 功

田中一馬会長の下で副会長を務めることになりました。私の場合は次期会長でもあり、次期会長が副会長を兼ねることは異例なわけですが、今期の取り組み、そして次期、さらに節目である40期とを、点ではなく線で、つまり継続的に判断できるようにしたいとの考えもあり、お受けさせていただきました。田中会長の「楽しく、正しく、仲良く」の標語に基づき、委員会を通じてメンバー間の交流を深め、本来の奉仕クラブの目的なども意識しながら、メンバーがクラブライフを楽しめるように、副会長として微力ではありますが田中会長を支えて参ります。是非、皆さんも積極的にクラブに関わりクラブライフを楽しんでください。宜しくお願いします。



副会長 小林千春

人類誕生から今日に至るまで、洋の東西を問わず「副」と名のつく役職は、「補佐」という業務を担っているわけですが、その内実は「お飾り」であったり「楽ちゃん」な立場であることが経験則上明らかであります。この経験則に従い、未だ入会して3年足らずの身でありながら、田中会長からのオファーに対し何の疑問も差し挟むことなく副会長をお請けしたのですが、「ちょっと話が違うやん」。準備役員会の段階から、職責の重さ・知識不足・勉強不足を痛感する日々であります。重さをはね返し、不足をカバーするべく、精一杯飲んで食べてさらに重くなる所存です。メンバー諸氏におかれましては田中会長共々38期をよろしく願い申し上げます。



書記 久貝哲也

この度38期の書記を何も考えずに軽く引き受けてしまった後、当初の三役会では何も分からず役にも立てず、逆にしょもない質問をして迷惑をかけるばかりで、本当に受けた事を後悔しました。しかし、時を重ね毎月の準備会を出ている内に、なんとかちょっとパレスクラブというものが、どういう運営で成り立っているのかがわかってきて、運営側に立たないと見えてこないものが見えてきて少し面白さも同時に感じるようになりました。今では逆にパレスクラブの面白さを理解する機会を与えて頂いたことに大変感謝しております。運営の歯車を噛むことの責任をひしひしと感じておりますが、今期終了まで頑張り抜きたいと思っておりますので、どうか皆様の温



かいご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

書記 為国光俊

相方から「書記って、どんな役割ですか?」という質問をされて「内部的には、行事案内や出欠記録、議事の記録をとる。あとは外部文書のやりとりをするのが主な仕事」と答えたものの、ホンマにそやろか?と疑問がおこり、辞書を引いてみた。「書記官」のところを見ると「長官を補佐して文書の作成や審査などの事務を職務としていた高等官」と記されている、うーん…。他を見てみると「文書を書き記すこと」と記載されている。前者やと大変な仕事になるなあとはいつつ、やはり後者を選択することにして身軽にいくほうがよいと自分自身に言い聞かせ身も心も軽く軽くスマートに!軽く飲んで食べてさらに軽くなる所存です。田中会長のもと皆様のお役に立てるよう頑張ります。



会計 安達雅直

37期書記を終え、引き続き三役として38期は会計を務めさせていただきます。準備期間を終えて今更ですが、2期連続で三役をやることは、半年間2つの役があり、大変なことだと気付きました。

37期の1年間書記として三役を見ていて、書記、会計、副会長の順に楽になるような気がしています。現時点では、会計の仕事はほとんどなく、書記と比べてかなり楽で、このまま最後まで楽にいけると期待しています。相棒の山本さんには大いに活躍していただきたいと思います。

田中会長の38期も37期同様、メンバーの皆さんにご協力いただき、パレスクラブにとっていい1年になるよう努力していきたいと思いますので、よろしくお祈りします。



会計 山本一博

田中会長から任命した「会計」は、実は36期に続いて2回目です。つまり、37期を挟んで中1年で務めさせて頂くことになりました。前回(36期)に会計をさせて頂く際に、過去の経緯や実務作業についてレクチャーしてくれたのが田中会長であり、それ以降、私の会計基準は田中方式となっています。今期はそれを安達会計に伝えながら、オープンで分かりやすい会計処理に務めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します(真面目やな~)。



Yサ・ユース委員長 平野雅幸

38期でYサ委員長をさせていただく平野です。

おそらくこの原稿をご覧になる頃にはYサの最も最初の行事であるサバエ開設ワークも終了していることと思います。

参加していただいた方、ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

残念ながら不参加の方、次回の国際協力街頭募金(11月)ではぜひ街頭に立って頑張ってほしいです。その次はリトセンオータムフェスタ。その次は…。

Yサ委員会の活動はほぼ人力を必要としています(国際協力募金ではお金の面でも協力をお願いしますが。)

参加して参加してとしつこくお願いする1年になるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。その日の終わりには楽しかったといわれるような満足感をお土産にできるような委員会運営を目指したいと思います。



地域奉仕・環境委員長 吉楽貴之

40周年を目前にしたホップの年、地域奉仕環境委員会も先輩方が行ってこられました事業をジャンプの年に向け、私たちも一つひとつ、できうる限り充実させていきたいと思っています。新旧各事業ごとに対象者の意見を伺い、委員会で話し合うことで有意義で正しい支援を行いたい。そして、ともに楽しく仲良く進めていく中で自分も成長できるように願っています。いえ、楽しく仲良く進めていける事が成長には大切!と心に響かせながら今期に臨んでいきたいと思いま



EMC委員長 福井将一

37期の感想、38期の抱負

37期ではファンド委員長をやらせて頂き大変勉強になりました。目標に対してあせる気持ちとほのかに挑戦しようと思う行動力が湧いてくるのを感じました。どうやればいいのかサッパリ分からず同委員の均さんと西中さんにアドバイスを沢山頂き何とか計画企画し、いざスタート、ファンドポテトでは2000ケース突破、グローバルクラブと並びました。トスファンドではメンバー皆さんから多数景品を出品して頂き、時間が足りない位に楽しく盛り上がりました。ファンド委員の皆さんも気持ちよく協力していただき三役の皆さん、川上会長におちからを借りメンバー皆さんの協力を頂き、目標を上回ることができました達成感を味わい感動でした。引き続き例会では最優秀クラブ貢献賞を頂き本当にありがとうございます。皆様に感謝、感謝です。38期では野口君にバトンタッチです、野口ファンド委員長、感動してね、頑張りましょう。38期は田中一馬会長にEMC委員長を任命して頂き、やる気いっぱいです。面白い、元気がでるクラブ創りの為に新入会員を募っていきます。…目標10名…いけなかったらごめんなさい。皆さん38期もご協力の程よろしくお祈いします。



交流委員長 吉岡明彦

田中会長から交流委員長の依頼がありました。交流委員長という今まで自分自身があまりかかわっていなかった分野の役職であり、IBC・DBCもよくわからない自分にできるのかと、悩みました。しかし、田中会長・為国副会長と一緒に三役での感激が思い出され、また、一緒にできるならと思ひ委員長の依頼を受けました。

今期の交流委員長として、ベテランの委員の方の協力の下、今期田中会長のスローガンを考慮しながら、一部のメンバーが行う交流事業ではなく、メンバーみんなが交流事業を通じて人との出会い、交流を行える。「みんなが主役の交流活動」の交流事業を進めたいと思いますので、交流委員以外の皆様の参加ご協力をよろしくお祈いします。



ファンド委員長 野口大輔

この度ファンド委員長を拝命し、分からないなりにですが、与えられたポジションを前向きに受け止め、よりワイズの活動における資金を集めたいと考えています。

40周年も近いことですし、何か有意義な事業の援助になれば尚、嬉しいと思います。

今回のファンド委員のメンバーの方々、会長、三役、パレスの皆様との連携を上手にとることにより効率的に活動をしていきたいと考えています。

特にジャガイモファンドにおきましては、クラブ以外の方に我々の、社会奉仕活動をアピールするまたとない機会であり、多くの方々の賛同を得るように活動をしたいと考えています。

ファンドは、毎年これ位の金額は上がるというお話を聞きますが、例年通りの売り上げでは折角チャンスを与えて頂いた委員長として不満を感じるので、よりハードルを高く設定をしていきたいと考えています。

多くの方々に、より協力していただけるよう行動するのが自分の役割と考えています。

実質、ファンドの輝く場所は、年に2回です。その2回を皆さんの心に残る活動が出来るよう頑張りますのでご指導ご鞭撻何卒よろしくお祈い致します。



広報委員長 西枝 攻

広報委員長となりました。1年間原稿依頼催促屋に徹します。楽しいブリテンとは？で1年間頑張ります。よろしくお祈いします。



ドライバー委員長 堤 雄次

今期のドライバー委員長を、なぜかすることになった堤です。前期の永井委員長の様に誰からも絶賛されるような、1年間のスケジュールを組みたい所ですが、今期が始まるまでに、色々考えましたが、どう考えても無理です。前委員長のレベルに追いつく事は、至難の業ですわ、てな言で今期は、次期の委員長がやりやすい様に？適当に1年間やらしてもらいます、まあレベルダウンになるのは大目に見てください。キチットするのは出来ませんが、エエ加減にするのは、得意分野ですので、それなりに何とかできるでしょう。

ゆえに委員会のキャッチフレーズは、ケセラセラ。なるようになるこんなんでいいんかい。



京都部交流主査 森田美都子

パレスクラブ37期から38期への引き継ぎ例会が先般滞りなく終了した。その席で期においての新入会員10名が堂々の登壇。圧巻であった。パレスは世代交代を交えながらパワーアップでミラクル的に受け継がれて行く。

「もう若くはないのだ…(年齢チャイマス、ワイズ歴)」と齢(ヨワイ)8年のキャリアだけ重くなって無能な我が身に暗がりの会場隅でしみじみと無力さを感じた。

わからない、知らない、できないで通してきたワガママワイズ。もう通じない。優しい自クラブだけでなく大海で研鑽をさせていただこう。決して適任ではないけれど勇気を以て指名戴いた心に報うべくワイズ活動に真摯に向かい合い努力する所存である。



YMCA連絡主事 阿部和博

パレスの連絡主事を務めさせていただいて6期目になりました。38年のクラブ史の中で6年もお付き合いをいただき、皆様にただひたすら感謝するばかりです。さて、いよいよ会長がクラブ40周年に向けたホップの年であると位置づけた今期が始まりました。会長主題として「楽しく、正しく、仲良く」と3つのキーワードを掲げられました。このキーワードをバランスよく保つためには「心と体と精神」が豊かに保たれることが必要ではないかと思うのです。つまり、「Spirit、Mind、Body」をバランスよく保つとクラブライフが「楽しく、正しく、仲良く」行えることに…、あれ、そうか、YMCA理念を基に行動すれば上手くいきそうですね。その橋渡しのために今年1年もがんばります。



37期三役・役員感想

副会長 河合信也

今期を振り返ってという事ですが、小生既に1月号1面にて上半期を振り返っておりました。

然るに下半期だけにしておきますが、元気な川上会長は下半期も全く変わらず活発な活動をされた訳で、三役もそれなりにクラブ活動に忙しくさせて頂き、振り回された(メンゴ笑)とも言えますが、充実したと言った方が適切な表現なんでしょう。楽しく副会長職を全う出来たと思っております。

そんな中で思い出を1つだけあげるとするならば、やはりIBCハワイ訪問です。青い海、青い空、澄んだ空気、パレスの仲間やブラザークラブとの楽しい交流、「本当に楽しかった・・・」。

でも、無謀にもメネット同伴で1週間も仕事休んで、帰ってからの地獄の1週間、これが1番の思い出。(チャンチャン)

副会長 別所 修

「1年の思い出」

第37期は私にとって、大変な1年になってしまいました。そもそも、当初「37期副会長の抱負」と題してブリテンに寄稿した時の目標がパレスクラブを盛り上げ、有意義な1年にすると思いついたにもかかわらず、私事を理由に例会、役員会とほとんど出席できない状態になり、クラブの皆様、そして会長をはじめ、三役の皆様にも大変なご迷惑をお掛けしてしまいました。今は本当に申し訳ない気持ちとそしてメンバーの皆様、会長、三役のバックアップのおかげでなんとか37期をリタイアする事もなく終える事ができたことにとっても感謝しております。これを機会に、この1年の経験を自分を成長させる為の原動力にできたらと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

書記 安達雅直

準備期間を含めると1年半、振り返ればいつのまにか終わったという感じです。恥ずかしながらクラブのことをよく知らない状態で受けたにもかかわらず、三役の皆さんに助けられたことで、書記としてうまく仕事をこなせたと思います。入会後まもなく三役を務めさせていただいたことは、クラブ活動をする上で、非常に大きな助けとなりました。

この1年、相棒の川勝さんにはいろいろと指導していただき、また積極的に仕事をしていただき、感謝いたします。また、走る倉庫として活躍してくれた川勝号にも感謝します。

皆さん1年間ありがとうございました。

書記 川勝政男

例会では、7月の納涼例会・10月のダンス例会・11月のオータムフェスタ・12月クリスマス例会・新年例会・3月の5クラブ合同例会・4月花見例会・最後の引継例会等の印象に残っている例会が沢山あり。

またゲストには、日本熊森協会の森山様の森と熊の関係・ゴールド（貴金属）のお話の斎藤様・川上会長夫妻によるミスハワイの再演・アラスカ写真家 松本紀生さん・落語家の笑福亭猿笑さん・衆議院議員の福山哲郎さん等…。

それに入会式では、7月には、大嶋・久貝ワイズの2名・8月には平松ワイズ・9月は野口・吉楽ワイズ2名・1月松山・人見ワイズ2名・3月は奥村・東畑ワイズ2名・最後引継例会では坂本ワイズで合計10名の入会者があり。会長・大野EMC委員長の活躍もあり、引継例会での壇上から見るとパレスクラブ関係者のみで60数名の例会は、圧倒されそうな賑わいを感じました。これもパレスの諸先輩たちが言っていた活性化の証の様に感じました。

私としては、大変忙しい書記の仕事でしたが、会長・三役さんの助けもあり無事に終えることができ今は感無量です。寛容なパレスの皆様には、何気もなくキツイ言葉を掛けた事も有るかと思いますが、皆様本当にありがとうございました。

会計 小櫻武彦

川上次期会長（当時の）から会計をお願いしますと言われた時、事情があってどなたか他の方に頼んで下さいとお断り致しましたが彼の実直さと熱意に負け引き受けさせて頂きました。幸い相棒はパソコン教室の社長、難しいことは彼に任せてこちらは専ら集金係とさせて頂きました。お陰で殆どのメンバーのご協力により何とか1年間小過はありましたが大過なく終わることが出来そうです。会費改定のあった今期1年のクラブの活動を会計面から眺めるとメンバーも増え収入も増えましたが費用もかなり増えて会長カラーもさること乍ら各委員会の活発な活動が窺えます。収入が増えたからといって無駄使いせず、我々メンバーも積極的により一層有意義なクラブライフを楽しみたいものです。

Yサ・ユース委員長 岡見 紫

最終事業である5月のインターナショナル・チャリティランも皆様の御協力のお蔭で無事終えましたが、正直なところ『ああ、やっとやっと終わった～！』と心の中で歓声をあげた私。

私は入会以来今まで一度もYサ・ユース事業委員会に所属した事がなく委員長を務まるか不安でしたが、今期の川上会長はことのほかYMCAサービスに熱心な方なのでなにかと御指導頂けるだろうと引き受けたのです。Yサ・ユース事業も地域奉仕同様会員の参加を促さねばならぬ事が多い事業です。何か行事が控えていると色々計画したり準備をしたり、また例会でアピールしたり、終えたらまた報告したりでなかなかぼ～っとしている月のない委員会ではありますが、やはり終えてみると苦労だけではなく喜びも多く味わえ、友情の大切さを実感出来る委員会であると思いました。

今期かなり会員が増えましたが、ワイズメンズクラブは本来YMCAのサポートを中心に据えた奉仕クラブであるという事を認識する為にも、早い時期にYサ・ユース事業委員会に一度は配属すべきではないかとも感じました。これは遅まきながら入会8年目にしてやっと所属した私の経験をふまえた提案です。委員長としてYMCAで催される色々な行事の実行委員会に参加した時に、規模は小さなクラブでも頑張ってYサ・ユース事業に取り組まれているクラブがある事を知り、パレスは老舗のわりには少し存在感ないのかな…とも感じました。（勿論今期の川上会長は熱心なのでお顔が売っていますが…ね。こんな事言うとなら「お前が頑張ったら良かったんちゃうのか！」とお叱りを受けそうですが（汗）

パレスクラブも人数が増えたというだけでなく、活力の溢れたクラブになるという事がこれからの課題ではないかと思っています。ここ数年巷では、老舗の名に胡坐をかいた店や会社が潰れています。パレスクラブも団体だけ大きくなって老化が進まぬ様、いま一度頑張りたいものです。

不慣れな委員長で色々御迷惑、御苦勞を会員各位にかけたと存じますが、何卒御容赦下さい。

1年間の御支援を心より感謝致します。さあ、来期はぼ～っとするぞ～！！

交流委員長 笹山直世

京都パレスクラブ37期は、川上直前会長の下、無事1年を終える事が出来ました。

今年は本当に早い1年で、当初私は初めての委員長体験に不安一杯でしたが、噂通り大変良い勉強をさせて頂く事が出来ました。37期の交流委員会では、ベテランメンバーに囲まれた環境でしたが、良い意味で放置して頂いていた事が、私にとっては非常に勉強になったのではないかなと思います。それは重鎮の重鎮たる所以を見た気がしました。又、クラブ関係の様々な人達との出会いも良い思い出になり、やはりIBC訪問は国際クラブであるワイズメンズクラブ活動の醍醐味でもあったと思います。

感動的であった引継例会でも、色々と表彰して頂いた事は本当に良い思い出になり、これからの自分にとって非常に濃厚な肥やしになった事は間違いありません。委員会メンバーの方々、交流活動にご協力頂いたメンバーの方々、1年間本当に有難う御座いました。

広報委員長 隠塚 功

広報委員会は企画と編集が主な役割であり、メンバーの皆さんの原稿が無ければブリテンの発行もままならないため、メンバー全員が一翼を担っていただいている委員会です。37期の川上会長は「ハンド・イン・ハンド」の標語を掲げて1年間活動してこられました。正に広報委員会はその「ハンド・イン・ハンド」によって支えられ、また楽しんでいただけたと思っています。今期好評を得ましたパレス物語は次期でも継続されると聞いています。こうした企画を最後まで継続できたのも、執筆頂いたメンバーや編集いただいた委員のお陰です。改めて皆さんに御礼申し上げます。ご協力いただきましてありがとうございました。

ドライバー委員長 永井 孝

1年間24回の例会1例会2時間をいかに楽しく実りのあるものに出来るのかを考え、ゲストスピーカーの充実と特別例会の組立てを考慮しましたが、喜んでいただけましたでしょうか？ 通常例会の開会時間の厳守、出席率の向上には改善の余地がありますが、これはドライバー委員会だけの努力だけでは限界があり、クラブ自体が取り組んでいかなければならない課題だと考えます。新年例会で、いちひめ雅楽会の飛騨様、5クラブ合同例会では写真家で冒険家でもある松本様を又、京都政界で最も活躍しておられる福山様、経済界では京都だけでなく日本又、もっと広く世界で大活躍の堀場様をお迎えしての例会は皆様に満足いただけたことと思います。委員会としては全員、例会・委員会ともほとんど欠席もなく、動きの良い素晴らしいメンバーの委員会でした。

お知らせ

6月度新旧合同役員会報告

38期分

第1号議案 予算案の件（会計） 三役からの上程案どおりで承認。

第2号議案 キックオフ研修会の件（会長） 会場はきよみず。開始時間を午後4時からに変更。会費4,000円。宿泊者は別途宿泊費（8,600円）個人負担。クラブから30,000円の範囲で補助することで承認。

第3号議案 7月第1例会の件（ドライバー） 定時総会。余剰時間は38期三役等がスピーチで承認。

第4号議案 7月第2例会の件（ドライバー） メンバースピーチ（候補者：大嶋君、奥村君、久貝君、東畑君、人見君、吉楽君）で承認。

第5号議案 サバエ開設ワークの件（Yサ） 7月6日（日）午前9時集合 予算は、掃除、その他用具、飲料に充当することで承認。

（報告・確認事項）

- ・ファンド委員会 ファンドポテトを10月19日（日）に実施する予定。
- ・中長期計画の件 次回役員会で継続検討予定。

7月のスケジュール

2日 7月役員会。 5日 キックオフミーティング。 6日 サバエ開設ワーク。

9日 通常例会・定期総会。 23日 通常例会 31日から 国際大会

Happy Birthday

1日 堤メネ、8日 西村君、9日 瀬戸君、13日 山岸メネ、16日 久貝メネ、18日 金村君
19日 山本一博君、20日 瀬戸メネ、27日 平井千香子君

Happy Anniversary

11日 高田君夫妻、23日 山本一博君夫妻

YMCA NEWS

1. リーダー研修が始まりました。

大学生ボランティアリーダーに1回生54名が登録し、実行委員会のもとトレーニングが始まりました。6月7日～8日リトリートセンターにおいて一泊二日で新人、経験リーダー120名が、経験に応じYMCA理解、リーダー論、グループワーク、発達障害理解、現代社会の諸問題、食の安全などの研修を行いました。今後、救急法や発達障害、キャンプなど専門別トレーニングを受けながらそれぞれの配属に応じ、子ども達のリーダーとして活動を始めます。リーダー養成のための奉仕活動基金への募金よろしくお願いたします。

2. 2008年度定期総会が開催されました。

5月30日正会員による定期総会が開催されました。予算、決算、事業計画、事業報告のほか、日本YMCAリーダー認証や各ワイズメンズクラブ会長への感謝状贈呈がありました。

3. YMCAサマープログラム参加者募集中！

キャンプ・短期集中スイミングクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。

各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

キャンプ 電話 075 - 231 - 4388 (お問い合わせも左記電話まで)

キャンプ以外 電話 075 - 255 - 4709 (お問い合わせも左記電話まで)

4. オリエンテーション講座のご案内

～京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために～

正会員としてYMCA運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象に、YMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2008年7月25日(金) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館 201号室

対象 京都YMCAに入会して3年以上の方、またはキリスト者で正会員としての志のある方

お申し込みは申込書に記入のうえ7月22日(火)までに受付またはFAX・E-mailにてお申し込みください。

お問い合わせは電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 E-mail:kyoto@ymcajapan.org

編集後記

いよいよ38期の船出です。40周年事業を含め、40期に向けてのスタートの年です。広報委員全員でプリテンを盛りたてます。よろしくお願いたします。

MAIL pr@kyoto-palace.com

(委員長 西枝 攻)

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

8 2008

CLUB OFFICE

京都 YMCA

京都市中京区三条通柳馬場角

TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin

2008.8.1 発行

第 38 卷第 2 号 通巻 434 号

CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「楽しく、正しく、仲良く」～ 40 周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－5 5 5 実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会 長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書 記 | 久貝哲也 |
| 書 記 | 為国光俊 |
| 会 計 | 安達雅直 |
| 会 計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Youth
Activities
Yeep Step

聖句 平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書 5 章 9 節

EMCとは

福井将一

6 月 23 日三条 YMCA で EMC 役員懇談会がありました。西日本区は現在約 1700 名で今期は 2000 名以上に増員しなくてはクラブ運営が苦しいと現状報告がありました。このままではいけない、どうしたら有効か皆さんは熱く語られてました。「パレスは 50 名もの大型クラブで例会、クラブ活動もさまになってやりやすいが、十数名のクラブでは中々運営がさまにならない」と、真剣に悩まれ、意気込みを感じました。

38 期 EMC 委員会の新入メンバー目標は 10 人です。ただ今 51 名なので 60 名を超えれば、Y's で最大のグローバルに並ぶ事になります。素晴らしい歴史を持っているパレスだけにしっかりと努力し行動経過あつての結果を出したいと思っています。

それには何が必要か？ …パレスの魅力とは？ 面白いところは？ 役に立つところは？ 私自身パレスにお世話になって 3 年目になりますが最初の 1 年目は「ボランティア団体なんだな」というくらいで訳わかりませんでした。ただメンバーのほとんどが経営者、大先輩だらけでお話するのが楽しく、大変勉強になりました。奉仕活動を通して世の為、人の為に良い事をする。異業種の方々や多様な年齢層の方たちと色々な話ができて勉強ができ、何故か元気になれる。これがパレスの魅力だと私は思います！ いろんな方々と人生について熱く語る事ができる。そしてポジティブに元気になれる！ 「いいことできて、勉強できて、元気になって、楽しめる」これで新入メンバーを募って行きます。特に女性メンバー?! 皆様のご協力よろしくお祈いします。



| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | | | |
|----------|------|-------------|------|------------------|------|----------------|----------|
| 在籍クラブ会員数 | 52 名 | 7 月第 1 例会出席 | 38 名 | 7 月第 2 例会出席 | 39 名 | ニコニコ 7 月第 1 例会 | 11,000 円 |
| 内、功労会員数 | 1 名 | 内、メンバー | 38 名 | 内、メンバー | 39 名 | ニコニコ 7 月第 2 例会 | 13,000 円 |
| 担当主事数 | 1 名 | メネット | 0 名 | メネット | 0 名 | 累計 | 24,000 円 |
| 維持会員数 | 0 名 | コメット | 0 名 | コメット | 0 名 | ファンド収益 | 0 円 |
| | | ゲスト | 0 名 | ゲスト | 0 名 | 累計 | 0 円 |
| | | ビジター | 0 名 | ビジター | 0 名 | B F 切手 | 0 PT |
| | | スピーカー | 0 名 | スピーカー | 0 名 | B F 現金 | 0 PT |
| 月間 MU 総数 | 0 名 | | | | | 累計 | 円 |
| 月間出席者数 | 47 名 | | | | | | |
| 月間出席率 | 92 % | | | | | | |

7月第1例会（定時総会）（第891回例会）

日時 2008年7月9日

場所 京都ブライトンホテル 松山政宏

本日、田中会長のもと第38期として初めての例会が行われました。開会点鐘の後、委員会報告があり、地域奉仕環境委員長 吉楽ワイズより、和敬学園生徒の会社訪問事業についての協力要請がありました。

その後、定時総会の定数確認がなされ、第1号議案として、第37期の事業報告が各委員長から報告されました。各委員長とも1年を振り返り充実した活動報告と全会員への感謝を述べられていました。続いて第2号議案の会計報告がなされました。新人の私としましては、クラブとしてどのように予算が生まれ、年会費等がどういう形で使われているのかを初めて知りました。当たり前ですがどんぶり勘定ではなく全てきちりと予算が組まれていることに驚きました。

第3号議案に進み第38期の委員長が事業計画としてのキャッチフレーズ及び事業方針をわかりやすく説明されました。私が一番印象に残ったのは田中会長の会長主題「楽しく、正しく、仲良く」という部分です。「楽しい」だけならただの遊び、「正しい」だけなら孤立、「仲良く」だけなら馴れ合い「楽しく、正しく、仲良く」この3つのキーワードで1年間クラブを運営していく、とてもわかりやすく深い意味があると感じました。最後の議題である4号議案では第37期の流れを汲みつつ第38期としての予算が承認されました。これからの1年間、第38期としてまた新しいスタートをきる素晴らしい例会でした。

PS. 西川ワイズが食前の祈禱を行う前に新人に向けて、「アーメン」とは「同意すること」だと教えていただきました。当たり前のように「アーメン」と言っていました。新人としては小さなことでもわからない事が多く、あっそうなんだ！と一人で感心していました。少しずつでも会の事をわかっていくためご指導いただければ大変うれしいです。



7月第2例会（メンバースピーチ）（第892回例会）

日時 2008年6月25日

場所 京都ブライトンホテル 松崎一博

6月は大変忙しくて、第2例会も欠席となったので約2ヶ月ぶりの例会出席となった。いつものつもりで地下の駐車場から会場へ行ったが案内板に例会の表示が無く、一瞬目を間違ったかなと思った。近くにいたホテルの従業員に確認すると今日の例会は1階とのことで、慌てて1階へ上がった。定刻に例会が始まり、食事の後、新入会員のメンバースピーチで、人見君、大嶋君、吉楽君そして最後に久貝君の順番で持ち時間10分で始まった。4人共それぞれ親から会社の経営を受け継いだとのことで、他人から見ると大変うらやましい限りだが、しかしながら4人とも大変苦勞をして経営にあたっているとのことだった。4人共それぞれ経営環境は異なるが、真摯に現状と向き合い真剣に経営とは何かということを考え、悩み、悶え、そしてそれを何とかして打ち破ろうとしている姿をみて感動した。私は仕事柄、会社の労務管理等について、経営者に助言や提案をする立場にあるが、4人のスピーチを聴きながら、私が経営者に語りかける言葉が空虚で経験に基づく言葉になっているのだろうかと考えてしまった。尚、当日YMCA 同盟から、YMCA 25年継続会員の表彰があり井上均君、谷口武士君、永井孝君3名が受賞された。



イラスト制作：河合真帆コメント

キックオフ研修会

日時 2008年7月5日

場所 きよみず

野口大輔

7月5日「きよみず」においてキックオフ研修会が開催されました。参加者は最終18名で大いに盛り上がりました。キックオフ研修会に初参加し、これから38期が本格始動だなあというのが実感です。

準備役員会や本研修等でメンバーの皆さんの色々な思いや、ワイズメンズクラブの問題点など例会では知りえないことも多く含まれ有意義なものとなっています。

やはり、こういう会には積極参加が望ましいです。クラブにただ在籍するだけでは、活動内容についての理解不足、またメンバーとの交流も一部分だけになるように思うからです。さて、今回のキックオフ研修会についての議題は2点でした。

①功労会員、休会制度について

パレスクラブでは会則の上では、功労会員、維持会員の制度がありますが、先ずパレスクラブに多く貢献された方々に対しての功労会員制度について、これについては、是非見直すべきとの意見がでました。チャーター40年を迎え、メンバーの年齢差も大きくなりました。特に、メンバーが増えた今行わないと、また話が頓挫しかねないと思いますので、早急に制度確立が必要と考えます。

パレスの親とも言える方々への敬意を我々は払う必要があります。また、この制度は、他クラブへのモデルケースとして紹介出来ると思います。

また体調を崩したり、長期の海外転勤など、一定の期間クラブ活動に専念できない事情にあるメンバーについての休会制度の創設についても活発な議論がなされました。

②中長期目標について

国内外共に我々が社会奉仕できることは何か？ということです。現在、学校建設など多くの意見があります。こちらについて、個人的に思うのは、ワイズの活動が「社会奉仕」「地域交流」、そのためには「ファンド」「EMC」等の礎の部所の強化が必要と考えます。それらを一つにひっくるめた「旗」を立てれば、皆の目標が明確になり、新会員を増加させる材料・ジャガイモを何故購入していただくのか説明の明確化…礎の部分が先ず強化されると思います。根っこがしっかりすれば、当然、奉仕活動は今まで無い事も考えられますし、地域交流の幅も広がります。ひょっとすると会費も安くなるかも知れません。

どうしても、単年での目標設定は「無難」に過ぎようという考えが出てくると思います。

中長期目標は、「無難」ではなく、それに向かいクラブ全体で年数を掛け取り組む議題でありますので、先を見据えても実施したい案件です。

最後に、新参者が違和感を覚える言葉をお伝えします。

「前期、新人10人入った。今期、大変ですね。」

「前期、ジャガイモ2000ケース突破した。今期、大変ですね。」

…この「大変ですね。」の言葉です。



サバエワークの1日

日時 2008年7月6日

場所 YMCA サバエキャンプ場 平野雅幸

キックオフの翌日の7月6日にサバエワークに行ってきました。ここ数日の天気と比べても格段に暑くなってきた気がします。

サバエでのワーク内容は、ログパレスの清掃と周りの草刈です。ちょっと行き道に用事が出来て到着が遅れてしまったのですが、そこはメンバーが手分けして武器？片手に作業を開始してくれていました。川上ワイズと山岸ワイズは商売道具持参で参加です。岡見ワイズからは掃除用の雑巾、洗剤などを寄付していただきました。さらに前期に寄贈された業務用の掃除機もあるのでキャビンの内部はずいぶんときれいになりました。

サバエ教育キャンプ場はここ近年は松枯れがひどく、毎年ジェイソンが現れて伐採をしていましたが、今回はあまりにも本数が多すぎて（たしか60～70本ぐらい？）業者に頼むとのことでした。松が枯れて木陰が減ったせいか草の量がとても多かったです。メンバーからは某生コン会社の社長にお願いして一面コンクリート化しよう！という冗談か本気なのかわからない意見も出ました。

お昼は毎年人気のカレー。今年はさらにデザートまで付いていました。キャンプ長の久保田さんからカヌートライアルの話などを聞きながら手の込んだカレーに舌鼓を打ちました。

昼食後は山岸ワイズによる剪定の実演、するすると木に上り手際よく刈っていく姿をメンバー一同やんやんやと見上げていました。

さあとお腹もふくれてテンションも着陸態勢に入りつつあったところになって、急にリーダーから草刈りの追加注文をいただきました。えっと思いましたが誰も文句言うことなく頑張って草刈りをしました。最後に岡見ワイズ提供のスイカをみんなで食べてサバエワークは終了しました。

その後、希望者で雄琴温泉、雄山荘にて入浴。汗を流しました。ご参加いただきました方々、暑いなか誠にありがとうございました。

参加者：岡見（ゲスト4名）、隠塚、川上、久貝、小林、笹山（ゲスト3名）、田中、西川、東畑、人見、平野、山岸、山本一博（メネット、コメット2名）、山本好一（敬称略）



京都部メネット会・モリタ屋すき焼き

日時 2008年7月25日

場所 三条木屋町モリタ屋

田中依里子メネット

連日の猛暑日が続く7月25日、三条木屋町のモリタ屋さんにて、第1回メネット会長連絡員会が開催されました。

午後7時、松村智子京都部メネット事業主査の開会挨拶に始まり、藤田寿男京都部部長のご挨拶、加藤智子直前メネット事業主査の乾杯と続きました。熱帯夜の「床」で汗を拭う人を尻目に、2階の広間は藤田部長、島本会計、中西事務局長、山中次期部長、京都クラブ金澤会長の5名のメンと、11クラブ28名のメネットの方々の参加により、総勢33名で賑わいました。我パレスクラブからは、川上メネット、河合メネットがご一緒くださり、何もかもが初めての私にとって大変心強いこととなりました。センチュリークラブの赤松メネット会長、大槻メネット、片山メネットと共にテーブルを囲み、おいしいすき焼きに舌鼓を打ちながら、朗らかな皆様との楽しい会話に、時間が経つのを忘れ親睦を深めさせていただきました。また、センチュリークラブとの合同メネット会の開催など、メネット事業の積極的な活動に繋がる発案がなされるなど、実りあるものとなりました。会も終盤にさしかかり、松村主査が熊本のメネット事業主査会の感想、今期メネット事業計画の報告をされました。環境問題や発達障がいの子供の支援について大変熱く語られ、誠実なお人柄がよく伝わってきました。心に残る閉会のあいさつとともに、和やかな会が終了しました。



入会に際して

坂本伸二

この度、京都パレスワイズメンズクラブに入会しました、坂本伸二です。現在は、デザイン制作また印刷等の仕事に従事しています。このクラブへは、吉岡さんの紹介でゲストとして例会に参加させて頂き、まずその雰囲気を見て正直、私のような者が入会するクラブでは無いな！と思いました。なぜかと言えば今まで適当にやってきた、私がこのような雰囲気の所に飛び込んで皆さんと旨くやっていく自信がありませんでした。

また、クラブにご迷惑を掛けてしまうのではないかと。そのことで吉岡さんにも迷惑を掛けてしまうことになってしまうのでは、と思い嫁と相談したこともありました。嫁いわく、「自分と全く違う環境に飛び込むことも大切ではないですか？」の一言で、それから2回ゲストとして参加させて頂き、その間、吉岡さんそして大野さんから当クラブの説明と意義を聞き、自分が何処まで出来るのかわかりませんがとりあえず入会させて頂き、まず雰囲気に馴れ、皆さんと共に頑張っていきたいと思いました。

だから、今入会抱負はまだ考えるに至っていません。右も左もわかりませんが、色々と勉強等させて頂き見つけだそうと思いますのでどうぞよろしくお願いします。



パレスものがたり 第9話 25周年記念例会

語り部 パレス太郎

節目の会長はクラブの期待を背負って歩む事になる。31歳でパレスに入会、早くから嘱望されていた井上均君が42歳でパレスクラブ25代会長を引き受けました。節目の会長をする人は自信と統率力を備えている。42歳男の厄年を躍進の「躍」にする力強く宣言された。井上会長に課せられた大きな課題は、今までに無い楽しい25周年をどの様に演出するかであります。早速に自家薬籠中の会長キャビネット、為国副会長。堤・杉本の両会計と鳩首相談、やはり西川長期ビジョン委員長に舵取りをお願いする事になり一歩進むことと成りました。井上会長と西川さんの25周年のプランは同じ思い

で、先ず、登録費を5000円迄にする。当時パレスクラブで流行っていたカントリーの音楽と、カントリーダンスで楽しい記念例会にする事をコンセプトといたしました。それには先ず、ホテルでは費用の面で不可能であるので、京都市内の多くの会場を探し求めた結果、五条壬生川に出来て間もない、京都リサーチパークのメインホールを借りる事ができました。会館の中央に大きなホールがあり、パレス25周年の為に作られた様に思えるピッタリの会場でありました。続いて実行委員長の人選に入り、カントリーミュージシャンであり、何事にも長けているが、唯、少し切れるのが早い恐れがあるS君を、反対も有ったが、実行委員長の大役を託す事になりました。早速にS君がリーダーのワイズカントリーバンドが編成されました。大野・采野・川上・野原・皆プロ級の腕前であります。そしてカントリーダンスを踊るメネットのチームも編成され、井上有子・河合美也子・川上ひで子・篠原智子のメネット4人が選ばれ、すぐにレッスンに入りました。また3月17日に向けて、メンバー全員が何処かの役割を担当することになり、様々のアイデアが出て来てクラブは一段と活気に満ちてまいりました。その中で一番の課題は、参加者全員がテングロンハットを被り、バンナダを首に巻き、ウェスタスタイルで記念例会を楽しむことにしよう……となりましたが、5000円の登録費ではとても賄えず、立ち消えそうになりましたが、そこはやはり節目の井上会長。頑張って色々調べて、アメリカから直接買うと言う荒業で目的の演出が可能となりました。メンバーの持ち場の準備も整い、為国君のお洒落な25周年記念例会の案内が日本・韓国・台湾・のワイズに発送されました。そうする内に、実行委員長のS君が強い責任感からか、出欠の返事を今か、今かと毎日首を長くして待っていましたが、ワイズの出欠の返事は遅い事が多く、のんびりした人がわり方多い。自分はこんなに頑張っているのに、出欠の返事ぐらいいはよ出せと、当たる相手は会長しかない。仕事はマンション経営で閑な時間は多くある。考えるのは出欠の事ばかりで、20日も経ってもなかなか返事が来ないと、苛々して、ワイズはどないなっとなるんだと井上会長を一段と責めるようになって来ました。30日過ぎて返事が少ない、これは会長の責任だ。君から各ワイズに連絡せえ……と、連日の電話である。会長より14歳年長で、豪腕の強面。きれやすい性格がでてしまった。ある朝会長から私に電話があり、第一声が、やっしまいました……なんや……実行委員長とバンドを辞めるとSさんが言われましたので、そうですかそれでは辞めて下さいと云いました。

後任は私が探しますとの電話でありました。とうとうやったか……しかし大事な25周年だから、又、会長のリーダーシップも問われるから此処は我慢のしどころ、腹たつけど、自分からあやまりに行けど、それでも駄目なら仕方がない。会長として初めての試練でありましたが、心を込めて謝り、何とか事なきを得ましたが、普通なら何も謝る事ではないが、ここが節目の会長の辛い所で、閑雲野鶴の境遇にいる実行委員長には、責任の重いリーダーの気持ちが理解出来ていなかったようです。このように大きなイベントの影には、皆さんに知らせぬままの苦勞が何時でもあるのです。それをサラットこなせるのがパレスのリーダーなのです。1996年3月17日は快晴に恵まれ、350名の出席でありました。会場はテングロンハットをかぶった人達で、今までに無い風景である。みな、テングロンとバンナダがお気に入り良く似合い嬉々とされていました。主賓の挨拶も皆くだけで、笑い、笑いで、狙い通りの楽しい記念例会となりました。25周年記念事業の記念としては、YMCAへワゴン車一台贈呈されました。東京グリーン・熱海クラブとのDBCも和やかに締結され、東西文化の交流が一段と進む楽しみなワイズのDBC締結でありました。宴もたけなわ、ワイズカントリーバンドによる演奏で、パレスメネットによるカントリーダンスのデモンストレーションが始まりました。赤のテングロンハットにお揃いの衣装でアメリカ国旗を奉げて登場、一瞬、会場から、可愛い・かっこいい・の声、声。見事なダンスで皆うっとり。つづいて友定先生によるカントリーダンスのレッスンが始まり、皆さん大喜びで踊る、広いホールも人々で、カントリーダンス大ブレイク、大いに楽しんでいただきました。踊った後の飲み物は総て1ドル。それも4人の来賓の顔入りの1ドル紙幣と引き換えと、素敵なアイデアで、皆さん記念に持ち帰られました。為国君の手になる「パレスはワイズを元気にする」の標語もおこがましいことでありましたが、出席者のみなさんが、パレスに元気を貰ったと本音でいわれ、見事に標語通りになりました。最後に会場の掃除、後かたづけを全員ではたらき、パレスメンバーが一丸となった25周年記念例会でありました。

お知らせ

7月度役員会報告

(承認事項)

第1号議案 準備役員会承認事項一括承認の件(会長) 承認

第2号議案 定時総会議案提出の件(会長)

37期事業報告・会計報告、38期事業計画案・予算案を定時総会議案とすることで承認。

第3号議案 和敬学園日本海キャンプ支援金の件(CS委員長)

2万円を支援することで承認。7月第1例会にて贈呈式を行う。

第4号議案 和敬学園生によるパレスメンバーの会社訪問の件(CS委員長)

メンバーの職業を知ってもらうために園生が会社訪問を実施することで承認。

詳細は 8 月役員会で上程する。

第 5 号議案 8 月第 1 例会（納涼例会）の件（ドライバー委員長）

会場は洛雲荘（北区雲ヶ畑）、ゲスト会費は 1 万円（コメントも同額）、送迎バスを用意することで承認。
送迎バスは 3 台で、集合場所は北山駅。集合時間は午後 6 時～6 時 30 分。マイカーも可。

第 6 号議案 8 月第 2 例会の件（ドライバー委員長）

クールビズ例会（ノーネクタイ・ノージャケット）とする。京都部部長訪問。部長、EMC 主査、CS 主査のスピーチ 40 分。阿部主事のスピーチ 10 分で承認。

第 7 号議案 退会者の件（会長）

下坂君と村田君の 6 月末退会を承認。

第 8 号議案 事業委員会設置に関する規則変更の件

「地域奉仕事業委員会」の名称を「地域奉仕・環境事業委員会」に改称する。あわせてクラブ会則の第 1 条第 2 項「地域事業委員会 (CS・TOF 事業)」地域に対する奉仕活動を「地域奉仕・環境事業委員会 (CS・TOF 事業)」地域に対する奉仕活動および環境に関する事業に変更することを承認。

（報告・確認事項）

・第 1 回京都部評議会報告（会長）

京都部費を値上げし、部会の登録費を下げた参加者の負担額を減らす。かつ部費相当分を設営費に充当し、登録費は飲食費に充当する案が提案され、各クラブで意見をまとめることとなった。

・38 期会計口座の確認（会計）

クラブ名義の口座で開設されている 36 期口座に戻す。

・予算の一部修正の報告（会計）

退会者 2 名とメール会員への変更 1 名により修正した。

・サバエ開設ワークの確認（Yサ委員長）

・京都部 CS 懇談会報告（CS 委員長）

・EMC 懇談会報告（EMC 委員長）

・キックオフ研修会宿泊中止の報告（会長）

・中長期計画の報告（会長）YMCA からの国際 CS 案をキックオフ研修会に提出することを確認。

議事内容確認 書記 爲國光俊

閉会挨拶 副会長 小林千春

次回 8 月役員会日程：2008 年 8 月 6 日（水）19：30～ 京都ブライトンホテル

8 月の行事

1 日 三役会 6 日 役員会 9 日 第 1 例会（納涼例会） 23 日 和敬学園地蔵盆
27 日 第 2 例（会部長公式訪問）クールビズ例会 29 日 9 月度三役会

Happy Birthday

1 日 高岡君、6 日 福井メネ、9 日 瀬戸君、13 日 宮本メネ、14 日 隠塚君、杉本君、15 日 笹山君、
16 日 西中メネ、17 日 山本好一君、21 日 東はた君

Happy Anniversary

10 日 久貝君夫妻、26 日 吉楽君夫妻、29 日 山岸君

YMCA NEWS

1. ワイズワーク感謝！

6 月 29 日（日）にはリトリートセンター開設ワーク、7 月 6・13 日（日）にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”と YMCA スタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。

また、9 月 7 日（日）にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。

よろしくお祈り致します。

2. 京都 YMCA 平和の集いのご案内

テーマ：「核のない世界を アジアから ～戦争文化を脱却し平和文化を構築する YMCA の動きは～」

世界中から核兵器を廃絶するための方策「2020 ヴィジョン」などの訴えを改めて伺います。

聖書が語る「平和を実現する人は幸い」、それは力の強いものが自分たちだけの利益を求める軍事産業を背景とした「戦争文化」から脱却して、競争原理ではなく、人と人、都市と都市などの協力原理を基盤とした「平和文化の」構築が最も重要だと説いておられます。

どなたでもご参加いただけますので、ぜひお問い合わせしてお越しください。

日時：8月22日（金）午後7時～8時30分

場所：京都 YMCA 三条本館

講師：ステイブン リーパーさん（(財)広島平和文化センター理事長）

参加費：無料

お申込み・お問合せ 電話（075）231-4388 FAX（075）251-0970

Eメール kyoto@ymcajapan.org

3. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月9日（火）午前10時より一般の方の後期募集が始まります。

お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ

電話（075）231-4388

スイミング・体育

電話（075）255-4709

編集後記

7月はキックオフに始まり、第2例会はメンバースピーチになりました。プリテンネタ的にはすくないようですが、第2例会の写真は河合コメントの力作でちょっと変化をたせた構成にしました。太郎次郎もあと数回で一応の完結をします。今月号も期日発行に努力します。尚ファックスメンバーは8月号、9月号は各第2例会での配布となります。

MAIL pr@kyoto-palace.com

（委員長 西枝 攻）

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会
委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

9 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.9.1 発行
第 38 巻第 3 号 通巻 435 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部长主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

会 長 田中一馬
副会長 隠塚 功
副会長 小林千春
書 記 为国光俊
会 計 安達雅直
会 計 山本一博

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Menette

聖句 目をまっすぐ前に注げ。
あなたに対しているものにまなごしを正しく向けよ。
箴言 4章 25節

ファンド事業の趣旨

井上 彰



私達のクラブは奉仕クラブです。YMCA のサポート、地域社会への奉仕活動その他いろいろな奉仕活動を行っています。本来それらの活動を行う活動資金は会費でまかなわなければならないと思いますが、会費だけでは十分な奉仕活動資金が得られないのが現状です。

そこで我々の先輩諸氏はファンド事業を行う事により足りない活動資金を補ってきました。事業は資金を得るだけでなく事業それぞれの意味合いをもたせワイズメンの心意気も充分織り込んだものでした。私が入会した当時は、「無形のものから有形(資金)を得る」コンセプトのもと古切手の収集が行われていました。現在もっともファンド事業で収益性の良いジャガイモの販売も、当初は北海道十勝の『嫁探し』が始まりでした。それぞれのファンド事業は奉仕クラブの理念に基づいた事業がなされて来ました。ただ単に物を売るだけでなく人の想いも理解する必要があるはずで。

近年、パレスクラブでは現金ファンドが行われるようになりました。いろいろ意見もあると思いますが、私自身現時点では問題は無いように思っています。あくまでも物品の販売や労働奉仕によって得た代価、プラス現金ファンドであることが前提なのです。

次にファンド事業で得た資金がどのような形で奉仕活動に活用されるかを検証していく必要があります。「〇〇の奉仕活動を行いたいので〇〇のファンド収益が必要である」とか「ファンド事業の収益が〇〇あるので〇〇の奉仕活動が行える」とか考えかたはいろいろですが、要するに奉仕活動をする相手先に喜ばれ感謝される資金の運用でなければなりません。そのことがファンド事業に協力して頂いた方々に対しての『お礼』でもあると思うのです。

最後にファンド事業の趣旨とは、よりよい奉仕活動を行うにあたって会費ではまかなえない所の資金調達です。その手法の中で知恵をだし、議論をし、汗を流して行った事業で得た資金により、YMCA のサポート、地域への奉仕、その他の奉仕活動を行うことが我々ワイズメンの使命であり、誇りではないでしょうか。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|---------|
| 在籍クラブ会員数 | 52名 | 8月第1例会出席 | 45名 | 8月第2例会出席 | 50名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 39名 | 内、メンバー | 45名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 5名 | メネット | 0名 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 1名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 2名 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 3名 |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 46名 | | | | |
| 月間出席率 | 90% | | | | |
| | | | | ニコニコ8月第1例会 | 5,000円 |
| | | | | ニコニコ8月第2例会 | 14,000円 |
| | | | | 累計 | 38,000円 |
| | | | | ファンド収益 | 0円 |
| | | | | 累計 | 0円 |
| | | | | B F 切手 | 0 PT |
| | | | | B F 現金 | 0 PT |
| | | | | 累計 | 円 |

8月第1例会（納涼総会）（第893回例会）

日時 2008年8月9日

場所 雲ヶ畑 洛雲荘 人見晃弘

8月9日、この日も京都市内の最高気温は36℃の猛暑日でしたが、例会場となった京都の奥座敷、雲ヶ畑の洛雲荘は24℃、川床に設けられた座敷は、まさに納涼例会にふさわしい場となりました。

まず、田中会長による開会の挨拶の後、ゲストの皆さんが紹介されました。この日は、河合メネット、久貝メネット&コメット、杉本メネット、瀬戸メネット、山本好一メネットに御来場いただきました。

次に、クラブより森田ワイズ（京都部交流主査）と隠塚ワイズ（時期会長）に、活動支援金が授与されました。



その後、隠塚ワイズによる乾杯の挨拶があり、豪華な懐石料理とお酒を前に、それぞれ歓談と親睦のひとときを過ごされました。

私は先日ファンドオークションで落札した食事券を、この日に野口ワイズから受け取りました。皆さんも出品や入札でどんどん御利用、御参加ください。

最後に、この日紹介されたハッピーバースデー会員は、高岡ワイズ、隠塚ワイズ、杉本ワイズ、山本好一ワイズ、笹山ワイズ、山岸ワイズでした。

ハッピーアニバーサリー会員は、久貝ワイズでした。

皆さん、おめでとうございます。



例会報告は以上ですが、スペースが余ったので、私の盆休み中の出来事を少々。

12日の仕事を終えてから、バイクで深夜に京都を出発し、信州方面へ行って来ました。

13日は諏訪から軽井沢を抜けて草津温泉へ。有名な湯畑や西の河原を見物し、無料の温泉をゆっくり楽しみました。今年はガソリン高騰の影響で、自動車で来るお客さんが非常に少なかったそうです。

翌14日は志賀高原を通って善光寺にお参り、戸隠そばを食べました。とてもおいしかったです。

その後もあちこち走り回り、1250kmの旅でした。

8月第2例会（部長公式訪問）（第894回例会）

日時 2008年8月27日 19:00開始

場所 京都ブライトンホテル

井上 均

暑い暑い真夏日が続き、ここ2～3日は朝夕涼しくなってきました。このまま早く涼しくなって欲しいものです。

今日は京都部々長公式訪問とクールビズ例会（ノーネクタイ、ノージャケット!!!）。本日のゲストは藤田京都部々長、高田 EMC 主査、上原 Y サ・ユース主査と福井 EMC 委員長紹介の松塚信子様、大森夏彦様です。

まず高田 EMC 主査から「人は見た目が9割」と言う本、「最高の人生のを見つけ方」映画の話を題材にされ「京都部は555名」をめざしますので会員増強のご協力をお願い。そして上原 Y サ・ユース主査からは YMCA 活動に楽しく参加して下さいと京都部への協力とお願いのスピーチの後、藤田京都部々長からパワーポイントを駆使されデンマークでの第68回国際大会に参加された、国際大会報告と町並みや大会会場の写真が紹介され、2年後の横浜大会のアピールを東・西日本区メンバーとされて来られたそうです。

さて本日の本題、藤田部長は京都部が何故555名に挑戦するのかを現状報告（458名）をされ、時系列による目標設定を、短期：コンザベーション、中期：メンバーシップ、長期：エクステンションに分け細かく説明された。そしてワイズメン個々の意識の見直しを繰り返し、親睦を深め（意識の共有化）、活動計画の柱を立て各クラブが主体として計画を実行し結果として555名が達成できるのではと判り易いプレゼンテーションでした。

最後に例会時間を少し延長し会長よりパレスクラブの中長期奉仕活動に対する取り組みについて（今年3月訪問の時に東京グリーンクラブからタイに HIV の学校建設の協力）何が出来るか「次なる奉仕活動の柱」、「明確なファンド事業の目的」等メンバーで考えて行くために今日は手始めに京都 YMCA 阿部主事より京都 YMCA のサポートによりネパール YMCA が全寮制の学校を作り孤児のお世話をしている「ネパール・ストリートチルドレン奨学金」国際地域奉仕事業が報告されました。2次会は2階のムーンシャイナで総勢20名を超えるメンバー、京都部役員さらに入会候補のお二人にも参加していただき大いに盛り上がったそうです。

京都部役員の皆さん本日はお忙しい中ご出席頂き有り難う御座いました。



和敬学園生の会社訪問

8月7日12時半、私たちCS委員4名と担当書記1名が和敬学園に集まり、これから長い1日が始まります。当日のスケジュールは次のように進みました。和敬学園12時30分集合、12時40分出発。

Aグループ（生徒4名 川上、西中、久貝、合計8名）

13:00 田中会長事業所

14:15 笹山ワイズ事業所

15:35 福井ワイズ浪漫屋着（A、B合流）

17時過ぎ 食事 ～終了18:30



Bグループ（生徒4名 吉楽、西村、合計7名）

13:05 吉岡ワイズ事業所

14:30 隠塚ワイズ（市役所内）

15:35 福井ワイズ浪漫屋（A、B合流）

17時過ぎ 食事 ～終了18:30

Aグループは和敬の子供たちを連れ先に田中一馬会長の会社を訪問、子供たちにあまり馴染みのない保険の話を目中社長から受けた、少し難しいと思うが丁寧な説明を熱心に聞いてくれていた。帰りにアフダックの人形をプレゼントされみんな上機嫌。次に笹山ワイズの会社タモツ紙工を訪問、広い工場の中に所狭しと、紙の加工機械が並んでいる、笹山社長により各機械の説明を聞き、1枚の普通の紙がお洒落なケースに変わってゆく過程を見せていただき、かなり興味を示してくれた。おまけに実際、切断機を使い体験作業をさせて頂き子供たちは満足そうであった。

Bグループでは、まずは吉岡ワイズのアートスクリーンヨシオカさんへ向かいます。ステッカーの印刷工程や調色作業を見学したり実際に準備から現物が出来上がるまでの工程を見学。加工機械、道具、働く人の知識と技術、加工に必要な全てのツールが高いレベルにあるからこそ商品が出来上がってゆくことを子供たちに伝えます。そして社会に出てからもいかに勉強と努力が大切かということも伝えられました。作業を間近で見ることができ加工工程も出来上がりまで見学できたので子供たちにはわかりやすかったのではないかと思います。抽選券でよく銀色のコーティングをコインで削ると下から当り！やハズレの文字がでくるカードがありますよね。それを作ってるのもパレスの人や！と知ってもらいました。吉岡メネットにはお茶や写真まで撮っていただきありがとうございました。次は隠塚ワイズの待つ市役所に向かいます。市民の代表者としての議員が本会議に集まり市議会の意思を最終決定する、その本会議場を見学。その本会議で決める前に少数議員で専門的に審査する委員会、その委員会室では議員の質問に課長級以上50人ほどの市役所員が答弁をする部屋だと聞くと殺風景な部屋もなかなかの迫力を感じます。情報公開ということで委員会の様子はモニタールームで視聴することができます。60席ほどあるこの部屋も見学できました。政治というのは君たちにも近いものなんだというメッセージを伝えるそんな議員さんもパレスの人だったのです。さていよいよ福井ワイズの浪漫屋さんにA、Bグループ集合です。子供たちとあまり歳のわからない店長にびっくり！ 社会の先輩であり元気な店長はとても刺激になりました。みんな輪になり浪漫屋儀式、一人ひとり挨拶と夢を語るのです！ 夢を見つけられない子や挨拶の声がなかなか出せない子もいます。去年夢がなかったと言う理由にはやっとな親が離婚できたと語る子供もいます。その後体験学習、焼き鳥の串刺し！ 初めはピクピクしてなかなか進みません。仕事は楽しんでやる！ お客さんに喜んでもらうために仕事をする！ 気合が伝わる浪漫屋さん訪問でした。園長先生も参加され浪漫屋さんでそのまま食事会を行い無事終了しました。

生徒も私たちも若干なりともお互いを知ることができた活動であったと思います。

仕事に対して熱心な社会人、経営者の集まりがパレスクラブメンバーだということ、その事業所に進路に迷う生徒を連れて行くことは何らかの響きがあるはずで。その成果は数年後かもしれませんが、実りあるものになってくれたらと願います。



和敬学園地蔵盆

日時 2008年8月7日 川上孝司

PM 1:20 吉楽委員長と私は一足に和敬学園に到着と思いきや、岡見ワイズのお店の若い衆2人が私達を待っていてくれた。「いつもありがとう」の挨拶でとりあえず4人がたこ焼きの材料を確認しキャベツを切り始めた。今回「何とか子供たちにカキ氷を」の吉楽委員長の熱い思いに答えるかのごとく、カキ氷の機械の都合をつけようと西中ワイズが自分の町内で使っている機械をかつぎ駆けつけてくれた。時間が経つにつれメンバーも揃い4時ごろには予定通り手際よい吉楽委員長の采配ですべて準備完了、夕刻会長も到着し地蔵盆が始まった。読経の後、会長、副会長、委員長が和敬学園の

皆様にご挨拶を行った。カキ氷を担当している屋外では終始雨が降りなかなか大変な状態ではあったが大量に準備されたカキ氷の材料も、たこ焼きの材料も終了間際になると予定通りなくなった。息つく暇もなく焼き続け、気が付けば終演を迎えるのはいつもと同じだが、ただひとつ違ったのは子供たちとの距離を近く感じたことだ。前回和敬学園生のワイズ企業訪問で少し顔見知りになったのかもしれない。小さな前進かもしれない。最後に今回の事業に参加協力いただいたメンバーの皆様、小桜コネット、ブレラの若い衆、そして隠塚ワイズのゲストの女学生さん本当にありがとう。委員長に代わり本当に感謝である。お疲れ様。



お知らせ

8月度役員会報告

(承認事項)

第1号議案 9月第2例会の件(ドライバー委員長)

ゲストスピーカー桂一朗氏(株式会社ワコール執行役員 社長室長兼総務部長)、謝礼3万円とするがバッチ購入となる場合もあり紹介者西枝君に一任することで承認。

第2号議案 10月第2例会(3クラブ合同例会)の件(会長)

ゲストスピーカー仲津英治氏(西日本ジェイアールバス株式会社)、謝礼3万円のうちパレスクラブとして1万円負担する。メンバー会費4800円、合同例会PTは三役で対応、例会運営はドライバーでおこなうことで承認。

第3号議案 ファンドポテトの件(ファンド委員長)

現金ファンドを実施、メンバー名記載のステッカーを作成することを承認。販売価格については継続審議。

第4号議案 和敬学園地藏盆の件(CS環境委員長)

たこ焼きとかき氷を実施。かき氷機借用の謝礼5000円、その他実施予算は委員会一任。集合時間は担当委員会13:30、メンバー16:00、開始は17:00で承認。

第5号議案 和敬学園生会社訪問の件(CS環境委員長)

8月7日(木)午後1時から。参加生徒数8名。訪問先は、笹山君、福井君、吉岡君、隠塚君、田中君の職場。浪漫家にて食事会。食事会の費用はクラブ負担で承認。

第6号議案 地域奉仕・環境事業委員会の環境事業の件(会長・CS担当三役)

「メンバーに、環境問題への取り組みを啓蒙する。」との事業方針を追加することを承認。

第7号議案 例会費特別処置の件(会長)

宮本君が病気療養のため、1年間休会として例会費を年間5万円とする(5万円の根拠は区費・部費・YMCA維持会員費・各奉仕基金分)。本人が例会等に出席の際はメンバー例会費を負担する。従来通りの配布物を受け取ることで承認。

(報告・確認事項)

- ・京都部ホームページアンケートの件
- ・京都部広報事業協力へのお願いの件

9月の行事

3日 役員会 14日 第1例会(振替例会・京都部部会) 24日 第2例会 通常例会

Happy Birthday

5日 西川メネ、14日 福井君、19日 西村君メネ、21日 松崎メネ、28日 坂本君

Happy Anniversary

7日 平松君ご夫妻

YMCA NEWS

1. YMCA サマープログラム報告と感謝

今夏もサバエキャンプ場、リトリートセンター、三条本館のスイミングプールやホールをはじめ各地で、多くの青少年が参加者として、更にはリーダーとして参画をすることを通して、心身ともに生まれ豊かな時を過ごすことが出来ました。これもワイズメンの皆様のご支援、ボランティアリーダーに対するサポート、各施設におけるワークをはじめとした多大なるご支援により、すべてのプログラムが実り豊に実施できましたことをご報告し感謝を申し上げます。

更には、心やからだに障がいのある子供たちをはじめとした「小さくされた人」に、隣り人として寄り添っていただきましたことも、励まされ勇気付けられものでありました。心より感謝いたします。

2. 京都 YMCA は 120 周年を迎えます

2009年2月に京都YMCAは創立120周年を迎えます。

この120周年を機に、5年後の125周年(2014年)に向けて、私たちの「京都YMCAのあるべき姿」を構築すべく取り組みを開始いたします。(PLAN125)

このプランは、YMCAの使命を果たすべく方向性を探り、事業計画の策定、更には公益法人制度改革に対応しつつYMCA本来の組織の有り様などを検討し構築すべく「PLAN125」として作成するものであります。

今後は各委員会やタスクチームなどで検討され、会員の皆様にも2009年の「会員集会」や「京都青年」などによって適時ご報告をさせていただきます。

3. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受けつけ開始に備えて、募集活動を実施中です。

【介護福祉学科】

「すべての一人ひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。

- ・4年連続(2005年～2008年)就職率100%達成!
- ・卒業と同時に国家資格「介護福祉士」を取得(2011年度卒業生まで国家試験免除)

【社会福祉学科(夜間2年制)】

社会福祉士への近道がここに!

- ・卒業と同時に「社会福祉士」国家試験受験資格を取得
- ・2008年春 社会福祉士国家試験合格率 本校78.6% 全国平均30.6%

皆様からご紹介くださった方が当校を受験される場合は受験料(20,000円)を免除させていただきます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させていただきます。

お問い合わせ等がございました際は、専門学校辻中までご連絡をお願い致します。

京都YMCA国際福祉専門学校 辻中康宏 電話 075-255-3287 FAX 075-255-2805
e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

4. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ スイミングスクール ユーススポーツ

9月9日(火)午前10時より、一般の方の後期募集がはじまります。

お知り合いの方でご興味がある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。

ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申込み共に下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話(075)231-4388
スイミングスクール・ユーススポーツ 電話(075)255-4709

編集後記

この夏はホンマ異常気象の連続でした。熱暑に始まり突然のゲリラ豪雨、秋になったかと思うと、月末は厳しい残暑で8月は終わろうとしています。今月は和敬学園生のメンバーの会社への訪問が企画され、また納涼例会は雲ヶ畑でと趣向に変化が持たれました。さらに第2例会では藤田部長をはじめ各事業主查の熱いメッセージが表明され、今までの京都部とはちょっと違うぞと皆さん感じられたことでしょう。

オリンピックは中国の底力をまざまざと見せられ、こちらは半分白けた大会になりました。また40周年に向けた事業についての、事業のスタートの年になります。10月号からはメンバー各位の自由闊達な意見をお待ちしています。積極な投稿をお待ちしています。

MAIL pr@kyoto-palace.com

(委員長 西枝 攻)

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

10 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.10.1 発行
第 38 巻第 4 号 通巻 436 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部长主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

会 長 田中一馬
副会長 隠塚 功
副会長 小林千春
書 記 为国光俊
会 計 安達雅直
会 計 山本一博

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
BF

聖句 わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、
自分の満足を求めるべきではありません。

ローマの信徒への手紙 第15章1節

40周年へむけての提案

田中 一馬



38期がはじまって3か月が経過した。「楽しく・正しく・仲良く」という会長主題をかかげたが、その意気込みとは裏腹に、次から次と迫りくる事業をこなすことに精いっぱいである。クラブ運営の難しさと自分の無力さをひしひしと感じる今日この頃である。

さて、40周年へ向けての提案というであるが、内容は明確ではないが、パレスクラブにとって何か新しい奉仕の柱になるような事業を策定する必要があると感じている。この発端は今年の3月に東京グリーンクラブの「屋形船の会」で、タイのHIV患者の子供たち向けに学校建設を行う事業を、パレスで協力してくれないかという依頼があったこと。もう一つは時期を同じくして5クラブ合同例会で、ゲストの方から「ワイズメンズクラブって何してる会かよくわかりませんね。」といわれたことである。確かにそのゲストの方の疑問はもっともだと思ったし、タイの学校建設に対する協力などは非常にわかりやすい奉仕活動だし、このような事業があれば対外的にも説明がしやすいなと感じた。それを後押しするかのようグローバルクラブのミャンマーでの学校建設の話、西日本区大会で発表されたさまざまな各クラブの地域奉仕活動など従来のYMCAサービスだけにとどまらない取り組みがたくさんなされていることに気づいた。それらの事業が各クラブの運営にどのような効果をもたらしているかは不明であるが、それらの事業を行うことがEMC活動の一助になっているのではないかと感じた。そこで現在のパレスクラブの奉仕活動を、EMCの観点から見ると、現状のCS活動やYサ活動そのものはあまり新人獲得に寄与しておらず、どちらかという「交流と親睦」のほうが新人獲得の手段としては有効打になっているような気がした。もちろん純粋に奉仕活動を行いたいという理由でワイズ活動に参画されたメンバーもいらっしゃるが、どちらかという人的交流を求めてワイズ活動に参画されたメンバーのほうが多いと感じている。そこで新しい奉仕の柱は、その事業そのものが新人獲得に寄与し（つまり、そんな事業してるんやったら自分も参加させて！と思えるような事業）、YMCAと協働でき、クラブメンバーが一致団結して進んでいけるような事業となることをイメージしている。このような発想のもと新しい奉仕活動の策定を40期にむけて提案したいと考えている。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | | | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|-----|------------|---------|
| 在籍クラブ会員数 | 51名 | 9月第1例会出席 | 28名 | 9月第2例会出席 | 37名 | ニコニコ5月第1例会 | 0円 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 28名 | 内、メンバー | 36名 | ニコニコ5月第2例会 | 8,000円 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 0名 | 累計 | 46,000円 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 | ファンド収益 | 0円 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 1名 | 累計 | 0円 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 0名 | B F 切手 | 0 PT |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 1名 | B F 現金 | 0 PT |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | | 累計 | 0円 |
| 月間出席者数 | 39名 | | | | | | |
| 月間出席率 | 78% | | | | | | |

9月第1例会（京都部部会）（第895回例会）

日時 2008年9月14日

場所 京都グランヴィアホテル 小西孝典

京都部部会が2008年9月14日ホテルグランヴィア京都で、17クラブ・461名のワイズメンとゲストが集い開催されました。（パレスからは30名の参加です）

第1部式典のバナーセレモニーでは、壇上での田中一馬会長の少々硬い表情が少し気になりました。（やはり少し緊張してるのかな～）森田美都子・交流主査はさすがに余裕の表情でした！（踏んでる場数が違うのかな？）

しかし、国際アワードよりの授賞式では、満面の笑顔に変わっていました。我がパレスはクラブブースター賞と大野ワイズが受賞された個人ブースター賞の2つもの賞を頂きました！これらの賞は第2部の500の壁に大いに関わる大切な賞です。前期川上会長も努力が報われましたね♪

そして、第2部は「宴（メシ）まで生テレビ」と題された、各クラブ会長による朝まで生テレビ風の討論会です。副題を500の壁とし、今期中に京都部のメンバーを500人以上に出来るかの討論会なのです。

事前のアンケートで17クラブ中、パレスとエイブルクラブの2クラブだけが達成が難しいとの答えでした。田中会長は司会の高田・京都部 EMC 主査に一番最初に「何故昨年10人も新入会員を獲得し今期の目標も10人としているパレスがそんなに厳しい回答なのか？」と突っ込まれ困っておられました…京都部の現状を正確に分析された結果かなと思いました。

ただ先ほども書きましたが、今期もパレスは田中会長はじめ福井 EMC 委員長以下、厳しい条件下ではありますが、去年度同様10人の新入会員獲得を目指しています。この目標はクラブメンバー全員の協力があるからこそ達成できると思います。

クラブの内容は頭数だけでは無いとは思いますが…クラブ活性の重要なファクターだと思います。皆さんも是非 EMC 活動に進んでご協力をお願い致します！！もちろん退会者を出さない事もです。

第3部の宴では、金髪・ロン毛の陸サーファーの一馬会長、全身タイツ青子・波役の小林さん隠塚さん1・2・3でご苦労様でした。

最後に充実した京都部部会をホストされた、ウイングクラブの皆さん素敵な部会運営ありがとう御座いました！



9月第2例会（ゲストスピーカー）（第896回例会）

日時 2008年9月24日 19:00開始
場所 京都ブライトンホテル

東畑泰宏

9月の第2例会のゲストスピーカーとして、ワコールホールディングスの桂一郎氏にお越しいただきました。乳がんの早期発見、早期治療を唱えるピンクリボン活動の意義、これまでの活動の経緯や今後の展開などのお話を聴かせていただいたのですが、創業者の想い、業界を代表する企業としての重責を担う覚悟、そして多くの人や組織団体を巻き込んでいくことによって、より大きな波紋となっていく過程が本当に素晴らしいものだと感じました。たくさんの人が賛同し、智恵を出し合って何倍もの巨大な力となるのです。「乳がんで悲しむ女性を一人でもなくしたい」というピュアな気持ちで支えられた活動のピンクリボンをモチーフにしたロゴマークにはワコール社の「ワ」の文字すら入っておらず、利潤を追求する企業活動とはある意味で切り離れた純粋な社会貢献であることが本当に感じ取れます。私自身も、街で時折、自動車などに貼られているのを見かけるピンクリボンにはこのような背景があったことを知り、非常に勉強になりました。また、最初はなかなか社会から受け入れられずに苦勞した活動も今では世界10カ国に及ぶといえます。まず、一步を踏み出す。そして、思い通りに進まなくても諦めずに続ける、とにかくゆっくりでもいいから続ける、創意工夫を凝らして頑張っていると賛同者、協力が現れる、そして必ず道は拓ける。といった努力の法則の縮図だと深く感じ、40分という短い時間の中でもたくさんの勇気とエネルギーを頂きました。今後のピンクリボン活動がますます活発なものとなり、乳がんに苦しむ一人でも多くの女性、その家族や友人が笑顔になれるよう祈念しております。



第12回 京都部合同メネット会

日時 2008年9月14日
場所 ホテルグランヴィア京都

メネット 吉楽一代

残暑厳しい9月14日、ホテルグランヴィア京都にて、第12回京都部合同メネット会が開催されました。京都部の14クラブをはじめ九州部、阪和部、中部、中西部、六甲部から7クラブ、約80名の参加者の中、盛大に行われました。パレスクラブからは、川上メン、田中メネット、隠塚メネット、西枝メネット、河合メネット、杉本メネットと私の7名で参加させて頂きました。松村智子京都部メネット事業主査の開会挨拶に始まり、福山哲郎参議院議員の「地球環境問題について」の講演とつづきました。

近年、地球環境問題は大きく取り上げられています。ECO（エコ）という言葉も頻繁に耳にします。福山議員は、近年の地球温暖化の実態をスライドにて大変わかりやすく、大変熱く語って頂きました。地球が温暖化となっている驚くべき現状を写真で見ても、こんなに緊迫した状態だという事を、はじめて知りました。例えば、氷河の大幅後退、モンゴルのゴビ砂漠に湖が無くなり放牧難民が増している等。地球上のすべての生命に危機がおとずれているという事。

原因は私達人間に有、私達が元の地球に戻す義務があると思います。身近なところからECOを心掛けていく事で随分変わっていくはず。福山議員が「トイレの温水洗浄便座の設定温度を調整するのと、使用しない時はフタをする。フタをする事によって保温効果があり無駄な電気を使わなくてすむのでホテルなど



でトイレに行った時もフタを閉めてまわるんです。」とお話しされました。各ご家庭でもトイレのフタを閉じる事は簡単に出来ますが、意外と開けっ放しにしてしまう・・・そんな時は福山議員がお話になった『「電気がもったいない！」ではなく「ウンが逃げないように閉めよう！」』と言うと効果がでますよ』というのを使わせてもらいたいと思います。我が家では冷暖房を必要とする季節には、なるべく家族全員が一つの部屋に居るようにしています。各ご家庭で自分から何が出るかを話し合いエコライフを楽しみながら環境問題に取り組んでいければいいですね。

1時間半という短い時間の中で環境問題に対する意識が大きく変化し、早速色々実行してみようと思いました。とても充実した時間を過ごせました。

我が家族

笹山直也

平成20年7月14日、私、とうとう入籍致しました。何だかんだ言ってもやはり家庭が有るのは幸せな事で、日々の安心感のようなものは、言葉に出来ない幸福なのだと感じます。妻も私同様2度目の結婚ですが、彼女には2人の子供がいましたので、その子供達も私の子供となり、初めて“親父”となる事になりました。

先日のお盆休みを利用して、安上がり新婚旅行的な家族旅行で能登へ行ってまいりました。8月12日深夜に子供達を寝かしつけた後、車に乗せて出発し、13日早朝に石川県羽咋市に到着、砂浜を四駆で走りたかったのでそこへ立ち寄る事にしました。水しぶきを上げながら砂浜の波打ち際を四駆で走るのは爽快で、子供達のはしゃぐ姿を見ているのはとても楽しい時間になりました。その後、能登半島まで移動し、宿泊先の近くに有る海水浴場で遊び食後は皆で花火を楽しみました。翌日14日は珠洲市宿泊の予定だったので、観光ポイントを見ながら珠洲市へ移動。その日の夜も美味しい魚とお酒で、家族旅行を満喫する事が出来ました。翌15日この日は子供達の人生で2度目の“海”という事に配慮し、1日こっそり海で遊ぶ予定でした。あいにく天気が悪く、波が高かったのですが、大勢の波乗りに来ている人達も子供にとっては珍しいのか興奮した様子で、波に飲まれて泣きながらも、悪天候にもめげず1日中波と格闘していました。帰宅予定日の16日は、長男が恐竜好きなので、帰りに福井県の恐竜博物館を經由して帰る事になりました。当然の事ですが、やはり子供達は大興奮。



私は、子供の無邪気な可愛いさと、子育ての大変さが少し分かり、今まで大変だったであろう事を妻と話しました。そして来年4月、3人目の子供が産まれる予定です。何か子供の夏休みの作文みたいになってしまいましたが、私の新家族に関する近況報告です。

辻弘嗣氏「ホテリア・オブ・ザ・イヤ－2007」をお祝いする会に参加して

田中一馬

我がパレスクラブの例会場である京都ブライトンホテルの辻社長が、「ホテリア・オブ・ザ・イヤ－2007」を受賞され、そのお祝いの会が9月10日水曜日に開催された。わたしは当期の会長として辻社長より直々にご訪問をいただき、「パレスさんはうちのホテルを最も古くから使っていただいていますので一番にご案内しました」とお言葉をいただいた。「ご参加をお願いしますね」と言われましたので、その場で「喜んでお邪魔します」と答えた。そののちに送っていただいた招待状には呼びかけ人として堀場製作所の堀場会長や市田ひろみさんのお名前があり、ひょっとしてこの会はものすごく格調高い集まりなのではと少し心配になった。当日会場に着くと駐車場には高級車ばかり。「やっぱりか?」と思って少し緊張気味に会場にはいると、そこには大野さん、杉本さん、永井さんの顔がありちょっとひと安心。でも出席者は京都を代表する財界の面々がたくさん参加され辻社長の人脈のすごさを感じた。祝舞「老松」を皮切りに祝宴がスタートした。堀場会長の呼びかけ人代表挨拶はユーモアたっぷり会場を笑いを誘い、門川京都市長、麻生京都府副知事の祝辞、千宗室氏の乾杯と会が進行していった。食事はブライトンホテルの自信作というだけあって、いつもの例会食と違って美味しい! 最後は呼びかけ人の渡辺隆夫氏の閉会の辞でお開きとなった。ここまでがんばってこられた辻社長に敬意を払い、これからのますますのご活躍を心からお祈りし、会場をあとにした。

パレスものがたり 第10話 第5回京都部部会・30周年記念例会

語り部 パレス次郎

親睦の内に素晴らしい人間を創るための、愛に基づく自己研鑽の場としてクラブを位置づけてきたパレスクラブが30周年を迎え、第30代会長に久々のイケメンの河合信也君が就任した。“ありがとう愛、30th、いつまでも愛”を会長標語として掲げられ、その持ち前の実直さと緻密さを発揮され、パレスクラブを更に充実、そして発展に貢献された。

この期はパレスクラブから京都部部長にS君を輩出し、京都部部会をホストする事と、パレスクラブがチャーターして満30年になり、記念例会を開催するという2大イベントが行われた。この両方のイベントの実行委員長に、25代会長の井上均君が引き受け2つの大きなイベントの成功に向けて、そのリーダーシップを発揮された。本来ならばそれぞれのイベントに実行委員長を設ける事も考えられたが、同じパレスクラブが行うイベントだから、何もメンバーが別々に分かれてやる必要はないという長期ビジョン委員会の結論で、両方とも井上君にお願いをした経緯がある。

“自立そして連帯”を部長標語として掲げられた京都部部長のS君は、京都部500人例会を目指す事になり、プログラム委員長の犬野君を中心に、一人ひとりが主役になる部会が企画された。2000年9月23日第5回京都部部会が、国際会館イベントホールに於いて、約400名の参加者で開催された。今回は一人ひとりが主役になる部会というコンセプトなので、プロの歌舞音曲はいれず手造りで行われた。S君の部長挨拶も彼のユニークな性格上、何をしゃべるかわからないので、あらかじめ原稿を渡しておいて、それを読んでもらおうという事になっていたのだが、当日S君はそれを無視して滔滔と長くスピーチをされて、予定時間をオーバーしてしまった。そんな奇想天外なS君は残念ながら2007年6月に退会され、おいしいメンバーを失ってしまったものだ。部会を無事成功裡に終えてまもなく、この期の2回目のイベントである30周年記念例会に向けてメンバーは力を結集した。

2001年3月17日京都国際会館に於いて、パレスクラブ30周年記念例会を開催した。記念講演には西枝君のご尽力により、当時テレビや新聞等マスコミのなかで大活躍の弁護士の中坊公平氏を招いて“豊島から環境問題を考える”という演題で行われた。当時中坊公平氏は“平成の鬼平”といわれ、住専不良債権処理と豊島の産業廃棄物不法投棄事件という大役を同時進行でこなされ、ゆくゆくは総理大臣になってほしいという声があちこちから聞かれるほど国民的に大人気のあるすごい方で、そんなすごい人を呼べるメンバーがパレスクラブにおられるなんてパレスはすごいなあとあちこちから聞かれた。そんなすごい人に基調講演をお願いした事もあって当日は予想以上の参加者があり、これは裏話であるが京都部部会は参加者が少なくて赤字だったのですが、この30周年記念例会は黒字になり、うまく埋め合わせが出来た事に実行委員会は胸をなでおろした。当日はアメリカのノースウエストクラブとのIBC締結式も行われ、パレスクラブとして当時5番目のIBCが結ばれた。

2つの大きなイベントを、河合会長の素晴らしいリーダーシップとメンバーの英知と結束によって見事に成し終えたパレスは次の節目である35期に向けて着実に歩み始めた。次回は犬野嘉宏西日本区理事誕生・第7回西日本区大会です。お楽しみに。

お知らせ

9月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 10月第1例会の件（ドライバー委員長）

ゲストスピーカー：NPO法人テラ・ルネッサンス理事長鬼丸昌也氏。テーマ：国際ボランティアについて。
謝礼：3万円で承認。

第2号議案 ファンドポテトの件（ファンド委員長）

- 1 ジャがいも、かぼちゃ、さつまいも、たまねぎについて、仕入れ値が上がった分を売価に上乘せすることを委員会一任とする。
- 2 新商品として島根県産コシヒカリを販売。価格は1万円（1袋30kg）。2万8500円（3袋90kg）まとめ買いの2種。ジャがいもと同時に配布する。
仕入れ値は1袋につき7500円。仕入ルートは、福井君経由で島根県から一括直送。発注締切は9月20日。売り込みは個別に行う。
- 3 購入価格2万円以上のメンバーは送料無料で、2万円未満は送料1000円。
配送用トラックを提供するメンバーへは、1台3000円の謝礼を出す。

以上承認。

第3号議案 11月第1例会（オータムフェスタ例会）の件（Yサ委員長）

①例会内容、②オータムフェスタへの出店について継続審議。

第4号議案 坂本ワイズ委員会配属の件（会長）

10月1日から交流委員会に配属することで承認。

第5号議案 「ホテリア・オブ・ザ・イヤ－2007」お祝いの会出席費用の件（会長）

クラブを代表し会長が出席。会費3万円をクラブから拠出することで承認。

第6号議案 京都部合同メネット会（9／14）会費の件（会長）

1万円の範囲内でクラブから拠出することを承認。

第7号議案 久貝君退会の件（会長）

8月31日付けで退会を承認。

（報告・確認事項）

- ・3クラブ合同例会（10月第2例会）PT報告
- ・中長期計画の件
 - ①クラブにとって新規事業が必要か否か。
 - ②必要とした場合、いかなる事業を実施したいか（いかなる事業であればクラブの活性化につながるか）。この2点について9月の委員会で検討。
- ・和敬学園生会社訪問収支報告
- ・和敬学園地蔵盆収支報告
- ・リトセン開設ワーク転落事故の件
クラブとしても、行事の危険度に応じて傷害保険をかけるべきとの意見があった。
- ・サバエキャンプ場開設60周年記念式典 9月20日～21日。前夜祭会費2000円。

10月の行事

1日 役員会 8日 第1例会（振替例会・ゲストスピーカー） 24日 第2例会 通常例会
19日 ファンドポテト

Happy Birthday

2日 別所君 4日 永井メネット 5日 野口君 10日 荒川君、杉本メネット 12日 奥村君
14日 平野君 21日 岡見君 29日 井上彰メネット、井上均君

Happy Anniversary

2日 別所君ご夫妻 9日 杉本ご夫妻 10日 西川ご夫妻 29日 西枝君ご夫妻 31日 西中君ご夫妻

YMCA NEWS

1. 京都 YMCA 国際協力キャンペーン

今年も10月1日～11月末の期間を京都 YMCA 国際協力キャンペーンとして国際協力募金を行います。

国際協力募金は皆様方の暖かなお志をもとに、日本 YMCA 同盟を通して、開発途上国の人たちや女性の社会参加自立への援助や、明日の国際社会を支える指導者養成のために使用いたします。

また、自然災害被災者救援などの緊急支援の為に、若者が異文化に触れ、平和や貧困について考えてもらえるスタディーツアー実施を支える為に使われます。

例会にて募金袋を配らせていただきます。どうか皆様方の暖かな心をお待ちしております。

キャンペーン期間 10月1日～11月30日

また、街頭募金を11月2日（日）に予定致しております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. ウィンタープログラム受付開始

今年も最高の冬をYMCAで過ごしませんか。スキーキャンプ、デイキャンプ、鉄棒・とびばこが好きになる教室を開きます。お友達をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

< スキーキャンプ >

受付 ◎会員優先 11月4日(火)～5日(水) 午前10時～午後6時

お電話にて受け付けます。電話 (075) 231-4388

期間中Eメール・FAXでも受け付けます。(24時間)

E-mail skicamp@kyotoymca.or.jp

FAX (075) 251-0970

詳しくは <http://www.kyotoymca.or.jp> をご覧ください。

11月6日(木) 午前10時から一般の方の受付を開始します。

6日からはお電話のみの受付となります。

< デイキャンプ/鉄棒・とびばこが好きになる教室 > 会員優先受付

受付 ◎会員 11月7日(金) 午前10時より

◎会員・一般 11月7日(金) 午後2時より

お申込み・お問い合わせは ウェルネスセンター三条 6階 電話 (075) 255-4709 まで

編集後記

異常気象の中秋になりました。今月号から1ページのように40周年記念事業に向けての本格的議論が始まります。40年は単なる通過点ではありません。それを意味あるものにすべきか、「そんなことは工工」日常の活動の積み重ねが大事やから、通常活動をやっておれば、様々な考えがあります。ただこれだけは言えると思います。現在は過去の努力の賜物であり、未来は日々の努力の積み重ねです。40年を迎えることは30年を総括し、次の50年に向けての明るい展望をもつような事業をしようではありませんか。それは目に見えるものでもいいし、目には見えないものでもいいと思います。メンバーが一致協力しうるものを探る作業です。

MAIL pr@kyoto-palace.com

(委員長 西枝 攻)

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

11 2008

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.11.1 発行
第 38 巻第 5 号 通巻 437 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
 国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
 京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

会 長 田中一馬
副会長 隠塚 功
副会長 小林千春
書 記 为国光俊
会 計 安達雅直
会 計 山本一博

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
public
relations
wellness

聖句 キリストと結ばれる人はだれでも、新しく想像された者なのです。
古いものは過ぎ去り、新しく創造された者なのです。
コリントの信徒への手紙二 第5章 17節

心もからだも健康、元気がいちばん

瀬戸 智恵子



9月10日早朝5時頃、いつもだったらまだ夜中の夢の筈の主人が「胸が苦しい、体中がかゆい」と言い出し、私は係りつけの病院に急いで連絡を取りました。「直ぐに来て下さい」と言われ、主人を車に乗せて病院に向かいました。

運よく循環器の先生が当直で居られ、血圧を計れば上が75くらいしかなく、心筋梗塞寸前でした。そのまま入院、湿疹が治まり次第狭心症の経皮的冠動脈形成術を受けることになり、8日目に手術をしました。

元々糖尿病の持病があり、10年前にも脳梗塞を患い、未だに治療中、今回も原因は血糖値が高いから起こるものです。

食事には気をつけて、夜は野菜中心粗食で私なりに考えていたのですが、やはり昼は外食が多いので、どうしても塩分の取りすぎ食べすぎになります。

適度な運動も必要です。

どこか悪いところがあれば、心の中も病んでしまいます。

男の人は仕事が一番で、時間の余裕もないのですが、散歩でも水泳でも、体を動かす事が大切だと思います。

私はアレルギーで喘息がですが、健康法は美味しいお酒と食事をいただくこと、それと、ヒップホップダンス、よさこい踊り、フラダンス、スクエアダンスなど体を動かすことで、心も体も元気になります。

皆さんも踊ってみてはいかがでしょう。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンD/BFポイント | | | |
|----------|-----|-----------|-----|------------------|-----|-------------|---------|
| 在籍クラブ会員数 | 50名 | 10月第1例会出席 | 38名 | 10月第2例会出席 | 55名 | ニコニコ10月第1例会 | 8,000円 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 38名 | 内、メンバー | 36名 | ニコニコ10月第2例会 | 4,000円 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 3名 | 累計 | 58,000円 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 | ファンD収益 | 0円 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 3名 | 累計 | 0円 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 13名 | B F切手 | 0 PT |
| | | スピーカー | 1名 | スピーカー | 1名 | B F現金 | 0 PT |
| 月間MU総数 | 4名 | | | | | 累計 | 0円 |
| 月間出席者数 | 46名 | | | | | | |
| 月間出席率 | 96% | | | | | | |

10月第1例会（ゲストスピーカー）（第897回例会）

日時 2008年10月4日 19:00
場所 京都ブライトンホテル

小林千春

10月に入って朝夕は涼しくなりましたが、昼間はまだまだ汗ばむ中での第1例会です。

本日の例会は、アメリカの大手投資銀行倒産という時事問題をネタにした会長挨拶から始まり、各委員会の諸報告の後、心臓のカテーテル手術を無事終えられた瀬戸ワイズへお見舞金贈呈がなされました。手術が成功してなによりです。

本日のゲストスピーチは、NPO 法人テラ・ルネッサンス代表の理事長鬼丸昌也氏にお越し頂き、国際奉仕のあり方についてテラ・ルネッサンスの活動をお伺いしました。

パレスクラブも間もなく40周年を迎えますが、Yサ・地域奉仕・交流・EMC等の活動が、有機的に結合した奉仕事業が新たに見つかればとの考えから、鬼丸氏をお招きしました。

テラ・ルネッサンスでは、年間約7000万円の予算規模で、カンボジアでの地雷除去、ウガンダでの子供兵社会復帰支援と小型兵器の規制等の活動をなされており、それぞれについて事例を交えてお話されました。これだけでは「ふんふんなるほど。それは立派な活動だ。素晴らしい」といった感想で終わってしまいそうですが、テラ・ルネッサンスの発想の根本は「ここで支援活動してもあそこで子どもが死んでいる。どんなに頑張っても悲劇は防げないのではないか」といった無力感のようでした。仕方ないと開き直って個別の活動に専念するという選択もあるはずですが、テラ・ルネッサンスでは、こういった世界での出来事を伝えて知ってもらい、聞いた人に何かを感じ、何かの活動を始めるきっかけとなるのが大切だと考え、代表である鬼丸氏が今日は京都で講演し、明日からウガンダへ旅発たれるという過密スケジュールの活動をされているとのことでした。

奉仕活動の無力と諦観というのは、かの小堀憲助氏も話されていたような記憶があります。お金を集めてどこかでハコ物を作って自己満足でハイおしまいというODA型の活動で終わるのか、無力であることを自覚した上で奉仕活動を実践していくのか、なかなか考えさせられるゲストスピーチでした。



10月第2例会（3クラブ合同例会）（第898回例会）

日時 2008年10月22日 19:00
場所 京都全日空ホテル

小櫻武彦

暮れなずむ国宝二条城の真向かい、雨の中に佇む京都全日空ホテルに向かって『壮若男女』のワイズメンの面々が三々五々吸い込まれていく。今宵は在洛3クラブ、古参の京都パレス、新鋭の京都ウェルに京都トゥービーの3クラブの合同例会である。2階宴会場のロビーでは開会20～30分前から大勢の仲間達が歓談していたが開会5分前には全員会場内に着席、ゲストスピーカーの入場を拍手で迎え19時に定刻通り例会は開会された。開会点鐘は当ホテルを例会場とするトゥービークラブの伊藤剛会長、ワイズソングのあと開会挨拶は年の功と言う訳でパレスの田中一馬会長、パレスでは若手だがそつ無く挨拶をこなしたあと、ゲスト・ビジター等の紹介がありパレスからは3名のメネットと3名のゲストそしてパレスのブラザークラブ東京グリーンクラブの10名のメン・メネットも紹介された。続いて新しくトゥービークラブに入会される大阪在住の佐々木たかお君の入会式があった。昭和36年生まれ、49歳外資系生保の仕事で京都に良く来るという、今後の活躍が期待されるが某会長のライバルかも…？

西岡義郎董事の食前の祈りで始まった食事のあと本日のゲストスピーカー(株)新大阪ステーションストア監査役仲津英治氏のスピーチが始まった。氏は元JR西日本技術開発室長&試験実験部長をされた方で、その時の新幹線の効率化に挑戦されてこられた経緯を具体的な事例を挙げて様々な苦労話をされた。演題『自然に学ぶ』の通り最も効率良く環境に適

しているのはスピードでは鳥のカワセミや魚の鯉、騒音ではフクロウの翼等自然科学者との交流の中で教わった話をされCO₂を最も出さない乗り物、事故率の最も少ない乗り物は鉄道、特に新幹線は人身事故0ですと話された。環境NPOの様々な会の会長や会員の仲津氏の話はワイズ活動にも共通するものがあり興味深く拝聴させて頂きました。

パレス関係はゲスト・ビジター含め計55名、ツアービー36名、ウエル11名、計102名の出席者であった。例会後はホテル1階のラウンジで3クラブの二次会が予定されていましたが一部のメンバーが参加し、後のメンバーは東京グリーンの方達と三次会に直行し、ブラザークラブとの交流を深めました。



東京グリーンクラブ来訪記

吉岡明彦

当日は、我がパレスクラブと3クラブ合同の例会で、時間と共に歓迎の意識が高まってまいりました。

交流委員長として、東京グリーンクラブの皆様にご挨拶。我がパレスクラブとの楽しい京都の思い出を作っていただけだろうかと、初めての経験であせって気持ちが浮ついてしまっていました。

しかし、そんな心配をしている間もなく、例会開始時間になるころには続々とメンバーの方がやって来られ、パレスクラブのメンバーの方々と再会を楽しんでおられました。私も交流委員長として、準備段階で電話やメールでお話した方々と初めてお会いでき、予想通りの暖かい人柄に触れられ緊張も薄れました。

例会では、新幹線の騒音防止と動物の不思議な関係などのお話がなされ、自然界のすごさを改めて感じられました。

合同例会のあと、我がクラブの岡見ワイズのお店で三次会となったわけですが、当初長旅の疲れをおっしゃっていたグリーンクラブのメンバーの方も、我がクラブのメンバーとの懇親で元気になられたのか、おそくまで和気藹々と会話やカラオケを楽しんでいただけたようです。

翌日は、西川ワイズ、松崎ワイズ、人見ワイズの車に分乗していただき、田中会長、井上副委員長、私と井上メネットも参加頂き、車中グリーンクラブのメンバー（特に女性メンバー）との懇親にご助力いただき、大変打ち解けた雰囲気、秋の京都嵐山での楽しい時間をもつことができました。

ブラザークラブとして、東京から来られた東京グリーンクラブの方々と交流を通じ、同じワイズメンズメンバーであるという仲間意識を感じ、メンバーとの信頼関係を築くことができたのではないかと思います。



今年ファンドポテト

川勝政男

今年の京都パレスファンドポテトは野口ファンド委員長の提案により鳥取産の新米が新しく加わり5種類で、メインの北海道のジャガイモ・たまねぎ・かぼちゃ・さつまいもです。これらの農産物は全て日本産ですので安心そのものです。

10月19日午前8時30分に京都中央市場に集合し、ファンドポテト配達が始まりました。

で、その前に1つ書かせていただきますと、ファンド委員の野口委員長・井上 彰・東畑君が朝早く6時半にお米が鳥取から運ばれてくる事になっていたもので、それを待って荷降しを手伝わられておられた事を聞いています。本当にご苦労さまです。

毎年の様に田中一馬会長と野口委員長の挨拶で始まりました。

事前の準備もすべて万全で8時30分過ぎには1号車は、出発の運びとなりました。

前期に若い新入会員が沢山増えたためか、はたまた腕力の配達人（知力では有りません）が沢山参加していた事かどう分かりませんが11時30分過ぎには、最後に遠方まで行かれていた配達車が無事に帰ってこられたので食事タイムの運びとなりました。

昼食は七条七本松の舞阪のうな重です。多分、最近のファンド弁当では、ご飯は大盛りで量的には、若いワイズには満足していただき、その上に西中ワイズの自家製サラダ付で、また瀬戸ワイズからはオヤキの差し入れが付き、バランスはこの上ないかとファンド副委員長は皆様の厚意に感謝しています。後少し何があればいいかと言うと温かいみそスープがあれば最高かと思います。来年のポテトファンドで次期ファンド副委員長は、是非、弁当には、みそスープを付けてより最高の食事タイムといきたいものです。宜しくお願いします。

最後になりましたが毎年、元パレスの会員の方々に沢山のジャガイモを買って頂き、誠に感謝するしだいです。来年もまた、パレスの皆様とこの市場で美味しく・元気で弁当を食べることを楽しみにしています。感謝…。



サバエ教育キャンプ場 60周年記念事業

人見晃弘

去る9月20日（土）・21日（日）の2日間、京都 YMCA サバエ教育キャンプ場 60周年記念事業が行われました。20日は前夜祭で、18時30分に開始、まずは広場で交流夕食会が開かれました。

プリンスクラブ・ウエルクラブ・みやびクラブ・ウイングクラブと YMCA リーダーがそれぞれに屋台を出され、うどん・そば・おでん・焼き鳥・闇鍋や松茸ごはんなど、バラエティー豊かなメニューが提供されました。

食事の後は琵琶湖の砂浜に移動し、YMCA リーダーによるキャンプファイヤー。皆で火を囲み、歌と踊りで楽しみました。キャンプファイヤーの次は、プリンスクラブの北野功治氏によるプラネタリウム講座で、この季節の星座を楽しく解説して下さいました。続いて、望遠鏡で実際の星空を見ましたが、あいにくの曇り空で、良く見えなかったのが残念でした。以上で前夜祭のプログラムは終了、私は一旦帰宅しましたが、多くの参加者はバンガローに宿泊されたようです。

翌21日は朝から雨が強く降る中で、記念の会が行われました。記念礼拝の後、京都 YMCA サバエキャンプ専門委員会委員長・森田芳文氏による開会のあいさつに続き、来賓として、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部 Y サ・ユース事業主査の上原康様、近江八幡市議会議員でキャンプ場地主の井狩光男様、佐波江町自治会長の岡野時男様があいさつをされました。

続いて、サバエキャンプの60年を知るという苗村正栄様が紹介されました。この方は何と御年96歳！ 今も現役でサバエキャンプ場の調理をお手伝いいただいているという事です。それから、60周年記念事業として、「(仮称) 会員の森」計画が発表されました。

サバエキャンプ場では、ここ最近、松枯れがひどく、多くを伐採したそうです。キャンプ場設立 60 周年の機会に、森の再生を目指そうという構想で、皆さんのご協力をお願いします。その後、記念植樹をしてから、昼食は 60 周年記念の大！バーベキュー大会で盛り上がりました。食後のお楽しみプログラムとして、カヌーやアーチェリー、ヨットなどが予定されていましたが、悪天候のため中止となりました。以上で全プログラムは終了しましたが、今後も苗村正栄様の 100 歳カウントダウンイベントなどを行っていく予定だそうです。今回、告知が急だったこともあり、パレスからの参加は私だけでしたが、次からは是非、多くの皆様にご参加をお願いします。

パレスものがたり 第 11 話 第 7 代西日本区理事と第 7 回西日本区大会

語り部 パレス太郎

パレスクラブ設立から 10 年目の 1981 年に大野さんは、日本区 EMC 事業主任に就任。その後、アジア EMC 事業主任。1988 年・第 58 回京都国際大会のプログラム委員長と輝かしい経歴を抱く大野さんが、その後、日本区理事をはじめ、日本区事業主任の要請を頑に受けなかったのは、当時の日本区に対して感ずるところがあり、15 年間、区のワイズ活動は無聊を囲っておられた。しかし、その間パレスクラブの発展に尽くされ、ビジネスを確実なものに拡大されていた。ところが、日本区が東西に分かれてから、大野さんに西日本区理事就任への熱い期待が高まり、多くのワイズメンから強く背中を押されて、とうとう第 7 代大野西日本区理事の誕生となりました。まさに眠れる獅子がようやく起き上がったと言えるのであります。

理事に決まったとなれば、先ず、「隗より始めよ」の心得を持って当たられ、そして凄い行動力は、水を得た魚のごとくで、ワイズに粉骨砕身の気持ちを抱いて臨まれた。

ところで、理事になり一番心悩ますのは理事が主宰となる西日本大会を何処で、どんな大会にするかであります。キャビネットからは様々なプランが出るが、最終に決まったのは、さすが日本国内のワイズメンズクラブを知り尽くした大野さんの思いでありました。地方のワイズの発展を図るためと、大会の宴を大座敷で膝を突き合す、ゆっくりと温泉に浸かる。今迄にない親睦の高まる西日本区大会をする。まさにワイズの申し子と言える大野理事のプランでありました。決まったのは、会場が加賀市文化会館・宿泊は加賀山代温泉ホテル百万石。そこには 1000 人が一同に会して宴が出来る大座敷があるのです。

大会のホストクラブは、金沢市で歴史を重ねる金沢・金沢犀川・金沢浅野川・そしてパレスクラブと 4 クラブの共同でするために金沢 3 クラブに集まってもらい、挨拶を兼ねて大会の趣旨とホストクラブのお願いを頼みに行きました。ところが金沢浅野川クラブから、何故理事が勝手に金沢の地で西日本区大会をする事を決めるのか……そんなこと協力出来るかと……訳の分らん事を言い出した。「西日本区大会は、理事が主宰し、大会の目的は、参加する各クラブおよび会員が情報を交換し、お互いに啓発し、共に運動を担う者としての連帯と協力を一層深めることにある」と、定款に記されているのを知ってるのか、知らないのか、結局は後日、長文の抗議文が来て、協力出来ないとのことでありました。浅野川クラブは長谷川ワイズの私物化されたクラブで、自分の領分が大会によって侵される、ながくワイズをしてきたという矜持が変なところへ流れていったようです。理事に対する抗議文もかなり激しい内容でありましたが、西枝ワイズの得意とする処の文書返答で静かになりました。

大会実行委員長は金沢クラブの渋谷さん・総務は為国・プログラムは川上・登録は杉本・会計は河合と決まり進んで行きましたが、大会の大方はパレスがするのでありますから、パレス側の実行委員長の責任が重く、当初は田中慎一君が取り仕切ったが、1 カ月で降りたため、次に受ける者がなく選考に手まどったが、荒川君があえて火中の栗を拾って委員長を引き受けてくれた。荒川君の手になる大会アピールのビデオが大うけで多くの参加の確信を見てほっとしたものであります。

2004 年 6 月 12 日（土）・13 日（日）大会当日は快晴で 900 名近くの出席と、新記録の登録でありました。

式典は西日本区理事大野さんの晴れやかな開会宣言・点鐘で始まりました。

西日本区理事挨拶・報告の中で「活発な奉仕活動」は、たゆまぬ親睦の中から生まれる。親睦の中から生まれたエネルギーが新たな活動を生み、活発な活動のあるところに、人々が集います。そして、共に手を取り合い、理事標語「未来に架ける橋」を架けようと、2003 年から 2004 年の 1 年、ワイズメンズクラブ発展のため身を尽くされた大野理事に鳴り止まぬ万雷の拍手がありました。加賀市長 大幸 甚氏の来賓祝辞もあり、金沢 2 クラブの頑張りが見えました。異邦人の歌で人気の高い久保田早紀さんのミニコンサートで楽しく式典を終え、いよいよお楽しみのホテル百万石の懇親会へ移りました。

「はんなり」と「おんぼらーと」と、先ずは大温泉で疲れを癒す、そして浴衣に着替えてホテル百万石が誇る 1000 人が

宴会できる「謙六」の大座敷での懇親会が始まりました。

しかし決められた席に座ってもらうのが大変で、椅子でない座れないお年寄りや、仲間と離れた席を代えてくれとか、なんや、かんやと、賑やかで、誠に楽しい場面でありました。パレスのメンバーは食事後回しでの大奮闘、よく働きました。ほぼ完璧の宴が愉快に進行し、お酒の進むこと。膝付き合わせてのワイズ談議が談論風発、大野理事の思いを超える大盛況でありました。パレスさん、またやっつねの声が多くありましたが、ここまで来るのにはメンバーの大きなエネルギーが必要で、皆ふらふらになりながら夜遅くまで頑張り、翌日の表彰・引継・閉会式を加賀市文化会館で無事迎えました。

大会をなんのトラブルもミスもなく、最後までメンバー全員が心を引き締めて臨められたのは、内容の濃い研修の結果と、チームワークがすべてであったと感じました。完璧なフィナーレの中で、実行委員長の渋谷さんの御礼の挨拶があり、金沢の地に西日本区大会を開催してくれた大野理事とパレスクラブに深い感謝を述べられた。閉会点鐘の大野さんには、大役を無事終えた達成感と、ワイズへの思いから眼には感涙のまなざしがありました。西日本区大会ホストをするには此処には書き切れない様々の事がまだまだ沢山ありましたが、メンバーが心ひとつとなって西日本区大会を終えられたのは、いい思い出と経験となり、次につながって行く事でしょう。

「次号は35周年記念例会です、次郎さんの執筆です。ご期待下さい」



第7回西日本区大会
加賀山代温泉 ホテル百万石 懇親会

堀一行君を偲ぶ

宮本隼史

香樹院釋一念。堀 一行君の法名です。「光陰矢の如し」と言われるが彼が逝って百ケ日の法要も済まされ、早くも4ヶ月が過ぎた。

堀一行君をゲストとして初めてパレスクラブに参席されたときを今でも鮮明に覚えている。77年～78年の会長が岡本尚夫君（元日本区理事）の年度、私は副会長で7月納涼例会をホテルの屋上ビアガーデンで計画していたが雨のため室内に変更した例会に大野嘉宏君（元西日本区理事）の紹介で3人の若者を迎えた。2か月後3人は入会し、内1人が堀一行君で、この時から私とは家族ぐるみのお付き合いが始まった。

パレスクラブに入会后、ワイズの運動だけにとどまらず、YMCAの奉仕活動に大きくかかわり、今日まで常議員を務めていた。私が会長の79～80年には副会長としてすばらしい働きをしてくれた。

YMCAではサバエキャンプ場に湖岸道路が通り、工事のため旧メインキャビンが撤去される事になり、彼の職業を活かし現在のメインキャビンの建設を引き受けてくれた。

パレスクラブでは10周年の記念行事としてキャンプ場にメンバーの力で「パレスキャビン」を建設寄贈することになり、基礎づくりと資材の準備をしてくれた。この年度には他に京都ウエストクラブのチャーター。YMCA 三条本館の竣工（献堂式）があり、メンバーからの多くの献金が出来たのも、もう一人の副会長戸田昌伸君（メイプルクラブ初代会長）と二人で私を支えてくれた。二人の副会長が後のメイプル、キャピタルクラブ、2クラブ同時チャーターの初代会長になってくれた事は、私の一つの自慢でもある。

他に彼は今出川のYMCA 青少年センターに烏丸通り地下鉄工事のため地下水脈が変わり、会館地下に大変な浸水を止める工事。リトセンの湧水のため、水確保のため井戸堀で苦勞をかけた。今は良質の水が湧き出ている。さらに三条の会館を筑後30年が過ぎ修復を必要とし彼の手にかかってきた。

彼の趣味は、スポーツ、オーディオ、旅、陶芸、絵画と幅広く、特にオーディオにはこだわり木製のスピーカーは1m以上の高さの大きさのもの2台と、今出来の小さなスピーカーを数台置きクラシックを中心に音楽を楽しんでいた。

SP、LP、CDのコレクションも数千枚を超え、他界する数日前にも発注したCDが届いて空しい事である。スポーツも万能でゴルフはシングル腕前で休日には近くのコースによく行っていた。スキーも上手でYMCAのリーダートレーニングでは志賀高原実技指導に学生達に施してくれた。



長男の結婚式で次女と談笑する堀 一行夫妻

他、堀 一行君は奉仕クラブの申し子のように岡本尚男君が日本区理事の時代、書記を務め、阪神淡路震災では倒壊した神戸 YMCA へ2日後に見舞い、再建に協力した。ワイズ国際大会へは開催された、北欧、豪州、アジア各地に毎回出席し、YMCA アジアスタディツアーにはインドを訪問したり活動の中は広がった。その間、数年前にはロータリークラブの会長も務めた。常に「奉仕の心」をもち「奉仕の実践」を実行してきた。私の大切な友人であった。

彼が若くして他界した今日、秋の深まりを感じつつ、堀ちゃん！と盃をかわしワイズ、YMCA を語れないのが空しく、悔しく、つらい、寂しい、そしてはかない。

ご冥福をお祈りしながら 合掌。

お知らせ

10月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 ファンドポテトの件 (ファンド)

じゃがいも 1800 円、かぼちゃ 2100 円、たまねぎ 2100 円、さつまいも 2100 円。

8:30 集合 9:00 配布開始 場所: 中央市場、昼食弁当の手配等について委員会一任で承認。

第2号議案 10月第2例会(3クラブ合同例会)の件(会長)

PA 費として 3500 円をクラブ会計から支出する。ゲスト会費 5000 円で承認。

司会はトゥービー。諸報告は書面で済ませる。合同懇親会費 2500 円。

第3号議案 東京グリーンクラブメンバー来訪の件(交流)

例会費はグリーンメンバーが自己負担。例会後の合同懇親会、三次会ブレラ、送迎及び翌 23 日の京都案内は交流事業予算から 10 万円の範囲で支出を承認。10 月第 2 例会に 10 名来訪。

第4号議案 国際協力街頭募金(11/2)の件(Yサ)

任意参加。メンバーに募金箱を配布し、クラブとして 3 万円を寄付することで承認。

募金箱は、10 月第一例会で配布、1 月第二例会に回収。

第5号議案 ワイズデー(11/2)の件(会長)

特に行わないことで承認。

第6号議案 11月第1例会(振替例会)の件(Yサ)

メンバー討論会「例会の定義」。ファシリテーター山本会計。9:00 開始 10:00 終了で承認。

第7号議案 オータムフェスタの件(Yサ)

リトセン委員会での変更要請がない限り、たこ焼きを提供。その他委員会に一任で承認。

メンバー討論会終了後、オータムフェスタの準備に移り 11:00 開始。

第8号議案 11月第2例会の件(ドライバー)

京都市総合企画局地球温暖化対策室課長の宇高史昭氏。謝礼金なし。3000 円の礼物を贈呈することで承認。

第9号議案 クリスマス例会の件(ドライバー)

クリスマス例会 PT を、三役+ドライバーで構成することで承認。

第10号議案 平松君退会の件(会長)

9 月末日付けで退会を承認。

第11号議案 会員制度の件(会長)

継続審議として、委員会で検討する。

第12号議案 笹山ワイズ結婚祝い金贈呈の件(会長)

3 万円を贈呈することで承認。

第13号議案 次期京都部広報主査の件(会長)

京都部からの要請をうけて、当クラブから輩出することで承認。

(報告・確認事項)

- ・ 中長期計画に関する各委員会での議論状況の報告があり意見が提出された。それを受けて、おおむね新事業を実施する方向で 11 月から 12 月に委員会を立ち上げることを検討していく。
- ・ キャピタルクラブ 25 周年記念例会の件
- ・ めいぶるクラブ 25 周年記念例会の件
- ・ ピンクリボン関連映画チケット販売の件
9 月 20 日～21 日。前夜祭会費 2000 円。

11月の行事

1日 キャピタルクラブ25周年記念例会 2日 国際協力募金 5日 役員会 8日 大阪クラブ80周年例会
16日 11月第1例会(リトセンオータムフェスタ・振替例会) 26日 11月第2例会(通常例会)
23日 めいぶるクラブ25周年記念例会 29日 三役会

Happy Birthday

13日 吉岡君 14日 人見君 17日 川上メネット 19日 西川君

Happy Anniversary

3日 小櫻君ご夫妻 7日 奥村君ご夫妻 10日 荒川君ご夫妻 15日 宮本君ご夫妻 17日 小西君ご夫妻
18日 平野君ご夫妻 22日 野口君ご夫妻 28日 堤君ご夫妻 30日 隠塚君ご夫妻

YMCA NEWS

1. 世界YMCA・YWCA合同祈禱集会

毎年11月第2週は、世界YMCA・YWCA合同祈禱週として、同じ日に全世界に広がる両団体が熱い祈りがささげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同で祈りのひとときをもつべく計画しております。

と き 11月13日(木) 午後6時30分～9時

会 場 京都YWCA (地下鉄烏丸駅下車2番出口より徒歩7分 電話075-431-0351)

テーマ 「自由と平等に生まれて－神に祝福された人権－」

内戦続くミンダナオ島の平和構築について報告会

フィリピン・ミンダナオ島ムスリム自治区では長年続く内戦で住民が避難生活を送らざるをえない状況に加え、早ばつ、洪水が繰り返される中、貧困率63%とフィリピン国内平均34%を大きく上回る経済状況です。

また、9.11以降、フィリピン政府軍とアメリカ軍のテロリスト掃討作戦の名の下に人々は苦しんできました。そんな状況下で活動を続けておられるデデットさんをお招きし、現地の活動報告を伺うとともにワークショップを交えながら私たちに出来る平和活動を創る活動について考えます。

講 師 デデットさん

ムスリム自治区バシラン島で活動するNGOミンダナオ平和構築協会事務局長

参加費 500円(お茶菓子付)

2. リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしています。

都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

自由参加型プログラムとして綱引き大会などリトリートセンターを使った楽しいプログラムを用意しております。

日 時 11月16日(日) 午前11時(開会)～午後3時(閉会予定)

場 所 京都YMCAリトリートセンター 電話0774-24-3838

入場料 チケットをお求めください。(大人2,000円 小学生1,000円 幼児無料)

※各クラブ、YMCA三条本館でチケット販売致しております。

駐車場 無料

京都YMCA三条本館、京阪宇治駅、JR宇治駅よりマイクロバスあり〔有料予約制〕

3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月2日(日)は京都YMCA国際協力街頭募金の日です。このプログラムは京都YMCA国際協力キャンペーンの一環として行われます。平和を訴えていく一つの機会として、是非ご参加・ご協力ください。

日 程 11月2日〔日〕

集 合 午前11時50分 京都YMCA三条本館

国際理解セミナー(YMCAの国際協力について) 午後0時～午後0時30分

街頭募金 午後1時～午後3時

解 散 午後4時30分 京都YMCA三条本館

募金場所 三条河原町・三条大橋など市内約10ヶ所

※雨天決行（警報の出る可能性のある実施については当日午前10時に判断いたします。天候不順の場合は事務局にお問い合わせください。）

※当日昼食を済ませてご参加ください。

4. スキーキャンプ受付（会員優先）

11月4日（火）～5日（水） 午前10時～午後6時

お電話にて受け付けます。 電話（075）231-4388

上記に限りFAX・Eメールでも受け付けます。（24時間）

FAX（075）251-0970 E-mail skicamp@kyotoymca.or.jp

11月6日（木）からは会員外の方の受付が開始されます。お電話のみの受付となります。

5. ボランティアセミナーのご案内

1. ちょこっと ボランティア 車いす介助の講習会

障がい者も高齢者も子どもも、だれもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。

設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさりげなく声をかけ、必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。

今回、車いすの介助方法に焦点をあて、安全で適切な誘導介助の方法を教えてください。

講師 中井敬二氏（日本自立生活センター アドバイザー・車いすと仲間の会 事務局）

日時 2008年11月21日（金）午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA（三条柳馬場角）

参加費 お一人 300円 定員30名（先着順）

2. がん患者さんとそのご家族へ 第21回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2008年11月15日 午後7時～9時

場所 京都YMCA（三条柳馬場）

参加費 お一人 300円（お茶代等）

チケットのお求め・お申込み・お問い合わせは 京都YMCA 三条本館 まで

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場角 電話 075-231-4388

FAX (075) 251-0970 E-mail Kyoto@ymcajapan.org

編集後記

10月はジャガイモファンドでは皆さん盛り上がりました。例会は地雷や紛争地域での活動家の方や、新幹線開発の裏話とゲストスピーカーは多士済々の方々でした。合同例会にはグリーンクラブの皆さんが訪問され交流を深めることもできました。

クラブも40年となります。よく企業寿命は30年であると言われる。奉仕クラブであっても常なる改革の上での進歩、成長が必要です。ニューメンバーがクラブ活動を引っ張り発展させることが可能な条件整備が必要です。

現在は過去の成果であり、未来は現在の努力が作り出すものです。過去の栄光によりかかった活動からは発展は望めません。自戒の上での活動・行動が重要です。

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.comへよろしく願います。

（委員長 西枝 攻）

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会
委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO PALACE

12 2008

CLUB OFFICE
京都YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2008.12.1 発行
第38巻第6号 通巻438号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

会 長 田中一馬
副会長 隠塚 功
副会長 小林千春
書 記 为国光俊
会 計 安達雅直
会 計 山本一博

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
EMC-M

聖句 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。
この子は自分の民を罪から救うからである。
マタイによる福音書 第1章21節

多様性の中の一致

京都部EMC主査 高田 敏尚

この夏に、臨海実習という行事に付き添いました。教員という仕事をしていきますと、教えるということだけでなく、いろいろなことを体験することができます。そこでは、ウニの発生を学習したのですが、魚類心理学を研究しておられる益田玲爾先生からこんな話を聞きました。07年の鯛の値段は安かったというのです。鯛の稚魚の天敵はクラゲです。ただ、実験によると7ミリより大きくなると逃げられるそうです。それが、鰻では5ミリ以上成長すると逃げられます。さらに鰻はクラゲと一緒にいることが多く、その訳として、鰻を食べにくる魚から身を守ることが考えられているそうです。また、実験によるとクラゲが集めた餌を横取りすることも確められています。クラゲという私たちもそうですが、あまりいい印象を持ちません。そして、海へ行くと随分増えてきているなと思っていますが、クラゲに対しても強い魚っているのですね。というわけで、06年に鰻が多く観察され、その結果クラゲが少なくなり鯛の稚魚がより多く育ったから値段が安くなったというわけです。

魚の世界でも、多様性というのは必要なのですね。高級魚といわれる鯛ばかりでも、またクラゲが増えすぎても全体としてはバランスを崩してしまう、これは私たちにもいえることではないでしょうか。人には得手、不得手があるでしょう。それを乗り越えて大きな一致に基づいて協力、協働していく、そして他者のもつ優れた面を認め合い、それを自分でも吸収していき自分も成長する、ワイズメンズクラブとはそんなところではないでしょうか。そうあってこそ、日々新たな発見があるクラブになっていくと思います。



| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|-----------|-----|------------------|---------|
| 在籍クラブ会員数 | 50名 | 11月第1例会出席 | 23名 | 11月第2例会出席 | 40名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 21名 | 内、メンバー | 37名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 2名 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 2名 | ゲスト | 1名 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 0名 |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 38名 | | | | |
| 月間出席率 | 79% | | | | |
| | | | | ニコニコ11月第1例会 | 0円 |
| | | | | ニコニコ11月第2例会 | 32,000円 |
| | | | | 累計 | 90,000円 |
| | | | | ファンド収益 | 0円 |
| | | | | 累計 | 0円 |
| | | | | B F 切手 | 0 PT |
| | | | | B F 現金 | 0 PT |
| | | | | 累計 | 0円 |

11月第1例会（振替例会）（第899回例会）

日時 2008年11月16日 09:00

場所 YMCA リトリートセンター

平野雅幸

あいにくの天気の中、オータムフェスタは開催されることとなりました。今回も我がクラブではここ数年同様、例会扱いとなっています。オータムフェスタ開催前に上のホールに集まり会長挨拶のあと、例会とは何ぞやという話について山本一博ワイズの進行により意見交換&アンケートが行われました。

アンケート回収の後、オータムフェスタの開会式。

パレスクラブでは、たこ焼きの屋台を出店することとなりました。前日に岡見ワイズとラブラブで買い出しにいき、その後、岡見ワイズと元ブレラバイトのかなちゃんとで仕込みをしていただきました。たこ焼き機の1台は和敬学園から借りて用意しました。和敬学園の地蔵盆でもたこ焼きを焼いてセミプロ化しつつある大勢のたこ焼き奉行に頑張っていたので、おいしいたこ焼きを作ることができました。最初鉄板が温まるまでちょっとおこげとの戦いでしたが…。

おおむね好評だったのではないかと思います。最後の片付けまでメンバーが手伝ってくれたのでとても助かりました。（でも次の日にたこ焼き機を掃除するのが何より大変でした。次の委員長さんは覚悟した方がいいかも…）

お忙しい中お越しいただきましたメンバーの方々、まことにありがとうございます。Yサ委員会としては当然参加者が多い方がありがたいと思う部分もあるのですが、そもそも例会振り替えとなっているわけですからもっと参加者が多くないといけない気がしました。少なことも総会で行事予定として承認されているわけですし、もう少し頑張ったら参加できたというメンバーもいるのではないかと思います。



11月第2例会（通常例会）（第900回例会）

日時 2008年11月26日 19:00

場所 京都ブライトンホテル

高岡 昇

本日は地球温暖化をテーマに、京都市総合企画局地球温暖化対策室課長の宇高史昭様をゲストスピーカーにお迎えしました。

例会では軽妙洒落な田中会長の挨拶の後、和敬学園の奨学生への奨学金の贈呈を行いました。和敬学園より奨学生の椿森さん、滝田君と教員の松原先生にお越しいただき会長より贈呈しました。

楽しい食事の後、いよいよゲストスピーチの時間となりました。先ず隠塚君より宇高様の紹介がありました。宇高様は現在京都市の地球温暖化対策室において二酸化炭素削減への取り組みを行っておられます。京都市内の企業や市民に対して省エネを通じての二酸化炭素削減への啓蒙活動を行っておられます。本日はその一環としてパレスクラブへお越しいただきました。

スピーチの内容は、地球温暖化の実態とその将来、それに対する国際的な対応の流れに始まり、京都市における取り組みと今後の課題についてお話いただきました。その中で、特に家庭や事業所における二酸化炭素排出量の削減が重要であ



るとのことです。エアコン、冷蔵庫、テレビ等の家電製品の買い替えの際は勿論、日常生活の中でも省エネを心がけることが大切であるとのこと。また、地球温暖化対策室発行の「これで我が家も家計のダイエット」を題材にして具体的な省エネによる二酸化炭素排出量の削減の手ほどきをしていただきました。

メンバーも感心しきりでしたがスピーチの時間も尽き、会長より御礼をお渡しし終了となりました。

また例会の中で、平井久夫君、西枝君へコメントのご結婚のお祝い金の贈呈や、隠塚メネット、奥村メネットを迎えてのハッピーアニバーサリー、さらにハッピーバースデーを行いました。

本日の例会も盛りだくさんの内容でしたが定刻の9時に無事終了しました。

京都キャピタルクラブ創立 25 周年記念例会

日時 2008年11月1日 17:00

場所 ウェスティン都ホテル

人見晃弘

1983年、京都パレスワイズメンズクラブから京都めいぶるワイズメンズクラブと共に誕生した、京都キャピタルワイズメンズクラブの設立25周年を記念する例会が、11月1日にウェスティン都ホテルで盛大に行われました。

主催のキャピタルワイズメンズクラブをはじめ各方面から、総勢220名の参加者が集まり、私達パレスワイズメンズクラブからは田中会長、西川ワイズ、隠塚ワイズ、小林ワイズ、人見の5名が参加しました。第一部の式典ではキャピタルクラブの香山会長の挨拶の後、来賓の方々の紹介、祝辞と続き、メモリアルタイムとして、今年5月に急逝された故・堀一行ワイズを皆で偲ぶ一時がありました。また、キャピタルクラブの25周年記念事業として、香山会長から京都YMCAの神崎清一総主事に金200万円の目録が贈呈されました。

第二部の懇親会では、キャピタルクラブのIBCである釜山ベゼルクラブの金会長と、DBCの東京クラブ長澤会長がそれぞれ挨拶され、各方面からの祝電・お祝いが多数披露されました。食前の鏡開きには田中会長が参加され、乾杯の音頭をとられました。食事中、アトラクションタイムには、ステージ上で同志社大学応援団による演奏とチアリーダーイング、続いてプロダンサーのラテンダンスが演じられました。この日ダンスを演じられた柳真之氏は、キャピタルクラブの柳ワイズの御子息だそうです。その後、参加クラブの紹介が行われ、閉会の運びとなりましたが、先にも書いた通りパレスクラブからは5名の参加で、親クラブ?としては少し寂しかったように思います。

私は他クラブの例会に出席したのは今回が初めてでしたが、懐かしい人との再会や新たな出会いもあり、とても楽しめました。これからも機会があれば、いろいろなクラブの例会に出席してみたいです



京都めいぶるクラブ創立 25 周年記念例会

日時 2008年11月23日 18:00

場所 ウェスティン都ホテル

隠塚 功

2008年11月23日(日)、世間では3連休の真ん中にあたるこの日、ウェスティン都ホテル京都でめいぶるクラブの25周年記念例会が開催されました。ご承知の通り、めいぶるクラブは、11月1日に同ホテルで25周年記念例会を開催されたキャピタルクラブと私たちパレスクラブから同時チャーターされたクラブであり、日頃から私たちとは大変親しくお付き合いさせていただいていたこともあり、この記念例会にも河合メネットを含めて10人が参加しました。

記念式典となる第1部では福山哲郎さんが司会を務め、松尾隆正会長の開会宣言でスタート。松尾会長は体調不良と緊張から挨拶では頭が真っ白になったと言われていましたが、しっかりと周年時の会長を務めておられました。また、来賓祝辞では神崎清一京都YMCA総主事、佐藤典子西日本区理事に続いて25年前のチャーター設立準備委員長であった

大野嘉宏君が当時のことも踏まえて挨拶。そして、記念アクトの発表では、京都YMCAに100万円、また支援団体である積慶園と地域活動支援センターふらっとに各々20万円の寄贈が発表され、その場で贈呈式が行われました。また、この日に熊本ひがしクラブとDBC締結式も行われ、ますます活動の幅を広げるためのステップとなる記念式典でした。

懇親会である第2部では司会が馬場正孝さんに交代。IBCアワーでは台中長春クラブと仁川文鶴クラブの記念品交換が行われ、そして乾杯！この辺りからお祭好きと言われるめいぶるクラブの本領を発揮。アトラクションの第1弾が障害児とその保護者による太鼓の披露。日ごろは葵小学校で練習し、色んなイベントに参加して披露をしている「おひさま太鼓」の皆さんが練習の成果を十分に発揮されていました。そして第2弾は京都の大学生による踊りで「京炎そでふれ」を披露。既に十分アルコールが入っている参加者に学生の指導の下で激しい踊りの練習が行われ、そして音楽にあわせて実演。酔いも更に回って気分上々。ハプニングとしてこの日にパースデーを迎えたトゥービーの畑本メネットがお祝いを戴かれる場面もありました。そして、最後は参加者が全員輪になって手をつなぎ、サライを歌いながら会場を回る、まさにパレスで行うグローリハレルヤのように、皆が大声で歌いながら最高に盛り上がり終わりました。めいぶるクラブのカラーの出た大変楽しい記念例会でした。



国際協力街頭募金

日時 2008年11月2日
場所 三条河原町

平野雅幸

正直、今まで一度も参加したことなかった行事、国際協力街頭募金に参加してきました。(今期、Yサ委員長なのに今まで参加したことがないというのは恥ずかしい話なのですが…)正直一人だったらどうしようという不安もありましたが、数名の参加が見込めたのでちょっと安心しました。

当日は12時より三条本館で国際理解セミナーを30分ほど聞いてから、徒歩で割り当て場所の三条河原町へ。今回はYMCAのグローバウアウトドアクラブの子供たちがリーダーの引率によりたくさん来てくれました。むしろワイズメンの面々よりも子供たちのほうがはるかに手慣れた感じでとても元気な声で、募金のお願いをしていました。

ワイズのオジサン(我々)たちはどちらかというと、ほうぜんと突っ立っているだけでした。幟を片手に、『私たちワイズメンズクラブはYMCAの活動を(略)…』と書いた横断幕(ワイズデーなので)を持ちボソボソと募金のお願いをしている姿は少々滑稽な気もしました。突っ立っている以外に、他に何ができるだろうと考えて三条河原町の四つ角に立つ子供たちに募金して回りました。これが何よりうれしく楽しかったです。来年は、ほかの募金場所も含めて行脚しても楽しいかと思いました。

なお、年明けの1月第二例会にて以前に配布した募金箱を回収しますので皆様ご協力の程よろしく願いいたします。
参加者：田中会長、森田主査、山本ワイズ(+コメント)、平野



岐路に立つパレスクラブの献血

杉本泰造

パレスクラブ地域奉仕委員会の大切な社会貢献活動事業として取り組んで来ましたが献血奉仕に対し、今回日本赤十字社から感謝状を戴きました。今年で32回目の献血になります。これまで2回感謝状を戴いておりますが、今果たして日赤の感謝状を戴けるほどの貢献が出来るのか、胸に手を当てて考えて下さい。これまで、世のため人のためという奉仕クラブの理念を背負って活動して参りましたが、奉仕クラブとして大切な献血が年々減少してきております。毎年、期の

委員会が熱心にアピールしていますが、年々意識が低くなってきています。クラブとして予算計上もいらず、身体一つで、わずかな時間で社会に貢献できる献血は、メンバー全員の参加が望まれます。しかしメンバーの中には献血に不適合な方々が多くなって来ており、そのような方々には、献血出来る人を連れてきて目標を達成するのがパレスの献血事業だと思えます。

このまま献血量が減少すると日赤に献血バスを頼めないようになります。そうなりますとYMCAとパレスクラブの奉仕クラブとしての真価が問われ、存在感がなくなります。最低目標は20000cc(50名×400cc)です。献血はパレスクラブが奉仕クラブと標榜するための根幹をなす活動と思っており、取り組んでいかねばならないのですが、残念ながら来年からは今まで行ってきました青少年センターは使えず、三条本館での献血もバスの駐車問題で難しそうで、今パレスが献血をどの様に継続するか岐路に立っています。

ちなみにここ5年間のパレスクラブの献血データを記載しておきます。

16年(64名24800cc) 17年(58名22400cc) 18年(51名19600cc)
19年(40名15800cc) 20年(44名17600cc)

上記の通り確実に減少しており、近年は最低献血量(20000cc)を割っています。20年度から400cc献血になっていますので、若い方々に如何にして献血してもらうかがこれからの課題です。メンバー諸兄献血継続に意識を高めて下さい。

閑話休題 私自身は今年から年齢制限で献血はできませんが、後釜2名は以前どおり献血しています。30回達成で2年前に日赤から記念品のクリスタルの杯を戴きました。それでお酒を呑むとまだまだ血が増えそうです(^^)



ある結婚披露宴

奥村英雄

今月の良き日に、ある京都の老舗の嫡男の結婚披露宴に招かれました。その披露宴参加の総勢580人に上る宴会に招かれました。その披露宴参加の総数580名に上る宴会。来賓様方々の祝辞も中弛みの状況となりつつある中、次の来賓様を名調子の飛鳥井様が告げられ、その呼び出しにお立ちになったある教師が「私には祝辞もお祝いの言葉も述べるつもりはございません」と発せられ、其の時を待っていたのが京都市内の公立高校の元ラグビーマン。お祝に駆けつけた周りの来賓の方々のみならず親戚の方々までもが一様に感銘の言葉と拍手の渦。

その中身は、「礼節・見識・常識・良識」を彷彿さす内容でありました。続いてその元部員が起こした仕草、なるほど今様でしたが、そこでその監督の一喝が入り、「今様は世間受けはするが今のあなた方のする仕草ではない」「私の下で、必ずそういった事はしなかったし、言わなかった筈だ」「対峙する相手を敬い・尊敬し・お互いを認めあって生きていく」「これが我々の生き方であったはずだ」「これからも大きな大きな経営者になって行く貴君」「忘れるな!」でした。

私も経営者の端くれ。ともすれば自分を見忘れする様な言葉をどこかで発していたかも知れなく深く反省させられた一瞬でした。

私たちが如何程に大きな事業をし、大きく成長しても、やはり「元は一人」「それを集合し束ねて頂く方がおられて初めて有機的に事が動く」ことを感じ、今節お世話になっております京都パレスワイズメンズクラブ正しく田中会長の下で、お互いが有意義に意見交換し余裕をもって参画できる状況、心より感謝いたしております。最後になりましたが「いざ鎌倉」の精神でいつもが当クラブへの臨戦態勢であり続けて行く心構え、よろしくご指導くださいませ。



パレスものがたり 第12話 35周年記念例会

語り部 パレス次郎

35年目を迎えたパレスクラブは、人生でいえば一番脂の乗り切った最も意気盛んな年頃、そんな期に最もふさわしい才気活発な男、為國光俊君が第35代会長に就任した。会長標語は“視点を変えよう、自分たちのためのクラブライフ”であった。正に35年経つとクラブもマンネリ化して、少し活動も停滞気味であったので、この標語はクラブに活を入れるのにふさわしい標語であった。そして35周年実行委員長に河合信也君が就任した。この人選にはいろいろ過去の経緯

があり、河合君が30期の会長の時、25期の会長であった井上均君が30周年実行委員長を引き受けられたのであった。この慣習からすると40周年の実行委員長は為国君になるのかな？

35周年実行委員会では35周年を式典ではなしに、IBC・DBCを交えて楽しもうというコンセプトでの記念例会にする事に決定した。又多額の費用を要する記念誌発行は取り止めとしたが、過去の記録だけは整理して残しておくべきとの意見から、“35年の歩み”と題してのビデオをつくる事とした。このビデオ作成は当時広報委員長の平野君が中心となり、古いメンバーも混じえて作成した。資料を探すのに大変であったが、平野君もパレスの古き時代の事が勉強できて大変よかったと喜んでいて。

記念例会は2006年3月11日京都ホテルオークラで“心のハーモニー 夢をおいかけ”をテーマに開催された。このすばらしい記念例会で福井将一君が入会された。この記念例会は会長の意向もあり、和の芸術を取り入れて行われ、幕開けは歌舞伎の口上を模した三役による口上で始まった。又2部は為国会長の力強い太鼓“夜明け”によって始まり、為国会長の日頃空手で鍛えた上半身と見事なバチさばきに会場は割れんばかりの拍手。為国会長はこの日のために川上君の知人の太鼓の先生に毎晩特訓を受けられていた。俄か仕込みとはいえ見事であった。この時の為国会長の衣装について、彼自身はフンドシ姿でやりたかったようだが、ワイズメン・メネットの前でちょっと雰囲気が違うし、パレスクラブの品性も疑われるという意見もあって最終的には羽織・袴姿で片肌を出しての姿になった。この時以来会長ともなれば何か一つ一芸に秀でるものを持っていないと会長になれないなあと感じた。そういえば36代井上会長もギター片手にフォーク調の音楽が得意であるし、37代川上会長もバンジョ片手に広いジャンルの音楽が得意である。38代田中会長は沢田研二のものまねが得意であり、これからの会長は大変であります。

この記念例会でハワイセントラルYサービスクラブとのIBC締結式が、中川リージョナルSD、服部西日本区交流主任の立会いのもとで行われ、フィルサマー会長と為国会長が熱い握手を交わし今後の友好を誓い合った。このIBC締結の経緯は、以前からハワイのクラブとIBCを結びたいという意向があり、今から約5年前フラダンスが上手で、たびたびハワイに行かれてハワイが大好きな井上均君のメネットの有子さん（2000年にオアフ島のカームキクラブに入会）がハワイリジョナルコンベンションにももちろん均さんも一緒に参加された時、セントラルYサービスクラブに打診をしておかれて、その後何回と無く顔を合わせる内に、この35周年を前にセントラルクラブから正式に締結の要望があり、今回の締結の運びとなった。

また記念アクトとしてYMCA サバエキャンプ場のパレスキャビン改修工事を行った。メンバー自身がIBC・DBCを交えて皆で35周年を祝い、楽しもうというコンセプトで行われた記念例会は、河合実行委員長のリーダーシップと為国会長の熱い思いが結集して、すばらしい記念例会になった。

前期から1年半続いたこのパレスものがたりも今回をもって完結する事になりました。

いずれ第2弾のパレスものがたりが30年後位に掲載される頃には私達はこの世にはもういないと思いますが、いやいやひょっとすると太郎さんはまだまだ私がいなくてはパレスがどうなるか心配だといって頑張っておられるかもわかりませんね。このような企画を老兵二人太郎（杉本泰造）、次郎（西川寿一）に与えていただいた前期・今期の広報委員会に感謝いたします。



お知らせ

11月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 12月第1例会の件（ドライバー）

ゲストスピーカー大崎康弘氏（株式会社日本サルベージ・サービス社長）。謝礼3万円で承認。

第2号議案 クリスマス例会の件（ドライバー）

ドアプライズ用にメンバー1名につき2000円を徴収する。ゲスト会費8000円、中学生以下無料。アトラクションとして「イケメン4人組」にライブを依頼、費用はPA込みで12万円。以上承認。ドアプライズ徴収は委員会単位で委員長が行う。

第3号議案 次期広報主査輩出の件（会長）

平野ワイズを輩出することで承認。

第4号議案 瀬戸ワイズ入院見舞金贈呈の件（会長）

10月第1例会で1万円を贈呈したことを承認。

第5号議案 平井ワイズ、西枝ワイズ、両コメット結婚祝金贈呈の件（会長）

7月に平井ワイズの次女、8月に西枝ワイズの次男がそれぞれご結婚。11月第2例会にて1万円ずつ贈呈することを承認。

第6号議案 中長期計画の件（会長）

新規事業検討委員会を設置する。委員長は河合ワイズ。委員は、専任委員を選任するが（自薦・他薦を問わない）オープン委員会とすることで承認。

（報告・確認事項）

- ・国際協力募金・ワイズデー報告
- ・東京グリーン接待の報告
- ・ファンドポテト報告
- ・特別維持会員制度（仮称）の報告 おおむね必要との意見が多かったので具体的案を次回役員会で提示する。
- ・その他 和敬学園奨学金 園生招待 11月第2例会 2名
入会候補者3名あり、クリスマス例会入会式に向けて準備をする。

12月の行事

3日 役員会 10日 第1例会（ゲストスピーカー） 19日 キャンドルサービス（YMCA）
23日 第2例会（クリスマス例会） 29日 三役会 29日 三役主催忘年会

Happy Birthday

4日 小櫻君 7日 為国君 11日 川勝君 16日 河合君 18日 井上均メネット
23日 西枝メネット 26日 吉楽メネット 31日 田中メネット

Happy Anniversary

2日 金村君ご夫妻

YMCA NEWS

1. クリスマス献金受付中

厚生労働大臣より京都YMCA「こおろぎ」の活動に対し感謝状をいただきました。32年にわたり視覚障害者のためのテープ雑誌を作成配布してきました「こおろぎ」に対していただいたものです。この活動は皆様のクリスマス献金の助成によって続けられています。クリスマス献金への、ご協力よろしくお願い致します。

2. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

クリスマスキャンドルサービス・キャロリング

日時 12月19日（金） 受付開始 午後6時30分
ロビーコンサートとクリスマス礼拝 午後6時45分～8時
クリスマスキャロリング 午後8時～9時解散
場所 三条本館および三条寺町界限・新京極周辺でキャロリング

ロビーコンサート

12月15日（月）～20日（土）の1週間
YMCAロビーにて、京都大学弦楽四重奏など毎日異なったコンサートが行われます。各日の出演者・時間など詳細はお問い合わせください。

3. スキーキャンプ参加者募集中!

会員外の方は各キャンプ費用のほかにシーズン会費 2,000 円（ファミリーは 4,000 円）が必要です。

- A. 白山スキー 初心者～中級者向き 対象 小学1～6年生
日程 2月13日（金）夕～15日（日）夜 2泊3日（2泊7食）
定員 70名（最少催行人数15名）
行先 白山瀬女高原スキー場（石川県）
宿泊 金沢学院大学白山麗研修センター
費用 41,000円（内申込金8,000円）
- B. リトルキッズスキー春 初心者～中級者向き 対象 小学1～2年生
日程 3月26日（木）朝～30日（月）朝 4泊5日（4泊11食 うち車中1泊）
定員 60名（最少催行人数25名）
行先 志賀高原横手山スキー場（長野県）
宿泊 木戸池温泉ホテル
費用 65,000円（内申込金10,000円）
- C. 小学生スキー春 初心者～中級者向き 対象 小学3～6年生
日程 3月26日（木）朝～30日（月）朝 4泊5日（4泊11食 うち車中1泊）
定員 60名（最少催行人数25名）
行先 志賀高原横手山スキー場（長野県）
宿泊 木戸池温泉ホテル
費用 65,000円（内申込金10,000円）
- D. 中高生スキー春 初心者～中級者向き 対象 中学1年～高校3年生
日程 3月24日（火）夜～30日（月）朝 6泊7日（6泊10食、うち車中2泊）
定員 30名（最少催行人数15名）
行先 野沢温泉スキー場（長野県）
宿泊 野沢温泉ホテル
費用 69,000円（内申込金10,000円） ※昼食費は含みません。
- E. チャレンジスキー春 中～上級者向き 対象 小学4年～高校3年生
YMCA ワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります
日程 3月24日（火）夜～30日（月）朝 6泊7日（6泊10食、うち車中2泊）
定員 30名（最少催行人数15名）
行先 野沢温泉スキー場（長野県）
宿泊 野沢温泉ホテル
費用 69,000円（内申込金10,000円） ※昼食費は含みません。

4. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中!!

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

日程 2009年3月29日（日）～4月2日（木） 4泊5日 14食
場所 神戸YMCA 余島キャンプ場（香川県小豆郡土庄町字余島）
対象 小学2年生～高校3年生 男女20名
参加費 54,000円〔内申込金10,000円〕

会員外の方は別途シーズン会費 2,000 円が必要です。

5. チャリティーコンサート

収益金は、インドのハンセン病患者・家族支援と京都YMCA活動費に使われます。

日時 2009年1月24日（土）開場 午後5時30分 開演6時
場所 日本キリスト教団 洛陽教会（丸太町寺町上る）

料金 2,500 円

出演 陣内 大蔵

(シンガーソングライター・2007年春より日本キリスト教団東美教会伝導師に就任)

※チケットはYMCA 受付にて販売致しております。

6. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第21回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんと向き合うための情報交換の場です。

日 時 2008年12月20日(土) 午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

お申込・お問合せは 三条本館 電話 075-231-4388 まで

編集後記

事を起こそうとするとき、アンケート調査なるものがしばしば行われる。しかしそんなアンケートに限って、質問の趣旨が不明だったり、答えようのない質問が続き、結局なんのためのアンケートが分からなかったり、その結果を見てもなにを意図したのか理解不可能というのがしばしばである。

しかしそれを逆手に取ったアンケートに遭遇した。リトセン例会である。「例会は必ずスーツで出席すべきか」答えはイエス、どうとも言えない、自由にしたら、である。どの例会をイメージしたんや(怒)。そんな質問が続く、そしてアンケートについての討論。そこから各人が持ってるイメージでの意見がでる。最後に「このアンケートには答えられへん」との意見まで飛び出した。これぞ主催者の思う壺ではなかったか。討論のスタートだけが目的だったのだ。質問は具体的に的を絞ったものでなければならない。しかし抽象的、曖昧な質問は、答える人、おのおのが自分のイメージから千差万別の答えを返し、そこから議論が始まる。司会者は「アンケート結果は開示する」なんてと言っていたが、それこそなにか意図があるの(笑)。アンケートをネタにする面白い企画であった。(委員長 西枝 攻)

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

1 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.1.1 発行
第 38 巻第 7 号 通巻 439 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書記 | 为国光俊 |
| 会計 | 安達雅直 |
| 会計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 **聖句** 求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。
IBC 門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。
DBC マタイによる福音書 第7章7節

交流事業強調月間にあたり

京都部交流事業主査 **森田 美都子**



“今一度 Reconfirm! 自クラブのIBC・DBC活動を”

これが今期の京都部交流事業主査として掲げた私の主題です。もちろん、永遠に新規締結は追い求め望むテーマであることは言うまでもありません。が、なおざりになってはいないか自クラブの既存の締結クラブ先をと、今一度丁寧に見つめ直すようではありませんか。

京都部交流事業主査としてのお役目を拝命し、この半年間様々なクラブの交流活動情報を得るにつけ、交流事業ほど熱意の温度差、活動内容に落差が生じている委員会は他に類をみないのではないかと自クラブを見据えつつ悟ったというのが現実の感想です。

あるクラブは、各年韓国とコメット交換留学を実施、メンは訪韓の際に必ずキムチ漬けを手伝い養護施設などへのCS活動に参画。あるクラブは三国出資金をトライアングルにホストクラブへのC/S、Yサ活動への支援金として協力し合い今日へ至る活動 etc。

パレスクラブは国内でも優秀なるIBC 5ヶ国締結、DBCも理想の東日本区2クラブと締結。対外的には非の打ち所のない素晴らしい実績を誇っています。

が、しかし、かつて諸先輩が万感の想いで締結に望んだ既存のブラザークラブとの今日ある行方は如何に、いかに…。更新される各国の会長役員をきっちり把握し、リサーチの元、毎月のプリテン、期のアニバーサリーカード、メール送付、その他ベースになるたったこの項目だけでも全パレスメンバーはその反応を積極的に味わっているのでしょうか？IBC・DBCの存在自体に意義を感じる場面作りに努力を怠り、手慣れたメンバーだけが参加する偏った活動になりつつありませんか…。

長い年月になおざりになってはいませんか自クラブの交流活動。“今一度 Reconfirm”すべきではないでしょうか。

下半期からパレスクラブにも中長期委員会が立ち上がります。交流事業においてもただの仲良しクラブの域から長期視点でのブラザークラブとの共同企画が国際協会に所属する奉仕団体として打ち出せる日が必ずや来ることを願ってやみません。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|-----------|-----|------------------|------------|
| 在籍クラブ会員数 | 53名 | 12月第1例会出席 | 39名 | 12月第2例会出席 | 50名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 37名 | 内、メンバー | 37名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 2名 |
| 維持会員数 | 2名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 9名 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 1名 |
| | | スピーカー | 2名 | スピーカー | 1名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 45名 | | | | |
| 月間出席率 | 90% | | | | |
| | | | | ニコニコ12月第1例会 | 41,000円 |
| | | | | ニコニコ12月第2例会 | 10,000円 |
| | | | | 累計 | 146,000円 |
| | | | | ファンド収益 | 1,615,618円 |
| | | | | 累計 | 1,615,618円 |
| | | | | B F切手 | 0 PT |
| | | | | B F現金 | 0 PT |
| | | | | 累計 | 0円 |

12月第1例会（通常例会）（第901回例会）

日時 2008年12月16日 19:00
場所 京都ブライトンホテル

平井久夫

2008年、最終の通常例会です。本日は ゲストスピーカーに「株式会社 日本サルベージサービス」代表取締役社長 大崎康弘氏をお迎えいたしました。

冒頭の会長挨拶では、全世界に波及した金融経済危機により日本の大手企業の「派遣切り」および正社員の整理にまでおよんでいることを、ソニー、トヨタの名を上げて表情を曇らせて話されました。各事業委員会諸報告では、地域奉仕委員長より「パレス・エコバッグ」のサンプルを持参しての販売アピールがありました。「パレス・エコバッグ」とはワイズメンズクラブ環境問題統一のプログラムである「環境マラソン」への参画の一貫です。オリジナルなデザインの帆布のバッグで、ファンド委員会と共同企画しました。2000円で販売して利益はファンドする一石二鳥を狙ったものです。皆で協力したいものです。食事の後はゲストスピーチです。

大崎氏は会社のコマーシャルになるかも知れませんが、と前置きされました。クレーン作業を請け負う会社で、自社が所有する各種のクレーン車のスライドでの紹介から始まりました。圧巻は300tつりの特殊クレーンで、通常見かけることのない代物です。国内でも数えるほどしかない車両だと思われました。昭和30年代に進駐軍の払い下げの重機で、転落車両を引き上げる作業などを請け負ったのが会社の始まりです。当時の現場写真には懐かしい車や風景が映っていました。またビデオで、NHK教育放送の番組「あしたをつかめ 平成若者図鑑」の取材を受けた内容を見せていただきました。新入社員がクレーン免許を取得して、一人前のオペレーターを目指し日々精進、努力している姿をドキュメントで描いたものでした。お客様から信頼を得て、そして安全に作業をすること、これは仕事をする者全ての共通目標であり課題でもあると思いました。私にとって「日サル」は身近な会社です。創業時の話などは、今後の話題作りのネタにさせていただきます。また、謝礼金全額をニコニコしていただき、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

ニコニコタイムでは少し時間があるということで、大野ワイズよりラオス訪問記が話され、その後閉会いたしました。



12月第2例会（クリスマス例会）（第902回例会）

日時 2008年12月23日 18:00
場所 京都ブライトンホテル

安達雅直

12月23日に、毎年恒例のクリスマス例会をおこないました。祝日という事もあり、皆さんの集まりも良く、18時の開始時刻から遅れることなく始めることが出来ました。また多くのメネット・コメットにもご参加いただき、総勢58名となりました。

田中会長による開会宣言後、コメットによるキャンドルサービスに続き、高谷YMCA 名誉主事からクリスマスメッセージを頂きました。そして、隠塚次期会長による乾杯で、お待ちかねの食事タイムがスタートしました。ブライトンホテルの食事はいつも美味しく、この日のビュッフェ形式の食事では特にステーキが美味しかったです。ドリンク類も、ブライトンホテルのご好意で持ち込みを了承していただき、西村ワイズセレクトの美味しいスパークリングワインなどをい



ただきました。普段の例会とは違い、お酒を飲むことができるのはクリスマス例会の楽しみの一つです。

今年のショータイムは、大野ワイズ率いるテノール2名、バリトン2名、ピアノ1名によるヴォーカルユニット「CAPO DOLCE」でした。「オーソレミオ」に始まり、カンツォーネ・クリスマスソングなどを歌われ、その歌声はとても綺麗で心に響きました。特にイタリア語で歌われたカンツォーネは、私がイタリア滞在中に聞いた本場のオペラを彷彿とさせる見事な歌声で、アンコールまで聞き入ってしまいました。またパレスイケメン4人組のパフォーマンスもあって、とても盛り上がったショータイムでした。

クリスマス例会の最後は、ドアプライズ。今年も大いに盛り上がりました。ドアプライズでの景品は、去年に引き続き今年も私がネット通販を駆使し、小さいコメントから先輩の方々まで、幅広い年齢層に喜ばれることを念頭に置き仕入れました。今年はどうな物が流行っているのか、子供には大人には、と動向を探ることで、1年が見える気もします。

今年の私個人のドアプライズの成績は、チケットを少し多めに購入したこともあって、運よく高額商品にヒットしましたが、あまりにも良い商品ばかり当たることに不安を覚えて、ノートPCは辞退しました。良い商品を当てる秘訣は、人より多くチケットを買うということだけで、宝くじと違って今のところ買えば得をする期待値になっていますので、来年はもっと買っていいかもしれません。

来年のクリスマス例会がどうなるか楽しみです。



半年を振り返って

副会長 小林千春

早いもので、38期も半年が過ぎました。このブリテンが発刊されるころには次期三役や次々期会長の総会承認といったことが話題になり、「38期よサヨウナラ、39期よコンニチハ」という感じで、そろそろ蛍の光が流れ始めています。

こういうのんびりしたことを書けるのも、ひとえに心技体の三拍子が備わった委員長始め役員のみなさんのおかげです。三役を代表しまして、みなさんにお礼申し上げます。

さて、副会長としてのこの半年は、キックオフ&サバエ開設ワークから始まりました。サバエでは、うるしに右腕を噛まれてしまい、異常な痒さのみならず、右腕からヘンな液体が流れ続けるので、皮膚科の門を叩くことになりました。

CS事業では、恒例の和敬地蔵盆に参加しました。子ども嫌いなボクですが、入会以来、和敬地蔵盆は比較的真面目に参加してる気がします。子どものことが心底好きなことの裏返しで、自称子ども嫌いなだけなのでしょうか。人間の心理は奥深く、完全な理解は難しいです。

8月の部長公式訪問(の2次会)では、高田EMC主査がボクの母校である附属高校の教諭をされていることを知り、母校の野球部の奥ゆかしさ(高校野球の予選でコールド負けすることが極めて多い)について、しめやかに語り合うことができました。

京都部会では、会長紹介の際、サーファー&波というコスプレで登壇したところ、「わかりにくい」というご批判を頂戴しました。このご批判は、至極もつともだと思います。引継例会ではわかりやすさを目指し、「会長による沢田研二リサイタル」というアイデアを一人密かに温めています。

ファンドポテトでは、野菜の枠を超えて米を販売しました。主として栄養源を腹部に貯め込み、運動不足極まりないボクですので、30キロもの米を担げるのか不安でしたが(食べるのは簡単)、まだまだそう捨てたものではありませんでした。収益の大部分を担っているのはジャガイモですが、そろそろ「昔の名前で出ています」みたいな感じになってきています。

オータムフェスタ例会は、そろそろ見直しかなと感じました。もっとも、前日から泊まりがけで火の世話をした「アカンつきたかし&ミスったハワイ」もとい川上直前会長ご夫妻には感謝申し上げます。

そして、かぶり物第2弾のクリスマス例会で、およそ上半期は幕を閉じました。会長サンタ用のプレゼントのことを、当日までみんなすっかり忘れていまして、急遽安達会計と2人で買いに行くことになりました。「この2人で子ども用のプレゼントを買いに行けというのは、人選に問題があるよね」とブツブツ言いながら買いに行ったのは良い思い出です。

そんなこんなで、個人的な体験に基づいて、この半年を振り返ってみました。

蛍の光なんて言いましたが、新規事業とか熱海クラブ訪問とか新メンバー入会等々、実はやること盛りだくさんな残り半年です。みなさんのご協力あつてのバレスクラブですので、今年も何卒よろしく願い申し上げます。



YMCAクリスマス集会

人見晃弘

12月19日、京都YMCA三条本館ロビーで、クリスマスキャンドルサービス・キャロリングが行われました。

はじめに、京都ノートルダム女子大学ハンドベル部によるハンドベル演奏が行われました。クリスマスにおなじみの全10曲が披露され、曲によって6人から8人のメンバーが入れ替わり、美しい音色を響かせてくれました。次に、クリスマス礼拝では、聖書の一節の朗読に続き、日本福音ルーテル教会の小泉潤牧師のお話をいただき、皆で祈りと讃美歌をささげました。その後、40名程の参加者でキャロリングに出発しました。新京極・寺町界隈を歩き、三嶋亭前、六角堂前、三条十字屋前でクリスマスの歌を合唱しましたが、街を歩いている人が非常に少ない、というよりほとんどいない、といった感じでした。不景気の影響でしょうか。残念です。

さて、再び京都YMCA三条本館に戻り、最後の歌を合唱してから、打ち上げをして終了、解散となりました。来年はもっと多くの参加者で、もっと多くの人々の前でキャロリングができますように。

三役主催忘年会

堤 雄次

年の瀬の忙しい12月29日に、総勢18名のメンバーとその半数の9名のレセプタントの方々が集結し、今年の終わりの行事?であるパレスの忘年会が開かれました。また久しぶりに久貝君も参加されて、元気な顔を見せてくれました。男の子か女の子か聞くのを忘れましたが誰か聞かれました?

会場は丸太町堀川の近くの「かとう」という店で、忘年会会場としては、初登場で楽しみでした。値段も考えると良かったのではないかと思います。会場もまあまあ広がったですし、ただ当初のテーブルセットを某レセプタント会社の社長が配置換えしてしまったので、チーフは席の位置を見てビックリしたらしい。危機管理の練習でもしたのかな?

宴会は、田中会長の挨拶で始まり、宴会中は美しい女性11人に囲まれ皆さんの表情は、いつもと違い上機嫌で楽しんでおられました。某社長は楽しみながらもチェックが厳しかったです。これがいいメンバーを育てる秘訣かも…。小林副会長の一本締めで中締め。そのあと、有志がブレラにて二次会をおこない、その後は皆四方八方へ、何処に行ったの?



パレス年忘れゴルフ

西枝 攻

パレス年忘れゴルフコンペは31日びわこ大橋ゴルフ場でおこなわれました。なんせ琵琶湖の北、昨夜からの寒波到来でびわこ大橋は雪、北湖方面は吹雪状態。それでも定刻にはメンバー9名勢ぞろいで、北コース、中コースを一日かけて楽しみました。為国君は中コースではなんとスコア45で次回からはお師匠様になると気を吐きました。平野君は前日の過酷な練習とマクドの食い過ぎか、スコア的には次回を期待というものでした。

参加者は杉本、河合、奥村、小倉君、為国、小林、西枝、山本一、平野でした。その場でまたやろうということ、京都部主催コンペにエントリーは如何との話もできました。帰宅すると自宅忘年会の牡蠣剥きが待っていました。1年の疲れとゴルフ、そして牡蠣剥きの疲れでフラフラの中、紅白歌合戦もやっとの年忘れとなりました

お知らせ

12月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 第40期会長候補の件 (会長指名委員会)

山本一博君にて承認。半期総会議案とする。

第2号議案 第39期三役の件 (次期会長)

副会長 岡見 紫君、山本一博君

書記 河合信也君、人見晃弘君

会計 小林千春君、杉本泰造君にて承認。半期総会議案とする。

第3号議案 12月第2例会時間変更の件 (ドライバー)

例会開始時間を午後6時からとすることで承認。

第4号議案 1月第1例会 (新年例会) の件 (ドライバー)

場所は、KKR京都くに荘。ゲスト会費7000円にて承認。アトラクションとしてゲームを実施。

第5号議案 献血の件 (C環)

三条YMCAに献血車を駐車できないことから、日赤の要望で1月の実施予定を6月に延期し、会場は、その時点で検討することで承認。

第6号議案 エコファンドの件（C環、ファンド）

エコバッグの販売を実施。価格は2000円前後、バッグの形状、デザイン等、委員会一任。収益の一部をファンドすることで承認。

第7号議案 特別維持会員制度の件（会長）

会則を以下のとおり改正し、半期総会議案とすることで承認。

第6条（会員の種類）

4、特別維持会員 満70歳以上又は身体の故障のために、本クラブの総会、例会、役員会等への出席、その他本クラブの活動への参加が困難な会員は、会長宛に「特別維持会員願い」を提出し、役員会で承認を得たときに特別維持会員となる事が出来る。会員が特別維持会員となった後も、YMCAの正会員、維持会員の身分に変更はない。特別維持会員が正会員へと会員の種類を変更するには、会長宛に「正会員変更願い」を提出し、会長がこれを役員会に報告する。

5、連絡主事 京都YMCAが指名する主事。

第16条の2（特別維持会員の義務と権利）

1、特別維持会員の年会費は、YMCAの維持会費、区会費、区大会支援金、部費その他区、部に関する費用相当額とし、当期役員会が決定した額とする。

2、特別維持会員は、区ロスターへの掲載をする。

3、特別維持会員が例会等に出席する場合は、特に定めない場合、その例会におけるメンバー例会費を負担する。

4、特別維持委員については、委員会配属を行わない。

5、特別維持会員は、ブリテン、部報、区報等の配布を受ける。

6、特別維持会員は、総会等の定足数に算入せず、その議決権は停止する。通常例会等本クラブ行事における出席率算定についての員数に含めない。

出席率算定に関する規則を次のとおり改正する。

規則第3条（例会出席率算定の基準）

例会出席率計算における母数には維持会員、特別維持会員、功労会員は各ゲスト出席として扱う。

第8号議案 追加事業検討委員会専属委員の件（会長）

会長、三役、大野嘉宏君、野口大輔君、平野雅幸君、福井将一君、西枝攻君、吉楽貴之君とすることで承認。

第9号議案 ワイズ読本購入の件（会長）

55冊購入する（1000円／1冊）ことで承認。

（報告・確認事項）

- ・ オータムフェスタの報告 84,058円を費用として拠出した。
- ・ 和敬クリスマスプレゼント クリスマスケーキとアイスクリームを60名分 費用18,900円
- ・ 京都部CSチャリティボーリング大会 2月8日（日）。参加費2000円／1名。参加締切12月20日
- ・ クリスマス例会の段取りの確認 PTメンバーは午後3時集合
- ・ 半期報告書 12月20日までに書記へ提出 報告書フォーマットを委員長宛にメール添付する。
- ・ 次年度における西日本区次期理事候補者決定の報告 キャピタルクラブ仁科ワイズに決定した。
- ・ 次年度における西日本区次々期理事（2011～2012年）推薦の件
- ・ 鹿児島YMCA設立の報告 2010年4月をめどに設立予定。
- ・ 三役主催忘年会 12月29日午後7時 かとう（堀川丸太町東入北側。231-8912）会費1万円
- ・ YMCAチャリティコンサートチケット販売。1/21日 2500円 Yサ委員会で販売する。
- ・ YMCA西岡主事が11月末で定年退職された

1月の行事

14日 18:00から1月役員会 19:00から新年例会（くに荘） 28日 19:00から半期総会（ブライトンホテル）

Happy Birthday

3日 阿部君 5日 河合メネット 10日 西枝君 11日 田中君 18日 堤君
21日 井上彰君、吉楽君 23日 小西君 24日 山本一博メネット 25日 安達君

Happy Anniversary

1日 大嶋君夫妻 30日 平井久夫君夫妻

YMCA NEWS

1. 2009年2月に京都YMCAは創立120周年を迎えます。

2008年もチャリティーラン、コンサート、街頭募金をはじめとした会員・地域活動、国際協力の活動をはじめ、三条本館を中心としたスイミングスクール、日本語科、福祉科の専門学校、そしてサバエキャンプ場、リトリートセンターでの多岐にわたるご支援を賜りましたことを感謝いたします。昨年も多くの青少年が参加者として、更にはリーダーとして参画をすることを通して、心身ともに生まれ豊かな時を過ごすことが出来ましたことをご報告し、心よりの感謝を申し上げます。

京都YMCAは本年2月に創立120周年を迎えます。この120年を機にYMCAでは、5年後の125周年(2014年)に向けて、私たちの「京都YMCAのあるべき姿」を「PLAN125」として構築すべく取り組みをはじめています。このプランは、YMCAの使命を果たすべく方向性を探り、事業、組織の有り様などを「公益法人制度改革」を考慮しつつ、検討し構築するものであります。2月の創立記念集会、5月に行われます総会、京都青年をはじめ適時ご報告し、皆様と共に策定いたします。

2. 正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために正会員としてYMCA運動を積極的に担っていこうという意欲のある方を対象にYMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2009年1月30日(金) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館 201号室

対象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月27日(火)までにYMCA受付またはFAX、E-mailにて申込みください。

3. 創立120年会員集会

日時 2009年2月14日(土)

第1部 記念礼拝 午後4時～4時40分 於：聖公会 聖アグネス教会

第2部 テーマ「京都YMCA 125年」を語ろう 午後5時～6時30分 於：平安会館

4. チャリティーコンサート

収益金は、インドのハンセン病患者・家族支援と京都YMCA活動費に使われます。

日時 2009年1月24日(土) 開場 午後5時30分 開演 6時

場所 日本キリスト教団 洛陽教会 (丸太町寺町上る)

料金 2,500円

出演 陣内大蔵(シンガーソングライター・2007年春より日本キリスト教団東美教会伝導師に就任)

※チケットはYMCA受付にて販売致しております。

5. スキーキャンプ 参加者募集

白山スキー 日程 2009年2月13日(金)夕～15日(日)夜 2泊3日(2泊7食)

対象 小学1年～6年

行先 石川県 白山瀨女高原スキー場

宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

費用 41,000円

6. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第22回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 2009年1月17日(土) 午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お1人 300円(お茶代等)

編集後記

あけましておめでとうございます。新年早々にイスラエルのパレスチナガザ地区への地上攻撃が開始したというニュースに接しました。ユダヤはナチスドイツからの迫害を受けた民であるはずなのに、米国の力を後ろ盾にパレスチナの民への侵攻を止めようとしません。

一方、世界恐慌が始まろうとしています。世界の人々が手を携えることこそが、世界平和への道であるはずなのに、全く反対の方向へと進んでいます。

ワイズの国際活動もこの複雑な国際情勢と無縁ではありえません。真の奉仕活動とはなにか? 一党一派に属しない活動とはどのようなものなのか? 一人一人が国際奉仕クラブのメンバーとしての意味を今一度考える時期にあります。

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、松山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

2 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
TEL 075-432-3191

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.2.1 発行
第 38 巻第 8 号 通巻 440 号
CHARTERED 1971

クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会 長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書 記 | 为国光俊 |
| 会 計 | 安達雅直 |
| 会 計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 御言葉を行う人になりなさい。
TOF 自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。
CS ヤコブの手紙1章22節

2月のTOF・CS強調月間について

京都パレスワイズメンズクラブ 谷口 武士



CSとはCommunity Serviceの略称で、ワイズメンズクラブによる国内外の地域社会奉仕事業をいいます。しかし、国際協会の場合では、1969年におけるHuman Crisis運動に端を発して、Community Service, Time of Fastと名称を変更していますが、日本区では一貫してこれをCS事業として推進しております。

この事業は、国際的にはTime of Fast(断食の時)として、会員が少なくとも1回の食事を摂らずに、飢えを体験し、その節約したお金を国際協会に送金し、世界YMCA同盟を通じて難民事業等に捧げております。一方、国内的には日本区の独自の運動として、お年玉年賀葉書の四等当選切手によるCS資金(従来はアジア資金と呼称)を集めて、アジア地域のワイズメンズ活動のために活用しております。また、YMCAを通じての国際協力募金への協力や地域社会奉仕活動も各クラブで活発に行なわれております。なお、CS資金運用のために資金運用規定が定められ、資金運用委員会が資金の効果的、公正な運用にあたっております。

パレスクラブでは、CS事業として、主に和敬学園に奉仕をしております。現在は、切手を集めることはなくなりましたが、そのための資金などは、ファンド事業収益金でまかなわれております。奉仕クラブとしての基本的理念として、一人ひとりのメンバーの他を思う深い心をCS事業へとつなげていくことが望ましいことと思います。感謝の気持ちを持って例会に出席いたしましょう。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | | | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|-----|------------|------------|
| 在籍クラブ会員数 | 50名 | 1月第1例会出席 | 40名 | 1月第2例会出席 | 35名 | ニコニコ1月第1例会 | 0円 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 40名 | 内、メンバー | 35名 | ニコニコ1月第2例会 | 26,000円 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 0名 | 累計 | 172,000円 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 | ファンド収益 | 0円 |
| | | ゲスト | 0名 | ゲスト | 0名 | 累計 | 1,615,618円 |
| | | ビジター | 0名 | ビジター | 0名 | B F切手 | 0 PT |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 | B F現金 | 0 PT |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | | 累計 | 0円 |
| 月間出席者数 | 44名 | | | | | | |
| 月間出席率 | 90% | | | | | | |

1月第1例会（新年例会）（第903回例会）

日時 2009年1月14日 19:00

場所 くに荘

大嶋正人

1月14日（水）に河原町荒神口東入「KKR京都くに荘」で2009年度新年例会が開催されました。

当日私は会場に向うために荒神橋を渡りながら、ふと高校時代の3年間の事を思い出しました。私は、雨が降ろうが雪が降ろうがいつも全速力で自転車をこぎ、この橋を渡り校門に滑り込んでいました。そんな昔を思い出し、楽しかった頃のことを考え穏やかな気持ちで会場に入ると、パレスメンバーの元気な声が響いていました。このパレスのパワーいっぱいの会場は、新年という、何か気持ちが引き締まり、これから1年頑張るぞーという想いになれる空間でした。

しばらくの雑談後、ドライバー委員長堤君の司会で新年例会の幕が開きました。まず田中会長から新年の挨拶があり、続いて次期会長の隠塚君の乾杯で宴が始まりました。会場は終始笑顔と笑い声の絶えないとても新年らしい楽しい時間を過ごさせていただきました。

その後本日のアトラクションの委員会対抗カラオケ大会が始まり、各委員会の代表が自慢ののどを披露し、私もYサ・ユース委員会の代表として1曲歌わせていただきました。Yサ・ユース委員会のみなさん、日頃委員会に参加していない私がマイクを握ってしまい申し訳ありませんでした！ 結果は優勝が直前会長川上君・ニコニコ賞が三役代表小林君・違うで賞が坂本君でした。受賞されたみなさん本当におめでとうございます。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、次期会長隠塚君から次期役員を紹介があり、皆さんの意気込みを聞かせていただきました。次期役員の皆さんよろしく願いいたします。その後、次々期会長予定者山本君の一本締めで新年例会はお開きとなりました。

今回、新年例会を御世話いただいたドライバー委員のみなさん本当にお疲れ様でした。



1月第2例会（半期総会）（第904回例会）

日時 2009年1月28日 19:00

場所 京都ブライトンホテル

杉本泰造

例会が始まったのは定刻より3分過ぎてから、ロビーではガヤガヤと皆忙しい。

何だろう…開会点鐘の時に着席していたのは25名、半期総会は相変わらず出席が悪いなーと、隣の西川さんと話しておりました。しかし食事頃の時間になるとぼちぼちと出席があり、結局は33名の出席。委任状15通で総会成立定数クリア。結構な事でした。

例会の司会は久しぶりに出席の可愛い歯科医師平井千香子さん、通称ちかちゃんの登板であります。その発声が珍妙で、笑いが自然とこみ上げて例会が和やかになる。一服の清涼剤であります。西川さんの食前の祈祷は、パレスのキリストかといえる入魂の祈祷で心が洗われます。総会の議案は総て素通り、誰も何も言わない。「物言えば、唇寒し秋の風か?」と自分の戒めに詠んだ芭蕉の皆心境か…しかし会則変更で特別維持会員制度が出来て承認されたのはここ数年退屈な半期総会の珍しく貴重な議案でした。

次期会長隠塚君より次期三役、副会長・山本一博・岡見 紫、書記・河合信也・人見晃弘、会計・小林千春・杉本泰造各君が発表された。また、次々期会長に山本一博、追加事業検討委員会委員長に河合信也各君が発表され承認と、早い手順で総会は進んで行き、時間余るぞ…ところが、つかみどころのない今期ドライバー委員長堤君が、人を食ったような笑いをとるニコニコタイムを始めた。うまく時間を操り24000円のニコニコを集めていたのは、特異な才能を持つ委員長であると感じ入った。数年前まではパレスきっての若武者であった平野君も今は一児の父となり、今期Yサ委員長でがんばり国際協力募金44725円集めたのは眼を瞠らせる。また例会場に69回国際大会のリレーフラグが最後にパレスに来てサインをして下さいとの事…しかし猫の額ほどのスペースしかなく、小さいサインをしても全員は書けない。パレスは50名いませと言いたい感じ。しかしサインするメンバーも少なく、まだまだ国際大会の関心は皆さん遠いようです。なお閉会は時間どおりピッタリでした。



追加事業委員会

安達雅直

1月21日、京都YMCAにて第1回追加事業検討委員会が行われました。出席者は、河合委員長・田中会長・川勝・小西・西枝・野口・平野・福井・山本一・安達（敬称略）の10名です。

この委員会は、昨年から役員会や各委員会で話し合われてきた中長期計画について、文字通り検討するために設置された委員会です。

始めに、田中会長より委員会設置について説明があり、河合委員長が出席者全員に追加事業について意見を求めました。

出席者からは、国内事業か海外事業か、YMCAやIBC/DBCと協力して事業を行うのか、今現在行っている事業がEMCやファンドに繋がっているか、等の意見が飛び交い、空腹に負けず非常に盛り上がった議論となりました。

また、周年アクトとして、Y3の設立についての議題が出され、それについての様々な意見が出たところで、第1回目は終了。

次回（2月18日）は、より具体的な話が出てくると期待されます。御意見のある方は是非参加して頂きたいと思います。

昨年11月に配布させていただいた募金箱を1月第2例会にて回収させていただきました。クラブの皆様の温かいご協力により44,725円集めることができました。

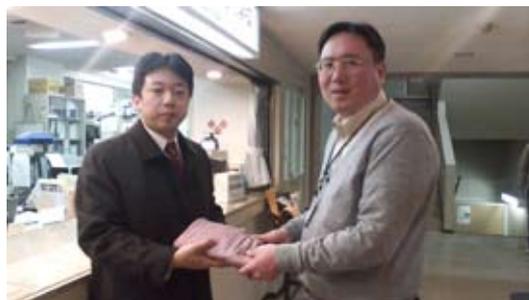
これにクラブのYサ予算より3万円を加えて合計74,725円を2月6日に三条YMCAの阿部主事にお渡しすることができました。ずっしりと重かったです。これはきっと硬貨の重さではなく、奉仕の心と思うとなんとなくぽおっとあたたかい気持ちになりました。

それに比べて前回のチャリティコンサートのチケットを返しに行ったのは辛かった。販売しているときもまるでマッチ売りの少女（外観はオッサンですが…）のようでした。役目とは言え辛い。売れ残ったチケットを返しに行くのは…会長にもついてきてもらい返納しましたがなんとも言えん気分でした。正直萎えそうでした。

が今回の募金でちょっと復活。ありがとうございます。

今季もあと残り少なくなってきましたが、Yサ事業は夜桜フェスタ、チャリティランと行事がまだまだ続きます。どうぞご期待ください。

(／●)。(●＼)



お知らせ

1月役員会議事録

(承認事項)

- 第1号議案 半期事業報告の件（各委員長）
別紙一部修正のうえ、承認。
- 第2号議案 半期決算報告の件（会計）
別紙のとおりにて承認。
- 第3号議案 2月第1例会の件（ドライバー）
ゲストスピーカー：水野弥一氏（京都大学アメリカンフットボール部総監督）謝礼3万円にて承認。
- 第4号議案 2月第2例会（TOF例会）の件（地環）
場所は三条YMCA。テーマはTOFの意義&環境マラソン。例会時間は約1時間にて承認。
2次会はCSにて手配。
- 第5号議案 永井コメントご結婚お祝い金、河合コメントご結婚お祝い金贈呈の件（会長）
慶弔規定により、各1万円ずつ贈呈することで承認。1月第2例会で贈呈。
- 第6号議案 国際大会ピンバッチ購入の件（会長）
25個（単価500円）を購入することで承認。国際大会参加者に優先して配布する。
- 第7号議案 熱海クラブ訪問の件（交流）
日程は、2月23日（月）にて承認。

(報告・確認事項)

- ・半期総会議案の確認（半期報告、半期決算、次期三役、次々期会長、追加事業検討委員会委員長、会則変更）
- ・国際協力募金箱回収（1月第2例会）
- ・チャリティラン実行委員選出 平野君
- ・和敬クリスマスプレゼント報告 12/21にケーキとアイスクリーム60名分 18900円
- ・エコバッグ販売報告 70個
- ・ボウリング大会参加見込 メンバー10名 和敬学園35名
- ・ワイズ感謝デー 2月21日（土）～22日（日）。東山荘
- ・3月第2例会（ファンド例会）の確認
- ・EMC役員懇談会 1月30日（金）19時～20時30分。三条YMCA
- ・次年度における西日本区次々期理事（2011～2012年）を推薦しないことの確認
- ・YMCA創立120周年記念集会 2月14日

2月の行事

4日 2月役員会 8日(日) 京都部CSチャリティーボウリング大会 11日 2月第1例会
14日 YMCA 創立120周年記念会員集会 23日 熱海クラブ公式訪問 25日 2月第2例会 TOF 例会
26日 三役会

Happy Birthday

1日 高谷君 3日 山本好一メネット 7日 川上君 12日 大野メネット 24日 別所メネット
25日 隠塚メネット、吉岡メネット

Happy Anniversary

3日 山岸君 6日 井上彰君 12日 福井君 14日 谷口君

YMCA NEWS

京都 YMCA は 2008 年度の年間聖句を「平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる（マタイによる福音書第 5 章 9 節）」としていました。そのような 2008 年 12 月に東エルサレムの YMCA から「世界がクリスマスを迎え、新年を迎える準備をしていたとき、イスラエルは 1967 年以降最悪で致命的な空爆をガザに対して行いました。46 名の子どもと 16 名の女性を含むおよそ 388 名が殺害され、1750 名以上が負傷しました。イスラエルの当局者は、これは始まりに過ぎず、最悪の状況はこれから訪れると公言してはばかりません。(略)」のニュースがはいり日本 YWCA 及び日本 YMCA 有志一同 (2008 年 12 月 29 日) はガザ攻撃に対するアピールを以下のように発表しました。

「パレスチナに大切な友人をもつ、私たち日本の YWCA、YMCA のメンバーは、2008 年 12 月 27 日に開始されたイスラエル軍のガザ空爆に対して、心の底からの強い悲しさと憤りをおぼえています。長期にわたる封鎖によって疲弊しているガザに対して、圧倒的に優位な軍事力を有するイスラエル軍が行った今回の空爆においては「自衛」のための攻撃という口実は全く成り立ちません。1 日の数としてはこれまでで最大の死傷者を発生させ、暴力の連鎖をさらに深め、中東和平に寄せる全ての人々の期待を裏切る蛮行にほかなりません。ガザの人々の尊い命がこれ以上奪われることのないよう、私たちはイスラエル政府に対して、以下の 2 点を強く要求します。

1. 空爆をはじめとする、イスラエル軍によるガザへのあらゆる攻撃を即刻中止すること。
2. ガザに対する国際社会からの人道支援が滞りなく実行されるよう、あらゆる妨害を行わないこと。

同時に私たちは、今、この困難な状況においてもパレスチナの地における平和の実現のために働いている YWCA、YMCA のメンバー、スタッフの働きに対して連帯の思いを表明します。また、日本の YWCA、YMCA につらなる一人でも多くの方が、この状況に対して思いを寄せ、パレスチナの地における平和回復のために、祈り、行動してくださることを合わせて強く希望します。」

私たちには愛があります。世界の人びとが争いのない社会で生きることができることを。皆様と共に祈り行動しましょう。

総主事 神崎清一

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。

スイミングスクール

幼児・少年体育活動 2月25日(水) 午前10時より 電話 075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ 2月25日(水) 午前10時より 電話 075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

| コース名 | 対象 | 日程 | 行き先 |
|-------------|-------------|-------------------|------|
| リトルキッズスキー 春 | 小学1年～2年生 | 3月26日(木)朝～30日(月)朝 | 志賀高原 |
| 小学生スキー 春 | 小学3年～6年生 | 3月26日(木)朝～30日(月)朝 | 志賀高原 |
| 中高生スキー 春 | 中学1年～高校3年生 | 3月24日(火)夜～30日(月)朝 | 野沢温泉 |
| チャレンジスキー 春 | 小学4年生～高校3年生 | 3月24日(火)夜～30日(月)朝 | 野沢温泉 |

※チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作が出来る方 中・上級者向き

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸 YMCA の子ども達と一緒にキャンプを過ごします。

場所 神戸 YMCA 余島キャンプ場（香川県小豆郡土庄町字余島）
日程 2009年3月29日（日）～4月2日（木）4泊5日
対象 小学校2年生～高校3年生
費用 54,000円（会員以外の方は申し込み時にシーズン（臨時）会費2,000円が必要です。）

4. 2008年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。

日時 3月8日（日）午後2時～5時30分（受付午後1時30分開始）
場所 京都 YMCA 三条本館マナホール

5. 創立120年会員集会

日時 2009年2月14日（土）
第1部 記念礼拝 午後4時～4時40分 於：聖公会 聖アグネス教会（烏丸通下立売角）
奨励 門脇光禪司祭
第2部 『「京都YMCA125年」を語ろう』 午後5時～6時30分 於：平安会館（烏丸通上長者町上る）
みなさまとともに「5年後の京都YMCA」に思いを寄せ、明日への展望を切り開き、夢を語り
あいましょう。
会費 2,000円（サンドイッチと飲物付）

6. 春スイミング・デイキャンププログラムご案内

A・B・Cとも 受付 会員とその兄弟 2月6日（金）午前10時～
会員・一般 2月6日（金）午後2時～

A. 春休みスイミングスクール

期間 3月25日（水）～30日（月）連続6日間
対象 新年中・新年長（平成15年4月2日～平成17年4月1日生）／新小学・中学生
場所 京都 YMCA ウエルネスセンター三条 室内温水プール
費用 8,000円〔会員外の方はシーズン（臨時）会費2,000円が必要です。〕

B. デイキャンプ 日帰り連続4日間

◎幼児フレンドシップ 期間 3月26日（木）～29日（日）午前9時30分～午後4時30分
対象 新年中・年長（平成15年4月2日～平成17年4月1日生）定員50名
費用 28,000円（会員外の方はシーズン（臨時）会費2,000円が必要です。）
◎小学生フレンドシップ 期間 3月26日（木）～29日（日）午前9時～午後5時
対象 新小学1年～3年生 定員30名
費用 28,000円（会員外の方はシーズン（臨時）会費2,000円が必要です。）

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室 連続5日間 定員各クラス15名

日時 3月25日（水）～29日（日）連続5日間
対象 Aクラス 新小学1年生～4年生 午前9時～10時10分
Bクラス 新年中～小学2年生 午前10時25分～11時35分
Cクラス 新年中～小学2年生 午後1時～2時10分
Dクラス 新小学1年生～4年生 午後2時25分～3時35分
場所 京都 YMCA ウエルネスセンター三条 地下マナホール
費用 10,000円（会員外の方はシーズン（臨時）会費2,000円が必要です。）

①⑤に関するお問い合わせ・お申込みは 電話 (075) 231-4388
①に関するお問い合わせ・お申込みは 電話 (075) 255-4709

編集後記

1月はクラブ行事的には端境期になり、どんな紙面にするか全く見込が立ちませんでした。なんとか発行にこぎつけることが出来たことは、皆さんのおかげです。

2月は行事満載です。3月号をご期待ください。とはいえ、パナソニックの3800億円の赤字や、なんやかやと世の中暗いニュースばかりですのに、この国の大将である総理大臣はニヤニヤしながら工工服着て、一流ホテルで飲んで、歌って、浮かれてはります。やはり総理大臣の席は嬉しいのでしょうか。あの喜び顔を見ていると、なぜか私の心は荒んできます。そんな顔つきにはならないよう、ワイズで人格を磨きましょう（冗談よ!）。

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

3 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS

Bulletin
2009.3.1 発行
第 38 巻第 9 号 通巻 441 号
CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～ 40 周年へ向けてホップの年～
 国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
 京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－ 5 5 5 実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会 長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書 記 | 为国光俊 |
| 会 計 | 安達雅直 |
| 会 計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 主よ、あなたの道をわたしに示し、
 EF あなたに従う道を教えてください。
 JWF 詩編 25 章 4 節

YMCA 活動に向けて

Yサ・ユース事業委員長 平野 雅幸



この度は表紙で『YMCA 活動についての思い』を語る場 (!) を与えていただきまして誠にありがとうございます。

さて、このブリテンの上部の緑色の THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE の次には THE SERVICE CLUB OF THE YMCA と書かれています。

このあたりは、わたし程度の語学力でも意味は分かります。今ではこのことこそが我々がワイズたる重要な部分であると考えています。しかし恥ずかしながら入会してしばらくは異業種交流会的な要素に重きをおいて YMCA サービスというはおまけ的な考えをしておりました。その後これはとても浅い考えで YMCA サービスという柱を持っているからこそ、またそこにクラブ一致団結するからこそ参加のし甲斐があり、また喜びを感じるようになりました。

これほど明確な柱をもった団体は他に無いのではないのでしょうか。議論の中では時には足枷のように言われることもありますが、YMCA のサポート団体であるというのはとてもありがたいことで、恵まれていると感じませんか？

今期、Y サ事業に取り組むにあたり直接的に YMCA に対しての奉仕をするためには何が必要とされているのか、どこまで出来るのかを十分に検討する必要があると考えています。メンバーの満足度、参加意識の向上などを考えると正直なかなか一筋縄ではいきません。ついつい、YMCA の役に立つことだから参加して当たり前と言いそうになってしまいますが…。

今期あと残りわずかですがメンバーをひきつけるような事業への取り組み方を考えたいと思います。大きな行事としては以下の 2 つです。

夜桜フェスタ (同日同会場で京都部では「Y Y フォーラム」を予定。)

日時 2009 年 4 月 19 日 (日) 午後 5 時～午後 8 時 場所 京都 YMCA リトリートセンター

第 5 回京都 YMCA かもがわチャリティラン (インターナショナルチャリティランから親しみやすい名称に変更。また、一般個人レースは 10.5km に延長)

日時 2009 年 5 月 17 日 (日) 午前 9 時～午後 3 時 場所 鴨川公園

これからもワイズダム発展のためにメンバー各位の更なるご協力とご理解をおねがいたします。

※ YMCA サービス・ワイズダムといった用語は西日本区ホームページの資料庫、西日本区データベースにあるワイズ用語集を参照にされるとよいかと思います。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | | | |
|----------|------|----------|------|------------------|------|------------|-------------|
| 在籍クラブ会員数 | 50 名 | 2月第1例会出席 | 30 名 | 2月第2例会出席 | 30 名 | ニコニコ2月第1例会 | 9,000 円 |
| 内、功労会員数 | 1 名 | 内、メンバー | 25 名 | 内、メンバー | 26 名 | ニコニコ2月第2例会 | 0 円 |
| 担当主事数 | 1 名 | メネット | 0 名 | メネット | 0 名 | 累計 | 181,000 円 |
| 維持会員数 | 0 名 | コメット | 0 名 | コメット | 0 名 | ファンド収益 | 0 円 |
| | | ゲスト | 4 名 | ゲスト | 3 名 | 累計 | 1,615,618 円 |
| | | ビジター | 0 名 | ビジター | 0 名 | B F 切手 | 0 PT |
| | | スピーカー | 1 名 | スピーカー | 1 名 | B F 現金 | 0 PT |
| 月間 MU 総数 | 4 名 | | | | | 累計 | 0 円 |
| 月間出席者数 | 37 名 | | | | | | |
| 月間出席率 | 76 % | | | | | | |

2月第1例会（ゲストスピーカー）（第905回例会）

日時 2009年2月11日 19:00

場所 京都ブライトンホテル

堤 雄次

2月の第1例会は、11日の建国記念日と重なったためか、出席者が少ないようです。そのせいか詳しい事は知りませんが、次期の委員長を承認してもらう予定だった臨時総会が急遽中止となりました。まだ日にちがあるので焦らなくていいのか、委員長が変わるのか、それとも委任状が玉不足なのか（それぐらいの出席者でした）後日に先送りとなりました。メンバーは少ないけどゲストが4名来てくれましたので、少しは歯抜けのテーブルもカッコがつかしました。

本日のゲストスピーカーは、皆さんおなじみの京都大学アメリカンフットボール部総監督水野彌一氏を迎えました。水野氏は以前にもパレスの例会でスピーチをされたそうですが、相当昔ですので、当時と話の内容が違うので大丈夫とのことでした。以前来られたのは杉本君がドライバー委員長の時だそうで、多分20年以上前だと思われます。10年一昔だから二昔、同じ内容でも誰もわからないようです。

前回来られた時代は京大のアメフトの最強時代だったと思います。しかし今はやや寂しい時代です。何故か、本物の前向きの学生の減少にあるみたいです。今は部員の確保が大変だそうで、「やりたい」と入部する学生は年に2人程度。ある程度の部員を確保しないと強くはなれないので、以前のように強くはないそうです。今の学生はしんどいのはいや、ゆえに強いクラブに入りたいがらない、やりたい時にやりたい事をする学生が多いので同好会には入るが、きつい、すなわち練習量が多いのを嫌う、練習量を減らすとクラブとしては低迷する事になる、また、自分の思い通りにならないと落ち込んで鬱になる学生も以前に比べて多い、このような学生が社会にでて行くことは将来の日本は大丈夫なのだろうか、損得第一、自分がかわいいは、諸悪の根源、これを、アメフトで勝つというプロセスの中で自分を鍛えて、そこに生まれる本物の前向きの強い人間になっていって欲しいと言うような話をされました。



2月第2例会（TOF例会）（第906回例会）

日時 2009年2月25日 19:00

場所 三条YMCA

西枝 攻

今日のゲストは西日本区地域奉仕事業主任の杉浦眞喜子さん、福井君紹介の藤松さん、塚本さん、大森さんを迎えての例会です。会場は定例のブライトンではなく、YMCA 三条の教室。

TOF 例会であるので、断食そして司会は地域奉仕委員長の吉楽君です。ゲストの杉浦さんは大阪なかのしまクラブの初代会長で、2003年からは中西部部長を歴任された方です。

杉浦さんの話はプロジェクターを使用してコンパクトにCS事業は何かを短時間で講演をいただきました。その中でCSとは「心をよせる仲間、共に歩む仲間を、クラブの外に持つこと」だとされ、それを起点にTOF、CS、FFがなにてあり、環境問題のワイズ活動の中での位置づけを分かりやすく話され、さらに昨年からの事業の環境マラソン、さらには「ロールバックマラリア」運動をワイズの奉仕活動の説明の中で、活動の世界的広がりを端的に説明していただきました。

杉浦主任のスピーチの後、臨時総会となり39期の事業委員長の選出が行われ8時丁度に終了し、そのあとはYMCAの近くの鳥料理で、ゲストを交えての懇親会となりました。

筆者としてはあれだけの課題を30分少しで上手くまた理解しやすく、説明されたのはやはりと感じ入りました。

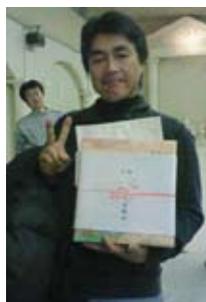


チャリティーボウリング

日時 2009年2月8日
場所 しょうざんボウリング場

吉楽貴之

第6回チャリティーボウリングが2月8日、サポート先5施設を含む京都部総勢209名あまりの競技者を集め今年もしょうざんボウルで盛大に行われました。我がクラブの戦果は個人戦田中会長5位、団体戦2位となかなかのものでした。例年招待しています和敬学園も4つの賞品をゲット！賞品発表の度に歓声が上がって楽しいひとときでした。ゲーム展開も生徒年齢は15～17歳が中心ですからなかなかの迫力です。それに負けないパレスメンバーの高得点には驚きました。この大会はもちろんチャリティーボウリング



ですので、余剰金額は募金としての扱いになり京都YMCAによってさまざまな奉仕活動資金への寄付として処理されます。今回は20万円強であったとか。京都部ワイズメンの交流とサポート先のレクリエーション、チャリティー金額の額を思うと来期ホスト役のパレスクラブとしては力が入るところでしょうか。ボウリング大会以前はソフトボールであったとか。その後、和敬学園も参加してのボウリングへと移り、今の京都部ボウリングへと発展していったんですね。ボウリング場の平均年齢の高さから先輩方のその歴史を感じ取れることが十分できました(笑)。そしてその歴史の流れの中で今年も和敬学園を含む各サポート先の子供たちは元気に参加してくれました。今年も大きな参加人数の変化もありましたが両親である大人にふりまわされた子供たちを招待しているCS事業です。参加希望をしていた子供たちが当日参加できなかったことよりもここに参加してくれた子供たちを見なくてはならないと感じました。きっと彼らは大人社会を敏感に感じることができる人なのだと考えるべきではないでしょうか。今後も楽しく過ごせるように我々大人は知恵をこぼって、又来期もいっしょにボウルを投げたいですね。

京都YMCA創立120周年記念会員集会

日時 2009年2月14日 16:00～18:30
場所 聖アグネス教会・平安会館

西川寿一

1889年(明治22年)1月12日に京都基督青年会が創立されて以来今年で120年になる。それを記念して、京都YMCA創立120周年記念会員集会在開催された。第一部の記念礼拝は平安女学院の東隣にある聖アグネス教会で行われ、パイプオルガンの前奏により始まり、奨励は日本聖公会福井聖三一教会の門脇光禅司祭によって、“夢をもって神と共に”と題してなされた。

第一部の閉会の挨拶をされた佐々浪元彦理事長は、京都YMCAの120年間は財政的に苦難の時が多かった。現在も大変な時に面しているが、会員の皆様と共に努力して何としてでも先人の意思を後世に伝えていかなければならないと話を結ばれた。

第二部は場所を移して平安会館に於いて行われた。約50人の出席者が6つのグループに分かれて“京都YMCA125年を語ろう”というテーマでグループ討論会が行われた。私は第5グループの進行役を任せられ、京都YMCA Plan 125と銘うって、5年後の京都YMCAのあるべき姿の実現に向けて現在タスクチームで検討されている、このPlan 125について各グループで討論され、第5グループはそのなかのボランティア活動について約1時間話し合いをした。

最後に各グループの代表者がそれぞれのグループで討論された事を発表され、公益財団法人への移行をふまえて京都YMCAの公益性が問われる、ボランティア団体としてのYMCAの位置づけをもっとはっきりさせるべきではないか等、軽食をしながらの約1時間半の討論会は、明日の京都YMCAの発展を願う会員の熱い思いが会場全体に拡がり有意義な時であった。



2月15日午後3時・京都YMCA三条本館、まだ2月なのに春を感じさせる、心地よい日に行われました。第一部 マナホールにて礼拝が行われ、まず始めに出席者一同がエレクトーンの音と共に、前に飾られている堀一行さんの遺影を見ながら、生前の堀さんを思い浮かべ、感謝を感じている静寂の時を持ちました。

次に日本キリスト教団上賀茂伝道所の兼松 豊 牧師によるメッセージ「家を建てた人、人を立てた人」で堀一行さんの人柄を語られ、その中でいつもパレスの大野さんと行ったアメリカ旅行を「楽しかったなあ」と何度も言われていた言葉を思い出すとされていました。

その言葉には、ワイズライフでの取り組みで一生懸命にやってきた事が良い方向に実って、アメリカに来ることができて心から良かったと思われた言葉ではなかったでしょうか。そしてどの様なことも真剣に行えば満足できる事を知るきっかけができて、それが堀さんのそれからの皆さんが知っているYMCA及びワイズへの行動が出来たのではないのでしょうか。

第二部は、偲ぶ会で場所を1階ロビーで行われ、遺族で奥様の堀 明美様・息子さんのつかさ様・かおる様が登場され、ワイズの面々が堀さんの思い出を話されました。

その中で我らのパレスの御大 宮本ワイズが話された事は、天国と地獄のお話でした。その話は、また宮本ワイズが例会に出席された時のお話として、ここでは書かない様にいたします。

そして神崎総主事より出席者を代表して記念品が渡されました。これまでの司会進行は、すべて神崎総主事がされて、神崎さんの堀一行さんへの思いの現れでしょう。

最後に私と堀一行さんとの思い出と言えば、私がパレスに入会して2年が過ぎた頃、何もYMCAの事が分からない時に、100周年リトリートセンター創立記念コンペがあり、たまたま私の事務所案で記念棟工事に掛かる時に始めてお会いして、堀さんが「私も以前パレスに居たんですよ」と、一見こわもての顔の中から嬉しげに話されていたのを今でも思い出します。

その後、パレスの古参のメンバーの方達にパレスからのコンペ案に決まって良かったと連絡されていた事を後から聞きました。いま思えば堀さんは、パレスから京都キャピタルクラブをチャーターされてクラブ創立に貢献され、初代会長になられたから古巣パレスのメンバーからのコンペ案が選ばれた事で余計に喜ばれたのではないのでしょうか。

今となっては聞き返す事はできないので残念ですが、それも私も忙しく、いつでも堀さんと話ができるものと思い、時間が過ぎ去ったことが残念でなりません。いまでは、リトセンは、私にとってワイズライフの始まりの様に思えます。感謝…。

尚、最後に参加者は、100名を超し、パレスからの出席者は、大野・宮本・宮本メネット・西川・森田ワイズと川勝の6名でした。



熱海ワイズメンズクラブ2月例会訪問記

人見晃弘

2月23日～24日にかけて、パレスのDBCである、熱海ワイズメンズクラブの2月例会を訪問してきました。田中会長以下12名で新幹線に乗り、熱海駅に到着すると、熱海クラブのメンバー達が出迎えに来てくださっていました。

タクシーで、例会場でもあり当日宿泊するニューフジヤホテルに向かい、チェックインの後18:30から例会が開

会されました。例会には我々パレスのメンバーの他、東日本区直前理事の越智京子ワイズなど他クラブのビジターや、熱



海クラブ輩出の現熱海市長、斎藤栄ワイズも来場されていました。いつかパレスからも京都市長を輩出できたらすごいですね。また、当日は本来 TOF 例会となるはずでしたが、熱海クラブのご厚意により3月に振り替えてくださったとの事で、感謝です。HB・HAに続き、パレスでのニコニコにあたるスマイルの時間では、自己申告だけでなく、担当委員の方がメンバーご本人や家族のお祝い事などの情報を事前に調べられていて、皆に紹介するという形で盛大に行われていました。これには熱海クラブのメンバー間の仲の良さがよく表れていると感じました。当日のゲストスピーカーには地元熱海警察署の交通課長が招かれ、静岡県警察の交通事故防止の取り組みについて話されました。その中で、京都のデータとの比較もあり、興味深かったです。例会の最後に熱海クラブから田中会長に記念品をいただきました。例会の出席者数は67名、熱海クラブメンバーは48 / 48、出席率は100%でした。素晴らしいですね。例会後皆で市内の二次会場へ…。メンバーのお店などをはしごして、熱海の長い夜は更けていきました。翌日は、仕事のあるメンバーは朝のうちに帰り、残り6名が熱海クラブメンバーの案内で梅園を観光しました。とてもきれいに整備された梅で、足湯施設などもありましたが、今年は暖冬の影響で、梅はほとんどが見頃を終えて散った後でした。昼食もメンバーのお店で、豪華で美味しい海鮮料理を御馳走になり、その後はそれぞれお土産を買ったり、喫茶店でゆっくりしてから帰路につきました。今回、熱海クラブの例会を訪問して、例会の運営についてなど、大変勉強になりました。そして、お世話いただいた熱海クラブのメンバーの皆様へ、心から感謝致します。熱海クラブ訪問メンバーは井上彰・大嶋正人・金村孝一・河合信也・川上孝司・小西孝典・小林千春・高田敦・田中一馬・山本一博・吉岡明彦・人見晃弘の以上12名でした。



京都部第2回ワイズデー ロールバックマラリア・講演と街頭募金

日時 2009年3月1日
場所 三条YMCAと街頭 西枝 攻

京都部主催の第2回ワイズデーが開催されました。午後0時30分から大阪大学微生物研究所・感染症部門分子原虫学分野教授の堀井俊宏教授の「マラリア」に関する講演が行われました。マラリアは日本では絶滅されたもので、外国旅行者が数名罹患するような認識しかありませんでしたが、現在アフリカを始めとする経済後進国では毎年100万人以上の人々がなくなっており、その大部分が5歳未満の子供とのことです。マラリアのメカニズムそしてその対策について約2時間にわたって講演と質疑がなされました。



感染症としてのマラリアは決して熱帯病というものではなく、日本においても昭和30年頃までは多くの患者が発生しており、現在も北朝鮮はマラリア感染地域になっており、経済問題と大きく結びついています。ワイズメンズ国際協会もWHO、ユニセフ等の呼びかけにより、地球規模でのマラリア撃退のパートナーとなったそうです。

そこで先ずは知ることが一番ということで、第2回ワイズデーのテーマとなった次第です。この講演を受けて、「なるほど深刻な問題である」ということと国際奉仕団体として取り組むべき問題であることを実感しました。

尚、パレスクラブからの参加は河合君、河合メネット、森田君、西枝、西枝メネットの5名でした。

お知らせ

2月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 3月第1例会の件(ドライバー)

京都文教短期大学付属小学校長 勝部正雄氏 テーマ「お父さんへの教育論」(仮)。謝礼3万円にて承認。

第2号議案 3月第2例会の件(ファンド)

トスファンド&ゲーム。酒類を提供(西村酒店から仕入れる)。メンバーから時価3,000円以上の商品提供

もしくは3,000円の現金ファンドを受けることで承認。

第3号議案 熱海クラブ訪問（2月23日）の件（交流）

参加者が12名を超えた場合であっても全員に1万5,000円を補助することで承認。

第4号議案 エコバッグ和敬学園贈呈の件（C環）

5個（1,600円／1個。合計8,000円）を贈呈することで承認。

第5号議案 川上コメット、瀬戸コメット、西枝コメットご結婚お祝い金贈呈の件（会長）

各1万円ずつにて承認。

第6号議案 39期事業委員長の件（会長）

Yサ：西川寿一 C環：川勝政男 EMC：小西孝典 交流：森田美都子

ファンド：川上孝司 広報：高田敦 ドライバー：西枝攻（敬称略）にて承認。

2月第1例会での臨時総会議案とする。

（報告・確認事項）

- ・国際協力募金集計報告（募金額合計74,725円）
- ・リトセンチャリティーゴルフ（3月22日9時15分、ジャパクラシックカントリー倶楽部）
- ・夜桜フェスタ実行委員 平野委員長を選出（夜桜フェスタは4/19開催）
- ・パレスチナ・ガザYMCA緊急支援募金協力要請（2/11三条YMCA前で街頭募金あり）
- ・CSチャリティーボウリング大会当日の段取りの確認（15時集合／掲示板にて告知）
- ・TOF例会後懇親会（20時15分～「いなせや」（三条柳馬場上る）会費5,000円）
- ・第2回ワイズデー「ロールバックマラリア」（3/1 12:30～16:00ワークショップと街頭募金）
- ・追加事業検討委員会報告（検討方法を検討中）

2月第2例会・臨時総会議事録

2月25日開催の臨時総会で39期各事業委員長が次の通り承認された。

| | |
|--------------|-------|
| Yサ・ユース事業委員長 | 西川 寿一 |
| 地域奉仕・環境事業委員長 | 川勝 政男 |
| 交流事業委員長 | 森田美都子 |
| ファンド事業委員長 | 川上 孝司 |
| 広報事業委員長 | 高田 敦 |
| ドライバー委員長 | 西枝 攻 |

3月の行事

1日 京都部ワイズデー・ロールバックマラリア運動 4日 3月度役員会 11日 3月第1例会（ブライトン）
14日 チャーターナイト 22日 京都部チャリティーゴルフ 25日 3月第2例会（ブライトン）

Happy Birthday

4日 高田君 9日 小西メネット 10日 谷口君、金村メネット 13日 西中君 18日 小櫻メネット
28日 桧山君

Happy Anniversary

13日 川上君 20日 松崎君 22日 井上均君

YMCA NEWS

京都YMCA三条本館のロビー、平日の午後の時間帯はたくさん子ども達とお母さんで活気あふれていて、時には喧騒としていて、他の会員の方や事業にご迷惑をおかけしているほどです。元気いっぱい、楽しく仲間や家族と語り、遊びに夢中になっています。「公共の場所」であることのマナーを学ぶ場所であることを伝えたいといけません、一方で、子どもたちが屈託なく楽しそうにしている姿を見るにつけ、YMCAが安心できる場所で平和な空間であることを再認識する時があります。元気な声と笑顔に勇気付けられます。

さて、そのロビーには毎日多くの方が訪れます。早朝よりスイミングの会員、朝には専門学校の生徒、午後にはスイミングスクール子ども達、勿論それぞれの先生やスタッフ。

お昼休みにはロビーで昼食を取る生徒で賑わいます。野外活動を始めた学生ボランティアリーダーも学業の合間(?)をぬって頻りに事務所に訪れます。視覚障がいの方々のサポートを目的としたボランティアグループ、スペシャル

オリックスなどの社会人ボランティアの方々も曜日や時間帯を変えてお越しになられます。

夜の時間帯は成人スイミング会員の方々、英会話、社会福祉学科の学生。そしてワイズメンズクラブ、各種委員会、リーダー会やトレーニングと集われています。

時には、トイレだけを探して来られる方、ホテルを探している外国人ツアーリスト。まさにスモールコミュニティです。

性別や年齢、生まれた国や言葉、障がいや疾病の有無をこえて、安心して寄り添って生きることの出来る社会の創出をめざして、YMCAは「人間」と「空間」「時間」づくりをしています。

今春も多くの事業、プログラムが予定されています。ご参加ならびにお支えをお願いいたします。

総主事 神崎清一

1. 2008年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後に活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。

とき 3月8日(日) 午後2時～5時30分(受付午後1時30分開始)

会場 京都YMCA 三条本館マナホール

2. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動 お申し込み・お問い合わせ 電話 075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ お申し込み・お問い合わせ 電話 075-231-4388

3. 京都YMCA 発達障害児理解セミナー

市民の方々が理解を深め、軽度発達障害児が健やかに成長できる社会作りに貢献できればと願いセミナーを開催いたします。幅広い方々のご参加をお待ちしております。

日時 3月14日(土) 午後1時20分～午後4時30分

場所 こどもみらい館(中京区間之町通竹屋町下ル)

講師・講演

I. 「高機能広汎性発達障害の青年・成人が抱える精神医学的問題」

講師 岡田 俊(京都大学医学部附属病院 講師・児童精神科医)

II. 「大学、高校における発達障害者への就学支援」

講師 小谷裕実(皇學館大学社会福祉学部教授、小児科医)

参加費 1,500円

4. リトリートセンター・サバエキャンプ場夏期利用案内

自然いっぱい心が安らぐリトリートセンター・サバエキャンプ場では夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

夏期(7・8月)利用受付開始 30名以上 3月11日(水) 午前10時～

30名未満 3月13日(金) 午前10時～

リトリートセンター2008年4月～2009年3月まで(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

5. ボランティアセミナーのご案内

①「共に支え共に生きる」ー一生と死を考えるー 沼野尚美さんからのメッセージ

2人に1人が“癌になる時代”。まさかのことが我が身に起こったとき、心の支えになるものはなんですか。ホスピスの患者さん方は【家族】と答えられます。人生を豊かにするものと危機状況と直面したとき、自分の人生を複雑にさせるもののが、皮肉にも同じもの。それは人間です。長年のホスピスでの働きから、家族の絆について、人と人との関わりについてお話しさせていただきます。

講師 沼野尚美さん

病院薬剤師から、病院チャプレンやカウンセラーに転職、現在六甲病院緩和ケア病棟勤務チャプレンとカウンセラーを兼職。

日時 4月11日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 1人 300円

②がん患者さんとそのご家族へ 第26回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんと向き合うための情報交換の場です。

日 時 3月21日(土) 午後7時～9時
場 所 京都 YMCA (三条柳馬場)
参加費 お一人 300円 (お茶代等)

編集後記

麻生総理がオバマ大統領と面談をした1週間前にニューヨークとワシントンに4日程出張しました(麻生さんとは関係はないのですが)。ワシントンはまだ大統領就任式の後始末中で、就任式の余韻が残っていました。そのあと麻生さんの訪米のニュースを見ましたが、よくまあ、あの英語力で新聞記者を入れた会見をしたものだと思えました。あの人には恥とか自らの力を人がどう評価しているかということは全く理解出来ない人なのですね。この調子だったら早期解散ではなく9月選挙もありなのでしょうね。2月の初め90円やった円は2月末には98円で、3月初旬に米国へ行くとなると、手数料入れたら1ドル107円とか、日本経済も、いよいよになってきました。

(西枝 攻)

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

4 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.4.1 発行
第 38 巻第 10 号 通巻 442 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～ 40 周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－5 5 5 実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会 長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書 記 | 为国光俊 |
| 会 計 | 安達雅直 |
| 会 計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 聖句 わたしは世の光である。
YMCA サービス わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。
ASF ヨハネによる福音書 第 8 章 12 節

私とワイズ活動

連絡担当主事 阿部 和博



私のワイズ活動への思いは、他のメンバーの方々とは若干異なっていると思います。それは連絡主事としてこのパレスに関わらせていただいているからです。

クラブ連絡主事の役割は YMCA の情報等をクラブメンバーにお伝えし、クラブと YMCA が良好な関係を維持して互いに発展することに寄与することです。実はもう一つ大きな役割があります。これはどこかの主事マニュアルに載っているというのではなく、先輩の主事より引き継いできたことですが、ワイズ活動・クラブ運営から学んだことを、YMCA 活動に活かすことです。ワイズと YMCA はその歴史的成り立ちから互いに影響を受け、非常に似通った運営を行っています。

そこで私はできるだけ冷静にパレスの活動・運営を観察し、勉強させていただき、良い点を YMCA に活かしたいと思っています。特にメンバー数の多いパレスクラブは学ぶべき点がたくさんあります。EMC 活動から YMCA の会員の増やし方を学び、会員増強とリンクする良い例会作りを考えるドライバーの働きから、会員に喜んでいただける YMCA でのプログラムの作り方を学ぶことができます。

YMCA の奉仕活動はワイズの CS 活動に学ぶべきことが多々あります。そして、その活動資金であるファンドは YMCA の募金の集め方に応用ができます。ワイズ活動をアピールし、多くの方に賛同を得て、ファンド資金を集めること、その理念のもとにワイズでは集め方に多くの工夫が見られます。ここは大いに YMCA で学ぶべきことではないでしょうか？ あるワイズメンの方が YMCA 委員会にたびたび参加すると今まで自分の知っている価値観と違う価値に気づかされるとおっしゃっておられました。私も平素は YMCA で働いておりますのでワイズ活動に参加すると私の知らない価値観の存在に気づかされます。

ワイズと YMCA が相互に学びあい、運動を展開することが互いの発展に必ず貢献することになると信じています。私も連絡主事をさせていただいているおかげで自然と視野が広がり、多くの価値観に触れ、自己研鑽を積みさせていただいています。似ているようで違う、違うようで似ているそんなワイズと YMCA の間でこのようなバランスで働きを与えられていることに感謝し、これからも益々多くのことを学ばせていただこうと思っています。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|------|----------|------|------------------|-------------|
| 在籍クラブ会員数 | 50 名 | 3月第1例会出席 | 35 名 | 3月第2例会出席 | 41 名 |
| 内、功労会員数 | 1 名 | 内、メンバー | 32 名 | 内、メンバー | 36 名 |
| 担当主事数 | 1 名 | メネット | 0 名 | メネット | 2 名 |
| 維持会員数 | 0 名 | コメット | 0 名 | コメット | 0 名 |
| | | ゲスト | 2 名 | ゲスト | 3 名 |
| | | ビジター | 0 名 | ビジター | 0 名 |
| | | スピーカー | 1 名 | スピーカー | 0 名 |
| 月間MU総数 | 1 名 | | | | |
| 月間出席者数 | 40 名 | | | | |
| 月間出席率 | 82 % | | | | |
| | | | | ニコニコ3月第1例会 | 40,000 円 |
| | | | | ニコニコ3月第2例会 | 25,000 円 |
| | | | | 累計 | 246,000 円 |
| | | | | ファンド収益 | 0 円 |
| | | | | 累計 | 1,615,618 円 |
| | | | | B F 切手 | 0 PT |
| | | | | B F 現金 | 90,000 PT |
| | | | | 累計 | 90,000 円 |

3月第1例会（ゲストスピーカー）（第907回例会）

日時 2009年3月11日 19:00

会場 京都ブライトンホテル

西中日向

杉花粉が飛散中の中、第907回3月第1例会がブライトンホテルにて行われた。会長挨拶では「花粉症で困っている」とのことであった。今日のメインゲストスピーカーは、京都文教短期大学附属小学校校長の勝部正雄氏をお迎えしている。

例会の司会は、森田美都子ワイズで素晴らしい司会であった。EMC事業委員長の福井将一ワイズから入会予定者2名の紹介もあった。楽しい食事もあり、いよいよ勝部正雄氏のスピーチに入った。

もし、あなたが余命3日と言われてらどうするか？日本人は美味しいものを食べ、良い物が欲しいとのこと。ヨーロッパ人の考えとは違うとのことであった。また日本人は物品には満たされている。また日本のテレビは素晴らしいが、テレビの内容が粗末で喜びがない。

日本人には喜びの内容がなく、満たされなく、不平不満が常にあり、心が満たされない。全ての価値観が違うとのことであった。市場原理からはなかなか脱出出来ない。発想を変えなければならない。

人間はいずれ死んでいく。生きていることが喜びであるかどうか自分で考えなければならない。命は生きることであり、持ちつ持たれつという世の中である。

親は子供に教えないといけないし、親の正しい教育により子供の苛めや自殺が少なくなるように思う。

大変ためになるお話であった。楽しいスピーチだったので例会もあっという間に終わった。



3月第2例会（ファンド例会）（第908回例会）

日時 2009年3月25日 19:00

会場 京都ブライトンホテル

東畑泰弘

3月25日の第2例会はファンド例会。私は例会そのものに参加させていただくのも数ヶ月ぶりの今回のファンド例会でした。久しぶりの例会はやはり新鮮で皆様に新たなパワーや元気をたくさんいただきました。やはり例会は素晴らしい。皆、多忙な中、時には無理してでも時間を作ってこの例会に元気なお顔を見せに来る。やさしく、温かく、朗らかで強い男達の社交場がそこにある（女の人達もです）。人間は自分ひとりでは成長できないし、生きていくことさえもおぼつかない。やはり人と関わりあってこそはじめて得るものがあるのだということを実感する。私など、普段から社内などで「愛と勇気は貰うものではない、与えるものだぜ」などと講釈をたれている自分が、ここに来ると貰ってばかりいることに気づかされる。とにもかくにも折角、入会させていただいた限りはもう少しクラブやYMCAのことを勉強し、クラブはもとより少しでも世の中の為になれる人間になりたい。いや、「なりたい」ではなく、「なります」ですね。

さて、今回は初体験のファンド例会。私もファンド委員として、野口委員長の司会の補助をさせていただきました。お酒を飲みながら楽しく皆の持ち寄った品々を皆さんがテンポよく落札する様は爽快でした。こんなに楽しくボランティアの資金を集められるのも最高ですね。つづいてのゲームの時間では珍プレー続出。出番でジャケットを脱いだのにまたわざわざ着直す堤さん。遊ぶときも真剣なボスや人見さん。そして森田さんの女王様ぶりに皆たじたじ。皆様のご協力のおかげで最高に楽しい時間を過ごすことができました。

有難うございました。皆さんにパワーいっぱい貰ったし、これで明日からもっと頑張れる。感謝。

野口 大輔

ファンド事業の2大イベント「ファンド例会」を去る3月25日に行いました。多くの参加者、出品物に感謝を致します。ありがとうございました。

個人的にはファンド例会というものが、毎年どのように行われていたかは全く分からない状態でしたが、コンセプトを「楽しんでもらう」ことを掲げ例会に臨みました。私自身、あまり司会経験がなく不安でしたが、竹馬の友 東畑ワイズとの2人合わせて半人前コンビで運営できた事は気分的に大変楽なものでした。

多忙を極める中、この例会のために時間を割いてくれた、東畑ワイズに感謝です。メンバーの皆さん、彼のことをよく覚えておいて下さい。大人しいイメージがあるかもしれませんが、底抜けに熱い男です(たまに喧嘩になります)。きっと、このクラブに新しい風を吹き込んでくれると思います。

さて、今期のファンド事業は、ある程度の区切りがつきました。まだ1年の総括をするのは早いですが、本当に大事なものはメンバー各々が率先して物事に取り組む姿勢だと思います。提案する・企画する・議論をする等々あります。

「それで、えーやん」「まかせますわ」「大変ですね」「知らなかった」等々…ここまで周りからよく聞いた言葉です。

個人的には、パレスクラブがより魅力あるクラブであるために、もっと皆で協力できる体制を作っていけるように、何か柱になるものがあればいいなと考えています。新規事業には、その意味からも大いに期待しています。

最後に、この例会を運営するにあたり、陰でサポートしていただいた隠塚ワイズ・西村ワイズ・福井ワイズその他の多くのメンバーの皆様、ありがとうございました。



2008年度京都YMCA卒業リーダー祝会

日時 2009年3月8日 14:00
会場 三条YMCA本館

西川寿一

3月は別れの季節、京都YMCAの学生リーダー（アウトドアクラブ・キャンプ・国際リーダー）の卒業祝会が、3月8日（日）午後2時から三条本館に於いて、リーダー・会員約100人の参加のもと開催された。

第1部は礼拝として、日本聖公会司祭大江真道氏による奨励があり、卒業リーダーへはなむけの言葉が贈られた。

第2部は京都YMCA常議員会議長の野崎康明氏が祝辞をのべられ、卒業リーダーに対して、エジソンは電球を発明するのに1万回失敗を繰り返した。失敗は成功の基であり、失敗を恐れずにこれからの新しい社会に於いて、YMCAの仲間がいることを忘れず頑張ってもらいたいと激励の言葉を贈られた。次に卒業リーダー12人がひとりずつ、3～4年間活動してきた体験を通して、それぞれの思いを話された。あるリーダーは感極まって泣き出しそうに話されて、聞く方もその話に感激を受けた。特に印象に残った言葉は、「皆 仲間が自分を信じてくれたから自分が頑張れた」「自然と接して自然の美しさやうつり変わりを大切に、優しい心を持って人と接することを学んだ」「子供たちと接している内にいろいろ子供たちから教えられ、素直な気持ちを持つようになった」「YMCAのボランティア活動を誇りに思えた」「保育士になる夢を与えてくれた」「一歩を踏み出す事の大切さを教えられた。いくじなしの自分であったが自信がついた」「人に対して感謝をするようになった」等リーダー達の言葉を聞いて、彼等は学校生活だけでは体験できない素晴らしい体験をYMCAという場でできて本当によかったなあ、そして実社会に出ても彼等はきっとこのYMCAでの体験を生かして素晴らしい社会人になれると思った。

その後在京16のワイズメンズクラブの代表者から記念文集がリーダー達に贈呈され、最後に藤田京都部部長が祝辞を述べられた。

第3部は会場を1階のロビーに移し、永年スキー専門委員会委員長をされている宮本隼史君の乾杯で会食が始まった。しばらくすると卒業リーダーのこれまでの活動がパワーポイントで紹介され、リーダー達が編成されたバンド“アブリシェイト”の演奏等があり、大いに盛り上がった会場ではあったが、夕方に開催される隠塚君のパーティーに出席するため少し早く退席をした。



会長主査研修会に参加して

日時 2009年3月7日・8日
会場 チサンホテル新大阪

第39期会長 隠塚 功

3月7日・8日の両日、チサンホテル新大阪で行われた次期会長・主査研修会に参加しました。私は6年前に京都部のEMC主査をさせていただいたので、本来であれば2回目の研修会であるはずですが、前回は市議員選挙直前ということもあって欠席しましたので、初めての参加となりました。ところで、この研修会も数年前より西日本区のLD委員会が企画、そして実施されており、為国君が委員として頑張っていたり、当日も色々と奮闘しておられました。事前の準備から大変だったと思います。お疲れ様でした。

この研修会では西日本区の方針や事務手続きの説明があることもさることながら、「キリスト教理解」という講義もあり、改めてワイズメンズクラブがイエス・キリストの教えに基づいていることを意識させていただく良い機会になりました。また、外部講師である坂本弥生さんによる「笑顔のパワー」と題した講演が行われ、怒っている時でも口角を上げるだけで楽しい気分になってくるといった話など、生き方にも影響する気付きをいただきました。

夕食とフレンドシップアワーでは、各部毎に情報交換などを行いながらの懇親であり、会長会の実施を決めるなど、次

期が楽しみになるいい機会となりました。ところで、この夕食の際にストロービール飲み大会が部対抗で実施され、なぜか京都部の代表として私が出てビールを飲まなくてはならないはめに…。どこかで写真がアップされると思いますが、温かく見てやってください。

翌日も早天礼拝、様々な講義、各部毎の懇談会が実施され、山中次期部長からは会員増強、Y'sの認知度アップ、YMCAとの連携などの思いをお聞きしました。その後に2010年横浜国際大会へのアピールもあったようですが、この日は私の後援会主催のパーティーが予定されていたために、お聞きすることなく午前中のプログラムを終えて早退。この件は平野君に任せます。アピール宜しくね！

次期京都部広報主査 平野雅幸

平穩に過ごしていた僕のもとに、ある日メール便が届きました。開けてみると2009年度次期会長・主査研修会なるものの資料が入っていました。さーっと目を通してみますと、冊子の構成自体は自クラブの事業計画と似たような感じです。ただこれが引き金となり、どっしりとプレッシャーというか重苦しい気持ちにさせてくれました…。

プログラムでは3月7日の13時には始まり翌8日の15時まで、寝るとき以外はほぼ全て予定が詰まっています。さらに(車酔いならぬ電車酔いになるため)電車で行くのも気が重い要因の一つです。極めつけは事前に山中次期京都部部長からは「何か話してもらう機会があるからよろしゅうね」と聞いていましたが、森田交流主査からは「ぜったいに何か考えて行かなくてはダメ!」と追い打ちをかけられていました。とはいうものの、主任の話もまだ聞いていませんし、冊子には方針などが載っていますがイメージがわかりません。引き継ぎの役員会が一度だけありましたが、残念なことに広報主査は欠席。主査のホームページを参考にしてよとアドバイスは頂きましたが更新されている気配はあまりありません。

がっくり、不安なまま当日を迎えました。当日はもよりのチケットショップで安売り券を買って行きました。往復で1040円。苦手な電車ですが電車もアリかなと思いました。なんとか予定通りに着くことができました。会場に着くと見覚えのある顔が…為国さんとプリンスクラブの古川さんが会場の警護に…(違いました。LD委員でした。でもお二人の雰囲気はなんか応援団ぽかったです)。そうこうしているうちに始まってしまいました(ここから先は隠塚さんの話とかぶりそうなので端折ります)。

お祈りしたり、理解したり、顔をフニフニしたり、フレンドシップアワーがあったり、翌日は早天礼拝したり、囲んで囲まれたり、で終わりました。ただ部長、主任、の話を聞いてから主査の方針、事業計画の発表までの時間がもっとほしいと思いました。考える時間がなさすぎです。全てのプログラムに参加しましたが、とても為になるものでした。なかでも最も素晴らしいなと思ったのが聖日早天礼拝の長井ワイズの話でした。早起きは三文の得といいますがそれ以上に得るものは大きかったです。

行きと帰りで自分が変わったことと言えば、電車を降りてから会場に行くまでにこっそりとワイズバッヂをつけていましたが、帰り道では付けたまま帰ってきました。自分がワイズメンであるということに自信を持って帰ってきました。この気持ちを心に抱いて次期を務めようと思いました。



京都部リトセンチャリティーゴルフ大会

日時 2009年3月22日

会場 ジャパンクラシック GC 奥村英雄

当日の朝、いつもより早く目覚めると、外は夜半から降り続く雨で、今日のコンペあるのかなあー！の思いのちいそいと身支度を整え出発。折しも本年最初のゴルフで不安が一杯。「無事事が運び周りの方々に良い印象を」との思いで参加致しました。いつも思う事ですがゴルフ自体は「在るがままのスポーツ」、その競技自体は自分との戦いで、それを周りの方々と「如何にその瞬間・瞬間を大切に共有出来るか」この人間性が大きく現される競技だと思えます。

最近ようやく、石川遼君や古閑美保さんのように、ファッションablないでたちで老若男女の方々がプレーをされる機会が増え心身・経済とも元気に成る、大変喜ばしいことでこれからの景気刺激の一役を担うのではないのでしょうか。

この事一つをとっても、夫々のクラブメンバーの参加者の明るい笑顔や、元気が明日への活力のパロメーターであると私なりに判断致しました。そう言った事々の繋がりが周りの方々に良い影響を与え、又吸収し合い、より良いクラブのメンバーである喜びを享受し次の方に繋いで行く。これも奉仕の一環と思っております。

今回当クラブよりの参加者は、田中一馬会長、金村孝一さん、河合信也さん、小林千春さん、平野雅幸さん、そして私、成績は、団体戦で4位・個人戦でも田中一馬会長の4位が最高でしたが、ベストグロス賞に金村孝一さんが84で1位に輝かれ加えて小林千春さんがブービー賞を獲得されパレスワイズメンズクラブの存在感を植えつけられた1日でした。



お知らせ

3月役員会議事録

(承認事項)

第1号議案 ファンド例会の件(ファンド)

内容はトスファンドとゲーム。全メンバーからは1人3000円相当の品物か現金の提供を受ける。目標収益額9万円。酒類を提供することで承認。

第2号議案 4月第1例会(花見例会)の件(ドライバー)

会場：鮎鶴(木屋町通松原上ル) ゲスト会費：8000円。アトラクションを行うことで承認。

第3号議案 4月第2例会(39期準備分科例会)の件(次期会長)

39期準備分科例会とする。内容は次期会長一任で承認。

第4号議案 入会候補者の件(EMC)

大森夏彦君、塚本優子君。3月9日までに回状での異議がないことを条件に入会を承認し、3月第2例会で入会式を行う。

第5号議案 夜桜フェスタの件(Yサ)

屋台出店とチケット販売協力。継続審議

第6号議案 西枝コメットご結婚お祝い金贈呈の件(会長)

慶弔規定により、1万円贈呈することで承認。3月第1例会で贈呈。

(報告・確認事項)

- ・パレスチナ・ガザYMCA 緊急支援募金報告 募金額は17000円
- ・アジアユースコンボケーション2009(7/29~8/2 スリランカ)参加者推薦に関する確認 パレスは推薦なし
- ・ASF 自由献金(1名1500円) ユースワンコイン献金(1名500円)の確認 任意事業・例会でアピールする
- ・グローバル・コミュニティ・スタディ参加者2名に対する京都部からの支援(20万円)報告
- ・リトセンピオトープ整備事業 3/1(日) パレスからは参加者なし
- ・2008年度卒業リーダー祝会 3/8(日) 会長はじめ数名が出席予定
- ・『『サバエの森』構想等の推進協力をお願い』報告 例会で報告する
- ・第2回ワイズデー「ロールバックマラリア」報告 河合メン・メネット、西枝メン・メネット・森田出席
- ・京都部チャリティボーリング報告 計33名の出席 会計報告は次回役員会で
- ・京都部EMC懇談会 3/29(日)リトセン 費用1名1500円 パレスは参加しない
- ・熱海クラブ訪問報告 12名出席
- ・台中エバーグリーンクラブ来訪 4/17(金)~4/19(日) 来訪者および来訪目的を確認する
- ・京都センチュリークラブメネット会招待の報告 5月、大阪リパークルーズ 河合メネット取りまとめ
- ・追加事業検討委員会報告 オープン委員会なので多数の出席を求む
- ・西日本区大会交通便について 個人単位で行う

4月の行事

- 1日(水) 4月役員会 19:30 ブライトンホテル 8日(水) 4月第1例会(花見例会) 19:00 鮎鶴
15日(水) 39期準備役員会 19:30 ブライトンホテル 17日(金)~19日(日) 台中エバーグリーンクラブ来訪
19日(日) 夜桜フェスタ 17:00(リトセン) 22日(水) 4月第2例会(39期準備分科例会) 19:00 ブライトンホテル

Happy Birthday

2日 森田君 11日 奥村君メネット 13日 平野君メネット、松崎君 15日 谷口君メネット
18日 高谷君

Happy Anniversary

12日 西村君ご夫妻 17日 吉岡君ご夫妻 18日 瀬戸君ご夫妻 30日 河合君ご夫妻

YMCA NEWS

編集後記

今年の桜はこの異常気象の中3月末には満開かと言われましたが、編集後記を書いている30日は花冷えです。4月の花見例会は満開の中での会になることを期待します。

都をどり、北野踊りと京の花街の花が開き、いよいよ京都は春の観光シーズンが始まります。

3月28日からは2年間の時限的な1000円の高速道路乗り放題が始まりました。景気刺激策とかの理由ですが、景気刺激策を言うのならなんでトラックは含まれないのとか、フェリーはどうなる?等々の問題点が指摘される一方で、車や住宅建設のための贈与は贈与税を免除するとか、まったくの選挙目当ての場当たり線香花火が打ち上げられています。定額給付金はどうなったんでしょうかね?

近年中にこのばらまき政策の付け払いを国民は負担しなければならないのです。コイズミさんの構造改革とやらの政策は失敗に終わり、さらに愚策が続いています。

クラブとしてはオンチャン会長の準備役委員会が始まります。田中会長の行事と並行して次期の準備が開始されますが、6月末までは38期を盛りたてながら行きましょう。(西枝 攻)

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

5 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.5.1 発行
第 38 巻第 11 号 通巻 443 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

会 長 田中一馬
副会長 隠塚 功
副会長 小林千春
書 記 为国光俊
会 計 安達雅直
会 計 山本一博

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
LT

聖句 求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書 第7章7節

西日本区研修会とワイズリーダーシップ開発委員会

ワイズリーダーシップ開発委員会 为国 光俊



西日本区では、毎年1月に次期役員研修会、続いて3月に次期会長・主査研修会が、それぞれ一泊二日で開催されています。1月の次期役員研修会では、次期理事とキャビネット・事業主任・各部部長といった西日本区役員が参加し、それぞれの立場から意見交換や議論をおこないながら、その成果として「次期理事活動方針」「次期事業主任方針」「次期部長方針」を確定していくのが主たる内容となります。そして、その2ヶ月後におこなわれる次期会長・主査研修会は、各クラブ会長と各部事業主査も出席して120名を超える大人数の研修となり、1月の次期役員研修会で確定された方針が、各部長・各クラブ会長へと周知され「事業主査方針」「部長方針」とのすりあわせをおこないながら全ての方針が確定されていくことになるのです。

この2つの研修会のプログラムを計画し当日の進行をおこなうのがワイズリーダーシップ開発委員会の仕事であり、また同時に委員会に参加することで次世代のリーダーを育てるのが目的となっています。西日本区は、現在会員数が1,693名87クラブの規模となっていますが、ちなみにクラブの会員数が10名以下のクラブは16クラブ、11～20名は34クラブ、21～30名は24クラブ、31～40名は11クラブ、51名以上は2クラブです。このようにクラブ規模が違い、当然のように活動内容や考え方も違うという状況ではありますが、それを理解しつつ、皆が共に次期のスタートを切ってゆけるように、1. YMCA とキリスト教理解、2. リーダーとしての責務のレクチャー、3. 参加者間のコミュニケーション、を3つの柱としてプログラム内容を毎年組み立てています。とくに、ここ数年は、詰め込み型の研修から参加型の研修へ、つまりできるだけ少人数グループに分かれて一人ひとりが発言する場ができるようなスタイルに変わりつつあり、さらにワイズ理解を深められればと願っています。

西日本区では「2000推進チーム」が立ち上がり会員増強に向けて本格的に啓蒙活動がおこなわれています。会員数が増えることでクラブが活性化され、新たな風が吹き込むことで意識も変わっていきます。それによって、クラブライフも、人のつながりも、奉仕の規模も拡大されていくのではないのでしょうか。西日本区の研修によって87クラブが力をあわせて取り組めば「2000名達成」も夢でないように思えてなりません。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|------------|
| 在籍クラブ会員数 | 53名 | 4月第1例会出席 | 45名 | 4月第2例会出席 | 41名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 37名 | 内、メンバー | 40名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 5名 | メネット | 0名 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 2名 | ゲスト | 1名 |
| | | ビジター | 1名 | ビジター | 0名 |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 45名 | | | | |
| 月間出席率 | 86% | | | | |
| | | | | ニコニコ4月第1例会 | 26,930円 |
| | | | | ニコニコ4月第2例会 | 11,000円 |
| | | | | 累計 | 283,930円 |
| | | | | ファンド収益 | 0円 |
| | | | | 累計 | 1,615,618円 |
| | | | | B F切手 | 0 PT |
| | | | | B F現金 | 90,000 PT |
| | | | | 累計 | 90,000 円 |

4月第1例会（花見例会）（第909回例会）

日時 2009年4月8日 19:00

会場 木屋町 鮎鶴

広報委員会 and 高田 敦

4月8日は鮎鶴での花見例会である。多数のゲスト、メネットを迎えての華やかな開会となった。会場は2階の鴨川端の部屋。今日はイタメシらしい。会長挨拶、隠塚次期会長の乾杯に続き、会食に入った。しかしどうだ、「量が少ない」プーイング。まあまあ下見予算使い果たした結果今回こうあいなった次第。来期は頑張ろう。

そうこうするうちに、100円硬貨ジャンケンクイズとなった。勝ち逃げは許さんパレスゆえ、勝者は全額ニコニコへと。花見の宴の後はお腹を空かして、三々五々鮎屋、蕎麦屋に走ったメンバーも多かったとか。

以下高田君の感想となります。

1年間クラブにお休みを頂いていたので2年ぶりの花見例会、入会候補のゲストと一緒に会場へ向かった、今年の桜は早いか遅いか？ 京都も場所によってまちまちなのでどうなのか。会場は『鮎鶴』、以前『リバーオリエンタル』と言う名前だったがいつの間にか『鮎鶴』に変わっていた。早速例会が始まり、周りを見渡すとメネットの参加もあり沢山のメンバーやゲストの参加、みんなアルコールも入り楽しく盛り上がっている。今回のメインイベントが中止になり急遽イベントはじゃんけんゲームに、それぞれ500円を握りしめじゃんけんで勝った方が負けた人から500円を貰う、私が連れてきたゲストの大西さんが良いところまで勝ち進んだが良いところで敗退。宴も酣なところで例会も終了に、楽しい例会だった。来年の花見例会も楽しみだ。



4月第2例会（準備委員会例会）（第910回例会）

日時 2009年4月22日 19:00

会場 京都ブライトンホテル

山本一博

桜の季節はあっという間に過ぎ去り、少し汗ばむような陽気の日、パレスは今年も4名の新人をお迎えすることになりました。福井EMC委員長の「熱さ」の賜物であります。いつものとおり開会点鐘、会長挨拶に続いて、入会式が高田EMC副委員長の進行で厳かに執りおこなわれました。福井ワイズ紹介の4名が順に紹介され、宣誓と一言スピーチ、そして万雷の拍手。大変嬉しい例会となりました。

さて、その新入会の方々をご紹介します。

まずは大森夏彦ワイズ。一級建築士事務所を山科区にて営んでおられます。お住まいは近々転居予定とか…。新居に移られたら是非お披露目をお願いしたいところです。

続いて塚本優子ワイズ。コンビニエンスストアを経営の女性社長。パレスの女性パワーがますます増強されることは間違いありません。

次は藤松幸一ワイズ。30代前半ながら酒販会社の副社長で、やる気、熱さは某EMC委員長と良い勝負の熱血漢だとか…。3人のコメントの良きパパでもあるそうです。

最後は吉岡幸次ワイズ。飲食店、イベント企画、看板制作と様々な仕事を手掛けておられる若手経営者。こちらも30代前半で、パレスの若返りは着々と進んでいると感じさせられます。尚、例会後はブレラにて歓迎会が行われ、多数の参加で大変な盛り上がりでした。最後はどの様にして帰宅したのか覚えていない程の方もいたとかいないとか…。

一方、例会の方は委員会の引継ぎがテーマで、次期（第39期）の委員会毎のテーブルに分かれ、今年度の活動を踏まえて次年度は如何なる活動計画とするか、大変熱心な討議が行われました。隠塚次期会長は各委員会別に「考慮いただきたいこと」として大方針と活動テーマを記したレジュメを用意され、そのやる気がひしひしと伝わり、それぞれに良い議論が行われた事と思います。今回はゲストスピーカーのお話はありませんでしたが、パレスクラブの一員としての誇りと喜び、そして楽しさを感じる素晴らしい例会であったと思います。我がクラブが益々活性化し、大いに発展する事を確信した1日でありました。



台中エバーグリーンクラブ来京報告

井上 均

4月17日（金）12：05着のJAL便で台中エバーグリーンクラブのメンバー3人が訪問されることになり、私達は人見君の車に川上君と3人でお出迎えに関西空港へ行った。人見君の作成したお出迎えボードを手に南ウイングゲートの前で待ち、無事3名が到着された。

歓迎の挨拶と握手で出迎え、対岸にあるりんくうタウンへ軽食とショッピングを兼ねて行き散策の後、京都へ向けて出発。宿泊先の東急ホテルにチェックインの後、歓迎会まで少し時間が有るのでJR京都駅の中を案内、3人とも非常に興味を示され駅の上から下まで一周。私達も日ごろ、京都駅には行ってもあまりうろろしないのでなかなか面白かったです。その後歓迎会の会場、“きらら”に行き田中会長、吉岡委員長、隠塚、大野、川勝、松崎、岡見、人見、川上、井上、台中のメンバー3人での筆談による会話も弾み楽しい歓迎会。その後2次会“ブレラ”にも高岡、小林、高田、西枝、の4メンバーが参加され1日目の歓迎会が終了した。

台中エバーグリーンクラブ歓迎会

坂本伸二

4月18日（土）18時より燕屋にて台中クラブ 涂榮憲ワイズ、梁永森ワイズ、頼嘉東ワイズの歓迎会を行いました。

パレスからは、田中会長以下12名（隠塚・小林・安達・吉岡・高田・西川・人見・大嶋・川上・小西・森田・坂本）で、台中クラブとパレスのプレゼント交換が行われ宴会場は、一気に明るい雰囲気に入れられ、英会話での交流会となりました。

燕屋で集合写真を撮り、いざ2次会会場（アトランティス祇園）へと移動しました。21時より2次会が行われ、美女軍団のもと台中クラブの方もパレスのメンバーも楽しい交流会となったのではないのでしょうか。

最後に台中クラブの方々との交流を通じ、同じワイズメンズメンバーであるという仲間意識のもと、双方の信頼関係を築くことができたのではないかと思います。





リトセン夜桜フェスタ

日時 2009年4月19日 16:45

場所 YMCA 宇治リトリートセンター

為国光俊

遅咲きで有名な御室仁和寺の桜も散り終わりましたが、リトセンの大きな桜の木は今が満開に咲き誇り、半袖でもいいくらいの最高の天候の中、大勢の在京ワイズメンが参集して屋台も建ち並んで、賑やかに夜桜フェスタが開催されました。

さて、パレスの出店は「桜鯛ごはん」です。200食分を当日の昼から現地入りした平野Yサ委員長はじめ委員の皆さんが作り込んでいます。そして、パレスブースには炊きたてアツアツの「桜鯛ごはん」が山積み…、そうそう山積み…、んっ山積み…、あれっ山積みとちゃうの？ せ、せめてひとつでも…、というか、ブースの前には誰もいない??? ということで、なにがあったのかと炊事場に行ってみると、委員の面々が出来上がった「ごはん」を目の前にむつかしい顔をしています。黙って一口食べてみると、「うーん、これは相当柔らかい!」、「べちゃべちゃしてる!」しかも炊きあがってる量は半分近くあり、ブースに出すか出すまいか悩ましい状況でした。しかし、そこからが腕の見せ所で、水分を飛ばし一度蒸し直しをすることで、うまく合格ラインにもって行くことができました。炊飯器のスイッチが作動しなかったのが原因で、2回目以降の炊飯作業は問題ありません。これでやっと委員の皆さんの顔も晴れ晴れに!

そんなこんなでブースの立ち上がりは少し遅れましたが、お客さんの反応はと言えば「これなに?」、「桜鯛ごはんです」、「ふーん、サクラダイ?」、「美味しいですよ」、「じゃあ、もらっていきます」とやりとりをしながら、裏方の心配もよそに炊きあがり順調にさばけていきます。一度に数パック持って行く人もありの、リピーターもありの、結果として大勢の方からおいしいと言っただけでした。ちなみに、この「桜鯛ごはん」は、梅肉と桜の花の塩漬けに鯛の切り身、これを炊き込みごはんにしています。ほんのりピンクがかかったごはんに塩味がきいて春らしい上品な味わいに仕上がっています。なんと梅肉は丁寧に梅からすりつぶしたとのことで、委員長お手製だそうです。

ステージではジャズライブあり、ダンスパフォーマンスあり、もちろん川上ワイズのバンジョーありと大いに盛り上がりながら、他クラブのワイズメンと会話が盛り上がり、さらに吉岡委員長率いる台湾エバークリーンの方々も到着し、おおいに交流を図ることができました。最後に桜の木の下で記念撮影、楽しい1日となりました。



京都部Y・Yフォーラム

日時 2009年4月19日 14:00

場所 YMCA 宇治リトリートセンター研修棟

西川寿一

リトリートセンターの八重桜が満開となり、恒例の夜桜フェスタが開かれる前の14時から、研修棟において京都部Y・Yフォーラムが開催された。今期は“リーダーの活動を通して、京都YMCAを知ろう”というテーマで、日頃京都YMCAにおいてボランティアで活動されている5つのプログラムの学生リーダー達が、それぞれの活動の報告をおこなった。

1番目は野外活動リーダーから、グローバル・コミュニティ・スタディ研修でインドのランチYMCAを訪れて、ランチの小学校やヘルスケアセンター・職業訓練所等、特にハンセン病コロニーを訪れた時は少しショックが大きく、その日の夕食は食べられなかったという体験談が話された。

2番目は発達障害児サポートプログラムリーダーから、わんぱくチャレンジクラブについての活動報告がされ、軽度発達障害のある子供達が自然体験、社会体験などさまざまな体験を通して、社会性を身につけ、他者との協調性を養い多様な生活場面での適応性を養うために、リトセンを利用したプログラムや、大文字山への山登り、一泊キャンプ等の活動の報告があった。

3番目は国際リーダーから、主に京都YMCAの日本語学校に通う留学生との交流（ミーティング）を通して、国際理解を互いに深める事にサポートしているという報告があった。

4番目はキブキッズリーダーから、病院訪問プログラムや、病気の子供達のキャンプ活動について、現在4つの病院を訪問し、病室から出られない子供達のために歌を歌ったり、人形劇やゲームをしたり、オモチャ造り等をして子供達を少しでも明るくなる様に元気づける為の活動をしているという報告があった。

5番目は体育リーダーから、スイミングのクラスの活動について、特に命にかかわる危険があるスイミングであるので安全第一を常に念頭において、必ず人数点呼を教室が始まる最初と最後に必ず行う等十分に注意を払いながら子供達を指導している事などの報告があった。

以上5つのグループのリーダーから、それぞれの活動をスライドを使用して約2時間にわたり報告され、会場に集まったワイズメンも、少しは献身的に活動されているリーダー達の活動が理解できたのではないのでしょうか。パレスクラブでも是非来期はリーダー達の活動を通してYMCA理解を深めるために、例会にリーダー達を招いて活動の話を知りたいと思っています。尚前日に京都に於いて会議があってこられていた佐藤西日本区理事も参加されて、ご自身もリーダーをされておられたので大変興味深くリーダー達の話聞いておられた。



お知らせ

38期4月役員会

(承認事項)

第1号議案 夜桜フェスタの件 (Yサ)

屋台出店協力。桜飯を提供。Yサ委員は14:00集合/メンバーは16:00集合(19:30終了予定)。JR宇治駅発のバス(片道300円、往復500円)利用希望者は、Yサ委員会できりまとめる(4/17締切)。参加チケット代金は、実質参加人数分をYMCAと後日精算。以上、まとめて承認。

第2号議案 5月第1例会の件 (ドライバー)

ゲストスピーカー:坂 栄孝(さか えいたか)氏。テーマ:空手を通じて学んだこと。謝礼:3万円。要プロジェクター&スクリーン(三役より川上さんに依頼)。以上、承認。

第3号議案 5月第2例会の件 (ドライバー)

メンバースピーチ。奥村、坂本、東畑、大森(予定)、塚本(予定)、藤松(予定)各メンバーから4名程度のスピーチ。以上、承認。

第4号議案 チャリティランの件 (Yサ)

5/17実施。ドリンク販売を予定している(4月のYサ委員会にて具体案再検討)。企業・個人の協賛および出場者は募集中(例会などでアピール)。以上、Yサ委員会に一任する旨を承認。次回の役員会にて報告し

てもらう。

第5号議案 入会候補者の件（EMC）

藤松幸一君、吉岡幸次君について、回状での異議がないことを条件に入会を承認。4月第2例会にて入会式の予定。

第6号議案 別所修君退会の件（会長）

3月末日限りでの退会を承認。

第7号議案 台中エバーグリーンクラブ来訪の件（交流）

4月17日（金）～20日（月）。涂（Tu）榮憲（直前会長）、梁（Lan）永森、頼（Lai）嘉東君の3名。

17日：閑空にてお出迎え（12：30着）。京都観光案内～歓迎会（@きらら20名程度の予定）。

18日：京都観光（観光タクシーを手配）。夜は交流会（@鍋屋15名程度の予定）。

19日：ツアーガイドと奈良観光へ（京都駅にて見送り）。

20日：ツアーガイドと大阪観光～台湾へ。

手土産の手配（クラブ&会長個人）。3名の京都での交通費、観光費、食費等一切はクラブ負担。

以上の内容を一括して承認。

但し、IBC接待のやり方、内容の再検討を、次年度への申し送り事項とする。

第8号議案 リトセンチャリティゴルフ会費支給の件（Yサ）

会費6,000円×6名分＝計36,000円を、参加者に支給する事を承認。

第9号議案 弔慰金支給の件（会長）

高岡昇君御尊父様逝去。運営に関する諸規定に基づき1万円を拠出する事を承認。

（報告・確認事項）

・YYフォーラム

4/19の14時からリトセン研修棟にて。京都YMCA 野外リーダー・国際リーダー・体育リーダーによる講演（GCS参加報告）。掲示板で告知する。次期Yサ委員長に出席要請が来ているので参加して貰う。

・京都部チャリティボリング会計報告 京都部として202,052円の収益をYMCAへ寄付した。

・大森夏彦君、塚本優子君の入会式 4月第2例会に変更する。

・京都部EMC懇談会中止の報告 入会候補者、新入会員の参加申込がなかったため中止となった。

・ファンド例会報告 売上105,444円（例会終了後に残品も全て売切れた）。

・追加事業検討委員会報告 次回から40周年に向けた取り組みという形で検討したい。

・寄付金の報告 福井君経由で浪漫家交流会様より12,000円の寄付を頂いた。お礼状を作成して発送する。

・国際会長V.S.Bashir氏（インド）歓迎会中止の報告 家庭の事情で来日取り止めのため中止となった。

・理事通信より BF代表ホストファミリー募集中。

・次期会長より 15日までに各委員会の引き継ぎ資料を取りまとめて隠塚次期会長へお届け下さい。

第39期（2009－2010年 会長：隠塚功第1回準備役員会）

議案

第1号議案 会長主題の件

2009～2010年度 会長主題 「感謝（Thank you）の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」

～40周年へのステップの年～ 別紙原案通り承認

第2号議案 年間スケジュールの件

別紙原案通り承認

第3号議案 委員会配属の件

別紙原案通り承認

第4号議案 各事業委員会「事業方針（案）」および「事業計画（案）」の件

5/16までに書記へ提出して頂き、5/20の第2回準備役員会の資料として準備する。

原案通り承認 尚、パレスHP資料室ファイル保管庫より39期事業計画書フォームをダウンロードして下さい。

第5号議案 ロースター発注部数の件

西日本区分60部／東日本区分5部を発注 原案通り承認

第6号議案 キックオフ研修会の件

6/27（土）に実施。原案通り承認

第7号議案 各種費用の件

対外活動援助金 次期会長2万円(次期会長研修会費含む)、平野広報主査1万円 承認

事務印刷費(会長・書記に各3万円、副会長・会計・各委員長に各1万円) 承認

YMCA 会議室年間利用料(5万円/年で利用する) 承認

慶弔金内規 第39期においては、慶弔見舞金の運用については以下の様に取り決める。承認

- | | | | |
|-------------|---------|--------------------|---------|
| 1. 会員の結婚 | 3万円 | 5. 会員の配偶者の死亡 | 1万円とご供花 |
| 2. 会員の子供の結婚 | 1万円 | 6. 会員の父、母、子供の死亡 | 1万円とご供花 |
| 3. 会員の子供の誕生 | 1万円 | 7. 会員の疾病、災害、その他の場合 | 1万円 |
| 4. 会員の死亡 | 3万円とご供花 | | |

(報告・確認事項)

・今後の日程に関する確認

委員会例会 38期4月第2例会4月22日 前期との引継及び次期事業方針・計画の協議

・事業方針(案)及び事業計画(案)提出日(書記迄) 5月16日

・準備役員会 第2回準備役員会5月20日(水)、新旧合同役員会6月3日(水)、キックオフ研修会6月27日(土)

次回準備役員会日程:2009年5月20日(水)19:30~ 京都ブライトンホテル

5月の行事

6日 38期役員会(1930) 13日 5月第1例会通常例会(1900) 17日 YMCA チャリティーラン(0990)

20日 39期準備役員会(1930) 27日 5月第2例会通常例会(1900) 28日 38期三役会

Happy Birthday

8日 野口君メネット 19日 宮本君 13日 荒川君メネット 23日 大野君 24日永井君

Happy Anniversary

3日 阿部君ご夫妻 14日 永井君ご夫妻 19日 大野君ご夫妻 26日 高谷君ご夫妻

YMCA NEWS

「愛の反対は憎しみではなく無関心です」

この言葉はマザーテレサの名言としてよく知られています。私たち自身も、社会の課題に目を向けず、身近に起こっていることに無関心を装うこと、見てみぬふりをしてしまうことがあります。「愛すること」、「隣人のことを思い共に生きること」を改めて考えさせられるメッセージです。

さて、今日の社会においては、この「共に生きること」が求められているにもかかわらず、社会的弱者である方々への支援としての事業である、高齢者の方々や心身に障がいのある方々を対象とした福祉事業に従事される「人材の確保」が難しいとされています。労働条件の厳しさなどが大きな要因とも言われています。

京都YMCAでは、その人材の養成期間として専門学校では、介護福祉学科、社会福祉学科をもち、更にはホームヘルパーの養成講習会などを行っています。

ボランティアビューロでは、「介助」に関連したセミナーなどが開催されています。ボランティアとして、更には私たちの身近な問題として啓発を行っています。

勿論、幼児・小学生すべての活動においても「共に生きること」をプログラムの大きな目標としてあげ様々な取り組みがなされています。

5月に実施されます「かもがわチャリティーラン」は障がいのある子どもたちに、多くの自然のなかでの豊かな活動をして頂きたいとの願いから、全国のYMCAで始まりました。

このチャリティーランが、関わるすべての人にとって「共に生きることの大切さ」と「喜び」が感じられるプログラムとなりますようお支えいただきますようお願いいたします。

1. 定期会員総会のご案内

日時 5月30日(土)午後5時~

場所 京都YMCA 三条本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。

お問い合わせ 電話(075)231-4388

2. 障がいのある子ども達のための第5回京都YMCAかもがわチャリティーラン

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時 5月17日(日) 午前9時～午後3時 雨天決行

場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋～出雲路橋 1週1.7km/北大路橋～葵橋1週3.08km)

種目・参加費

小学生駅伝(1チーム2,000円) / グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) /

一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円) / 親子ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体)

一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

お問い合わせ 電話(075)231-4388

3. YMCA サマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ・デイキャンプ

会員 6月9日(火)～10日(水) 受付時間 午前10時～午後7時

会員・一般 6月11日(木)～ 受付時間 午前10時～午後7時

電話 (075)231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月9日(火)～10日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX (075)251-0970

Eメール campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール・鉄棒・とび箱が好きな教室

会員 6月5日(金) 午前10時～

会員・一般 6月5日(金) 午後2時～

電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

4. ボランティアセミナーのご案内

①聴くことの力、話すことの力

「人はなぜ苦しいとき、話を聴いてもらうだけでも楽になれるのか」その疑問に答えるために、「話すことの力」「聴くことの力」について「苦しみの精神構造」から考えていきます。さらに、苦しみを抱える人の話を聴く方法、グループでの話し合いを進める方法に迫ってみましょう。

講師 佐藤泰子〔京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間社会論講座 人間形成論分野 精神分析学 新宮研究室〕

日時 5月9日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

定員 30名(先着順)

参加費 500円

②がん患者さんとそのご家族へ 第26回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 5月16日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

編集後記

GWも終わりました。皆さんリフレッシュされたことでしょう。前半は快晴、5日、6日と天気は崩れましたがなんとか終わりました。4月15日39期準備役委員会が開催され、第2例会は準備委員会例会となりました。

世間は豚インフルエンザでバタバタしています。しかしこの風邪65歳以上は罹患せず、東洋人もうつらないとか、知らぬ間に抗体が出来ているとの噂もあります。最大でも30時間程度あれば世界の何処へでも移動することが可能となり、地球はいよいよ小さくなってきています。メキシコが火元とかいうこの風邪の風評被害が拡大し、マスゾエさんはいやに張り切っています。この状態どうなんでしょうかね。

今期の行事もチャリティーラン、熊本の西日本区大会が大所でしょうか。プリテンも今期は6月号で終了です。

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.com へよろしく願います。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会

委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、桧山政宏



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

6 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.6.1 発行
第 38 巻第 12 号 通巻 444 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
国際会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
アジア会長主題 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
西日本区理事主題 “思いやりを持ってワイズライフを！”－わかち合いは微笑みをもって－
京都部部長主題 意識をもって活動に参画しよう！－555実現に向けて－

| | |
|-----|------|
| 会長 | 田中一馬 |
| 副会長 | 隠塚 功 |
| 副会長 | 小林千春 |
| 書記 | 为国光俊 |
| 会計 | 安達雅直 |
| 会計 | 山本一博 |

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強化月間
評価・計画

聖句 わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。
わたしが与える水はその人の内へ泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。
ヨハネによる福音書 第4章 14節

第 38 期を振り返る

副会長 小林 千春



38期は、田中一馬会長カラーを存分に発揮できたのではなかろうかと自負しています。一馬会長といえば、スマートでスポーツマンで夜のスペシャリストですが、この1年間、スマートにクラブ運営できたかと思います。三役会では、1週間前から議案を練り上げメールでやり取りすること約100通（端数を全て切り上げました）。練りに練られた議案について議論すること約2時間（これは本当です）。飲み食いなしの三役会が終わったら午後11時なんてザラでした（開始時間が遅かったのも事実です）。そんな甲斐あって、役員会で紛糾することなどなく（かえって面白くないというご意見もいただきました）、あっさり九里九馬へ直行する第1水曜日でした。

また、チャリティーボウリングでは、一馬さん（呼称が段々くだけてきてます）が個人5位、団体2位という成績、チャリティーゴルフでも一馬さんは個人4位、団体は「優勝したらホストをしなければならぬからそれだけは避けよ」という厳命に従い、ボクや平野さん（失礼）が奮起したためか4位という成績で、スポーツマン振りを発揮された1年でした。

そして、例会後の2次会や三役会後の2次会でも、1滴もお酒を召されないのに巧みな話術、鋭いツッコミ、あれやこれやの説得等、流石は夜のスペシャリストでした。ボクも何度「中野家六角」にてホソをご馳走いただいたのかわかりません。ご馳走様でした。

閑話休題。38期といえば、为国書記の獅子奮迅の働きを看過するわけにはいきません。三役の中で一番大変といわれる書記を一人でこなされたのは、流石は元会長・40周年事業実行委員長・独身貴族であります。責任感と実行力と家族サービスから解放された余暇をパレスに注がれながら、「そんな、当たり前やん」と、サラッとクールにこなされた为国書記。本来表彰ものですが、奥ゆかしい为国書記は、かえって照れくさくて辞退されると思われしますので、心の中での表彰に留めています。

そんなこんなで間もなく38期も終わりますが、今期も無事終えられるのは、役員始めメンバーの皆様のご協力のおかげです。1年間、誠にありがとうございました。

| 例 会 出 席 | | | | ニコニコ/ファンド/BFポイント | |
|----------|-----|----------|-----|------------------|------------|
| 在籍クラブ会員数 | 53名 | 5月第1例会出席 | 44名 | 5月第2例会出席 | 40名 |
| 内、功労会員数 | 1名 | 内、メンバー | 42名 | 内、メンバー | 40名 |
| 担当主事数 | 1名 | メネット | 0名 | メネット | 0名 |
| 維持会員数 | 0名 | コメット | 0名 | コメット | 0名 |
| | | ゲスト | 1名 | ゲスト | 0名 |
| | | ビジター | 1名 | ビジター | 0名 |
| | | スピーカー | 0名 | スピーカー | 0名 |
| 月間MU総数 | 0名 | | | | |
| 月間出席者数 | 48名 | | | | |
| 月間出席率 | 92% | | | | |
| | | | | ニコニコ5月第1例会 | 15,000円 |
| | | | | ニコニコ5月第2例会 | 13,000円 |
| | | | | 累計 | 301,930円 |
| | | | | ファンド収益 | 0円 |
| | | | | 累計 | 1,764,092円 |
| | | | | B F切手 | 0 PT |
| | | | | B F現金 | 90,000 PT |
| | | | | 累計 | 90,000 円 |

5月第1例会（第911回例会）

日時 2009年5月13日 19:00
会場 京都ブライトンホテル

小西孝典

空手道

5月第1例会は、糸東流第3回世界大会チャンピオン 坂 栄孝さんをゲストスピーカーに迎えての例会です。

私も、2003年より我がクラブの為国光俊さんより紹介され、極真会の空手道を稽古しておりますので今日の日を楽しみにしておりました。

流派が違いますので私の知っていた情報は、沖縄古来の武術「手（ティー）」と、中国伝来の「拳法」が融合し発展したものが空手の原型であって、糸東流空手道とは伝統空手の四大流派（他・剛柔流、松濤館流、和道流）の中の一流派ということ、そして極真会とは対戦ルールが違うということぐらいでした。

実際にお話をお聞きして、糸東流の教え「守・破・離」の基本を忠実に・それを応用し・そこから独立するという教えは、武道のみでなく、実社会全般にも通用する教えだと思いました。

あと実際の、対戦映像を見て間合いの広さと内に入るスピードの速さには感心しました！

武道とはキツイ単純基本動作を愚直なまでに反復し、己の肉体と精神を強化します。坂 栄孝さんのそのような稽古の成果が、世界大会チャンピオンという結果に結び付いたと感じました。

本日のお話をお聴きし、レベルはまったく違いますが、私も黒帯目指して稽古に励みたいとの思いが増しました。押忍！（空手道の挨拶です）

ルール補足です（極真会はフルコンタクトルールで、直接打撃で戦います。足技は顔面攻撃OKですが、手技による顔面攻撃や掴みは禁止で、KO及びダメージ判定で勝敗を争います。一方、坂さんの糸東流は寸止めルールです。これは、その名が示すように攻撃部位に対し、寸止めで技を決め、ポイントを奪い合い勝敗を争うルールです）。



5月第2例会（第912回例会）

日時 2009年5月27日
会場 京都ブライトンホテル

福井将一

メンバースピーチ

新入メンバーの一人ひとりのスピーチをお聞きしました。皆さんなかなか内容の濃い気持ちのこもったスピーチでした。東畑ワイズは桜のような人間になりたいと、もうひとつ、ウルトラマンの様な人間になりたいと…。両者とも深い意味をもっておられました。

大森ワイズは京都の町並みの歴史について説明され京都を深く愛していると…。

吉岡幸治ワイズは幼少の頃から現在に至るまでの苦労された話、転換期があって成長できた話を語られました。

塚本ワイズは家業のファミリーマートの店長をお父様から任命され無我夢中に頑張っ好成績をあげられた。その後フリーでMC(司会業)をなされていた。さすがその通りでしゃべりが抜群！現在は家業を継承され社長1年生だそうです。藤松ワイズ、もの心ついた頃には家業の酒販店を手伝い、飲食店をまかされ、会社の絶頂期とどん底期を経験され、今では何でもかかって来いと力溢れるスピーチを頂きました。

最後は奥村ワイズ ベテラン銀行マンだった頃の裏話、銀行と上手く付き合う方法を伝授していただきました。締めにあふさわしい貫禄あるお話でした。

私が思ったのは皆さん若いのに自分の信念を持ち、がんばっておられる！

これからもっといろんな経験をされ、決して逃げない、諦めないで自分を鍛えていきましょう！

人生を楽しんでいきましょう、パレスでね！



チャリティーラン

日時 2009年5月17日

場所 加茂川堤防一帯

吉楽貴之

Y'サ事業としてのサービス活動としては最もYMCA行事を身近に感じるこのチャリティーラン支援。5月17日(日)北大路橋から出雲路橋を中心に行われました。このイベントの目的は、その収益金を、日本YMCA同盟を通じて全国のYMCAで行われる障がい児への支援のためと、京都YMCAが行う、障がいのある子供たちのキャンプなどの支援をすることです。今年も多くのパレスメンバーが協賛企業・団体、個人協賛、そしてラムネ出店支援を行いました。休日の朝9時30分の開会式はちょっと辛いですが、すぐに佛教大学応援団による吹奏楽が始まりいいムードになります。小学生駅伝がスタートし10時過ぎにはノートルダム女子アミダスによるチアダンスで完全に目が覚めます。クォーターマラソンには西村ワイズと川上ゲスト宮元さん、吉楽ゲスト森さんが参加、西村ワイズの年齢を感じさせない度胸と走りっぷりは堂々優勝の宮元さんと3位の森さんから大きく下まわった順位をも感じさせないそのゴール風景から皆さんにもわかってもらえることと思います。続く親子ペアマラソンでは川上ゲスト富永親子がこれも素晴らしい堂々3位！このチャリティーラン、実は1km5分を切るかなりのハイレベルなんですよ。午後から和敬学園小学生がグループランに出走！大文字駅伝へ熱意を燃やす生徒が楽しみにしているとの事で、来年はぜひとも小学生駅伝へチャレンジしたい！と意欲満々です。その後おなじみ「京炎そでふれ！」の踊りです。各表彰式も終わりいよいよ終盤のお楽しみ抽選会タイム。降り出した雨もこの時を待っていたボランティアの学生リーダーたちには全く関係ありません。特に人気はやはり食事券！我がら浪漫や、お食事券5,000円分！3,000円が多かった食事に5,000円は破格です(笑)オオオ〜！と学生リーダーたちから歓声が上がリ発表の度に大歓声がこだまする、そんな第5回かものがわチャリティーランの楽しい熱い1日でした。



2009年度京都YMCA定期総会

日時 2009年5月30日 17:00
場所 京都YMCA三条本館

西川寿一

2009年度京都YMCA定期総会が、5月30日(土)京都YMCA三条本館マナホールに於いて開催された。第1部は礼拝が行われ“YMCAの目指すもの”と題して、野崎康明常議員会議長による奨励が行われた。次にいよいよ総会議事の部に入り、総会議長に佐々浪理事長が指名され議事が進められた。

第1号議案から第6号議案まで審議されたが、特に注目すべきは、第2号議案の2008年度の決算報告で、事業収入は2007年度と余り変化はないが、2008年度に今出川の青少年センターを売却した事により、財務内容が少し良くなった事と、第5号議案の常議員選出の件で、元パレスの杉井泰敏常議員が京都YMCAが公益法人に移行するに当たり、常議員と監事は兼任できないという規則により、杉井常議員は常議員を退任され監事のみで就任されるという提案が出された。そこで我がパレスの杉本泰造君が、常議員として立派な杉井さんが退任されるのは何故かと質問され、常議員候補者指名委員会委員長の亀井剛氏と神埼総主事から、実は監事になれば常議員会と監事会両方に出席義務があり、常議員よりも更に責務が多くなるという説明を受けられ、納得される場面もあった。

その後新正会員6名の紹介があり、第2部に入ろうとした時に、突然兼松豊氏から自宅療養中の元主事の西岡義郎さん(60歳)が先ほど天に召されたという訃報を聞き、会場のあちこちから“エッどうして、なぜ”という声が聞かれ、皆が啞然とし、余りにも早い他界に会場全員でご冥福を祈ってお祈りをした。

第2部はフェロウシップアワーとして、グループ協議が行われ“PLAN125 - 京都YMCAの目指すもの”について9グループに分かれ、学生リーダーを混じえて協議がなされた。次にユースボランティア認証状授与が行われ、30名の学生リーダーに認証状が授与された。最後に京都地区16のワイズメンズクラブの支援に対して感謝状が贈られ、2009年度の定期総会が会員の熱い思いの内に閉会となった。



EMCオリエンテーション

日時 2009年5月30日 19:00
場所 京都YMCA三条本館

福井将一

三条YMCAで開催しました。講師を永井ワイズにお願いしました。参加されたメンバーは新人4名、杉本ワイズ、平井ワイズ、高田ワイズ、小西ワイズ、福井ワイズで行われました。ワイズメンズクラブの基本精神を語って頂きました。

阪神淡路大震災の時、即座に行動を起こした奉仕クラブはライオンズクラブでも、ロータリーでもなくワイズメンズクラブだったそうです。トップクラブは全員で一週間援助に向かわれたそうです。大変感動され、ワイズメンズクラブにいてよかったと皆さんで涙されたそうです。お金で奉仕するのも素晴らしい事ですが、人間力、労力をもって奉仕する素晴らしさは本当に大切な事だと思ひ知らされた感じです。

杉本ワイズからもYMCAの涙ぐましい努力を語られました。参加されたメンバーさんみなさん大変良い勉強になった事だとおもいます。永井ワイズ、ご苦労様でした、貴重なお話ありがとうございました。

HAPPY! 京都パレスワイズメンズクラブ!

塚本優子

2月1日に、たまたま入った自宅の近所の居酒屋「浪漫家」で福井さんと出逢い、朝4時頃まで盛り上がり、水野先生の講演のお誘いを受けたことからご縁を頂き、入会させて頂きました。

私は、祖父→父と承継してきた会社を昨年承継致しました。

1985年に業態転換をして始めたコンビニエンス経営も、今年で24年になります。当時とは社会情勢も大きく変わり、吹けば飛ぶような小さな会社で、期待と不安で一杯なのに周りには話せる人もいなくて、ずっと模索していました。

このようなクラブは敷居の高いものだと思っていた私に、皆さん気さくに話しかけて下さって、温かい心を感じ、この出逢いを大切にしたいと心から思います。

まだまだわからないことだらけですが、楽しく頑張っていきたいと思ひますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年、生まれ育った京都で新たに建築設計事務所を開設させていただいたばかり、目の前の実務や全ての事務で、両手、両足をバタつかせながら、アタフタしていたところへ、「せっかく独立したんや、同じ業界の中にばかり居るよりも、全く違う業界の人たちと交流をする方が、自分の為にもなる。」と福井将一さんから誘いを受け、ゲストとして例会に参加した時には、その意味が少し分かったような気がしました。

肩や肘を張らない人間関係の中、楽しく活気が溢れ、やさしさも感じさせてくれる例会だったと思います。

私も、ワイズメンズクラブを生涯教育・自己研鑽の場として、十分に活用しながら、自らもボランティアの心を養い育て、今後の人生がより良いものとなるよう努力していきたいと思っています。

この度は、京都パレスワイズメンズクラブに入会させて頂き心より感謝しております。これからも宜しくお願い致します。

西岡義郎さん御逝去

元京都部連絡主事の西岡さんが5月30日にお亡くなりになりました。にこやかで暖かい人柄で皆さんに愛された方でした。昨年11月定年でYMCAを退職された後も、病気をしておしてYMCAの活動に奉仕されていました。御冥福を祈ります。

お知らせ

第38期臨時總會

第1号議案 40周年事業準備委員長選出の件
委員長に為国光俊君を承認。

38期5月役員会

(承認事項)

第1号議案 6月第1例会の件(ドライバー)
ゲストスピーカー北川剛士氏。謝礼3万円にて承認。

第2号議案 献血の件(CS・環境)
6月9日(火)イオンモールハナにて。予備費から、ポスター・チラシ作成費1万円、のぼり作成費3万円を支出することで承認。時間未定、委員会一任。

第3号議案 40周年事業準備委員会の設置の件(追加事業検討・次期会長)
委員長 為国光俊君にて承認。

第4号議案 ネット会引継会の件(会長)
費用として3名×6,000円、計18,000円を支出することで承認。

(報告・確認事項)

- ・ 夜桜フェスタ報告 食費24,371円、チケット購入費45,000円。
- ・ チャリティラン確認 グループラン1チーム(和敬)、クォーターマラソン2名参加。ラムネを販売。
- ・ エバーグリーンクラブメンバー来訪報告 委員長欠席により報告は次回に繰り延べ。
- ・ 下期事業報告書の提出 5月27日(水)必着。書記宛て。
- ・ 追加事業検討委員会 40周年記念事業に向けての事業の方向性が決まり、YMCAサービスに限定せず、1. 途上国の子供達のためのワクチン資金 2. 母子父子家庭および障がいのある子供達を交えたイベントの開催を実施する。

第39期第2回準備役員会

(承認事項)

第1号議案 各事業委員会の「事業方針・事業計画(案)」の件(各委員長)
継続審議とする。

第2号議案 予算案の件(会計)
継続審議とする。

第3号議案 委員会配属の件（会長）

新入会の4名をEMC委員会に配属（3カ月経過後に配属変更予定）
原案通り承認。

第4号議案 会友制度の件（会長）

会友制度の導入を検討する趣旨説明および具体案
在籍10年以上で、やむを得ない事由で退会した会員を対象とし、特別例会等の通知をする。
各事業委員会で議論していただき、継続審議とする。

第5号議案 キックオフ研修会実施要項の件（会長）

6月27日（土）17：00～「下鴨寮」（左京区下鴨宮崎町166-16）にて開催。
会費：5,000円 内容は会長三役一任にてご了承いただきたい。
原案通り承認。

6月の行事

2日 38期・39期合同役員会（19：30） 6日・7日 第12回西日本区大会（熊本）
9日 献血（イオンモール） 10日 6月第1例会通常例会（19：00） 24日 引継例会（19：00）

Happy Birthday

5日 大森君メネット 8日 大嶋君 13日 平井久夫君 19日 小林君 20日 吉岡幸次君
24日 平井久夫君メネット

Happy Anniversary

19日 山本好一君ご夫妻

YMCA NEWS

これから夏に向けては、青少年が育まれるキャンプをはじめとしたサマープログラムに参画するリーダーのトレーニングが数多く行われます。そしてリトリートセンターやサバエキャンプ場では夏季に向けての準備がすすめられます。これらの活動のために暖かいご支援をいただきますことに心より感謝いたします。

1. YMCA サマープログラム参加者募集！

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ、デイキャンプ

会員 6月9日（火）～10日（水） 受付時間 午前10時～午後7時

会員・一般 6月11日（木）～ 受付時間 午前10時～午後7時

電話（075）231-4388（お問い合わせも左記電話まで）

会員先行申し込み期間の6月9日（火）～10日（水）の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX（075）251-0970

Eメール campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月5日（金）午前10時～

会員・一般 6月5日（金）午後2時～

電話 075-255-4709（お問い合わせも左記電話まで）

2. 京都YMCA リトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしく願いいたします。

実施日 2009年6月28日（日）集合 午前9時30分 解散 午後3時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問い合わせ 京都YMCAリトリートセンター事務局 中村 電話（075）231-4388

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

3. 京都 YMCA サバエ教育キャンプ場設営ワークご協力のお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし、成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様のお支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2009年7月5日(日)、7月12日(日)

集 合 午前9時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市)

解 散 午後3時(サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市)

※昼食をYMCAで用意させていただきます。

※まもなく詳しい案内を各クラブにお配りします。恐れ入りますが、ご参加いただく人数を6月27日(土)までにYMCAサバエキャンプ場 担当 福中までお知らせください。

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

4. ボランティアセミナーのご案内

①ちょこっとボランティア 視覚障がい者介助の講習会

視覚障がい者の方々は、目が見えないためにさまざまな不自由を経験しています。

「歩行訓練」を通して、知らない場所でも、周囲の人への協力を依頼して歩けるよう指導を受けていますが、援助を依頼したくても、その相手を見つけるのが一苦労なのです。

そんな時、周囲の人から積極的に声をかけていただけたなら、視覚障がい者の方にとってはどれほど安心でき、助かるかわかりません。声掛けとともに安全に、また適切な誘導介助をしていただけたならどんなにうれしいことでしょう。

講 師 松永信也氏

(京都YMCA国際福祉専門学校、京都福祉専門学校などで特別講師・非常勤講師)

日 時 6月6日(土)午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お1人 300円

定 員 30名(先着順)

②がん患者さんとそのご家族へ 第29回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 6月20日(土)午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お1人 300円

※①②ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388 または vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

1年間御愛読ありがとうございました。メンバーの大きな励ましのもと、なんとか12号の発刊をすることが出来ました。昔は原稿用紙から割り付けを行い、さらにグラ刷り校正や、修正とプリテン委員会は毎月数回を開催し、手間のかかる作業を強いられましたが、ここ数年のIT技術の飛躍的進歩の結果、月1回の編集のための委員会の開催で、毎月10頁立てのプリテンの発行が出来るようになりました。これには為国印刷(株)の体を張ったご協力の賜物と感謝します。

来期も素晴らしいプリテンが続くことを祈って最後の編集後記にいたします。皆さんありがとう。そして次期高田委員長の健闘を祈ります。

御意見はMAIL pr@kyoto-palace.comへよろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第38期 広報委員会
委員長 西枝 攻 / 副委員長 笹山直世 / 委員 荒川 徹、谷口武士、西川寿一、松山政宏